

付 属 資 料

(付属資料)

目 次

委員名簿及び検討経過

1	第二次県立高等学校長期構想検討委員会	委員名簿	53
2	第二次県立高等学校長期構想検討委員会	検討経過	54

関係資料

(全 体)

1	中学校卒業生数の推移	55
2	高等学校進学率等の推移	57
3	学区と高校再編成のブロック割	58
4	県立高等学校の設置状況	59
5	中学生の進路希望	60
6	県立高等学校の募集定員と合格者数一覧	61
7	ブロック間交流の状況	62
8	公立高等学校の募集学級数の見込み	63
9	県内高等学校卒業生の進路状況	65
10	公立高等学校卒業生の進路先の状況	66
11	高等学校中途退学者の状況	67
12	高等学校における不登校の状況	68
13	県立高等学校における定時制課程・通信制課程の現状	69
14	県立高等学校における特別支援教育の現状	71
15	岩手県の中高一貫教育の状況	73

(現行計画の検証関係)

16	県立高等学校新整備計画における再編整備の実施状況	75
17	総合選択制高校の検証資料	76
18	総合的な専門高校の検証資料	80
19	総合学科高校の検証資料	83
20	統合高校の検証資料	92

(学びの環境整備関係)

21	教員アンケート調査結果の概要	103
22	35人学級にした場合の追加財政負担額	104
23	県立高等学校における教員の配置状況	105
24	県立高等学校における学校規模別進路状況	109
25	県立高等学校における学科別進路状況	110
26	県立高等学校における部活動の開設状況	112
27	県立高等学校における小規模校(普通科高校)の状況	113
28	公私比率の状況	122

第二次県立高等学校長期構想検討委員会 委員名簿

(50音順)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
浅井 東兵衛	一関市長	
岩田 俊雄	岩手県小学校長会長、盛岡市立城南小学校長	(~ H21.3.31)
遠藤 洋一	岩手県高等学校長協会長、岩手県立盛岡第一高等学校長	(~ H21.3.31)
大井 誠治	岩手県漁業協同組合連合会代表理事会長	
小野寺 明美	社団法人岩手県 P T A 連合会顧問	
加藤 義男	岩手大学教育学部教授	
門脇 功	岩手県農業協同組合中央会副会長	(H20.7.7 ~)
久慈 竜也	産業教育振興会常任理事	
工藤 重信	岩手県高等学校 P T A 連合会長	(H21.7.1 ~)
熊谷 隆司	岩手県高等学校 P T A 連合会長	(~ H21.6.30)
小坂 隆	岩手県特別支援学校連絡協議会長、岩手県立盲学校長	(~ H21.3.31)
佐々木 幸寿	東京学芸大学准教授	
佐々木 壮一	岩手県中学校長会長、盛岡市立下橋中学校長	(~ H21.3.31)
篠田 宜道	岩手県中学校長会長、盛岡市立厨川中学校長	(H21.4.1 ~)
鈴木 哲郎	岩手県農業協同組合中央会副会長	(~ H20.7.6)
多田 欣一	住田町長	
千田 光久	岩手県特別支援学校連絡協議会長、岩手県立盛岡視覚支援学校長	(H21.4.1 ~)
千葉 研一	岩手県高等学校長協会長、岩手県立盛岡第一高等学校長	(H21.4.1 ~)
永野 勝美	岩手経済同友会代表幹事	
新沼 敏哉	岩手県小学校長会長、盛岡市立桜城小学校長	(H21.4.1 ~)
原 久雄	富士大学経済学部教授	委員長
平井 ふみ子	前宮古市教育委員会委員長、ガールスカウト岩手県支部長	副委員長
馬上 達幸	岩手県高等学校長協会常任理事、岩手県立盛岡商業高等学校長	
望月 善次	盛岡大学学長、岩手大学名誉教授	
森川 則子	特定非営利活動法人カシオペア連邦地域づくりサポーターズ常任理事	
八巻 恒雄	盛岡市教育委員会教育長	
谷村 久興	谷村電気精機(株)代表取締役会長、岩手県産業教育審議会委員	

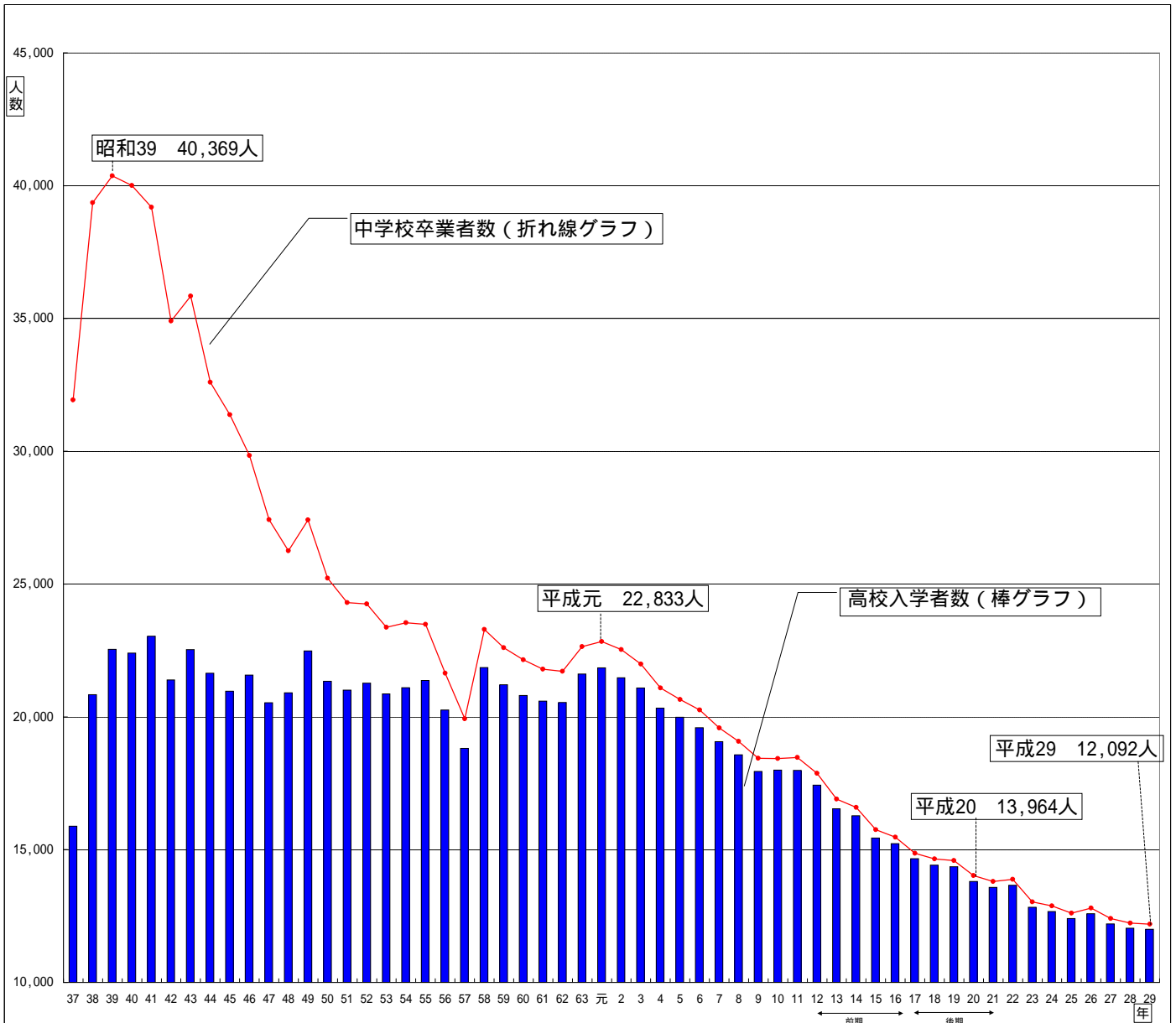
所属・職名は委員就任期間の最終時のものであること。

第二次県立高等学校長期構想検討委員会 開催経過

回	開催年月日	議 題	検 討 内 容
第1回	H20.4.23	委員長・副委員長の互選 県立高校の現状等 岩手の教育の基本的な考え方	原久雄委員長、平井ふみ子副委員長を互選 県立高校の現状等に関する意見交換 岩手の教育の基本的な考え方に関する検討
第2回	H20.8.1	岩手の教育の基本的な考え方 (修正版) 現行計画の検証 県立高校の在り方(グランドデザイン)	岩手の教育の基本的な考え方(修正版)に関する検討 現行計画の検証に関する検討 県立高校の在り方(グランドデザイン)に関する検討
第3回	H20.9.18	岩手の教育の基本的な考え方 (再修正版) 学びの環境整備(高校再編の考え方)	岩手の教育の基本的な考え方(再修正版)に関する検討 学びの環境整備(高校再編の考え方)に関する検討
第4回	H20.11.20	現行計画の検証(修正版) 高校教育の充実に向けた方策	現行計画の検証(修正版)に関する検討 高校教育の充実に向けた方策に関する検討
第5回	H21.3.18	県立高校の在り方(グランドデザイン)(修正版) 学びの環境整備(高校再編の考え方)(修正版) 高校教育の充実に向けた方策(修正版) ブロック別懇談会の概要	県立高校の在り方(グランドデザイン)(修正版)に関する検討 学びの環境整備(高校再編の考え方)(修正版)に関する検討 高校教育の充実に向けた方策(修正版)に関する検討 ブロック別懇談会の実施概要検討
第6回	H21.4.30	今後の県立高校の在り方(中間まとめ)(案) ブロック別懇談会	今後の県立高校の在り方(中間まとめ)(案)の検討 ブロック別懇談会の日程、資料の検討
ブロック別懇談会	H21.5.19) H21.6.9	今後の県立高校の在り方(中間まとめ)についての意見交換	5/26 盛岡ブロック 5/29 岩手中部ブロック 5/19 胆江ブロック 6/4 両磐ブロック 6/2 気仙・釜石ブロック(気仙地区) 5/21 気仙・釜石ブロック(遠野・釜石地区) 5/22 宮古ブロック 6/9 久慈ブロック 5/27 二戸ブロック
第7回	H21.7.23	ブロック別懇談会開催結果 意見に基づく観点別検討	ブロック別懇談会開催結果に関する意見交換 ブロック別懇談会の意見に基づく観点別の再検討
第8回	H21.8.31	今後の県立高校の在り方(まとめ)	今後の県立高校の在り方(報告案)の検討
答申	H21.9.17	報告書答申	

関係資料

1 中学校卒業生数の推移 (全体)



各年ごとのデータ

年3月	昭和37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
中学校卒業生数	31,936	39,358	40,369	40,011	39,184	34,906	35,841	32,594	31,381	29,844	27,425	26,250	27,412	25,216
進学率	49.7%	52.9%	55.8%	56.0%	58.8%	61.3%	62.9%	66.4%	66.8%	72.3%	74.9%	79.6%	82.0%	84.6%
高校入学者数	15,880	20,832	22,540	22,397	23,053	21,386	22,531	21,644	20,965	21,571	20,529	20,904	22,486	21,339
年3月	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元
中学校卒業生数	24,304	24,254	23,370	23,542	23,478	21,647	19,923	23,289	22,605	22,148	21,797	21,715	22,648	22,833
進学率	86.4%	87.6%	89.3%	89.6%	91.0%	93.6%	94.4%	93.9%	93.8%	93.9%	94.5%	94.6%	95.4%	95.7%
高校入学者数	21,004	21,257	20,867	21,101	21,371	20,262	18,812	21,860	21,208	20,801	20,590	20,543	21,617	21,847
年3月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
中学校卒業生数	22,531	21,985	21,085	20,657	20,256	19,583	19,074	18,435	18,425	18,468	17,874	16,899	16,585	15,748
進学率	95.3%	95.9%	96.4%	96.7%	96.7%	97.4%	97.4%	97.3%	97.7%	97.4%	97.5%	97.9%	98.2%	98.0%
高校入学者数	21,475	21,084	20,329	19,983	19,595	19,068	18,574	17,941	17,993	17,987	17,432	16,541	16,279	15,440
年3月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
中学校卒業生数	15,468	14,857	14,640	14,576	13,964	13,695	13,789	12,901	12,797	12,522	12,738	12,243	12,252	12,092
進学率	98.4%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%
高校入学者数	15,223	14,661	14,449	14,383	13,776	13,517	13,610	12,733	12,631	12,359	12,572	12,084	12,093	11,935

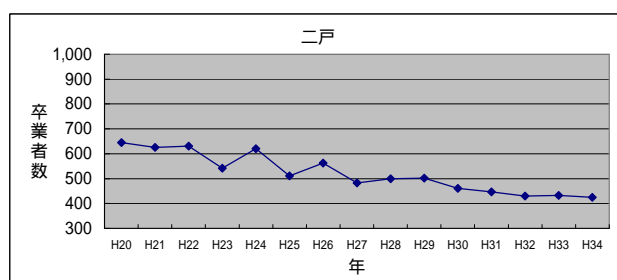
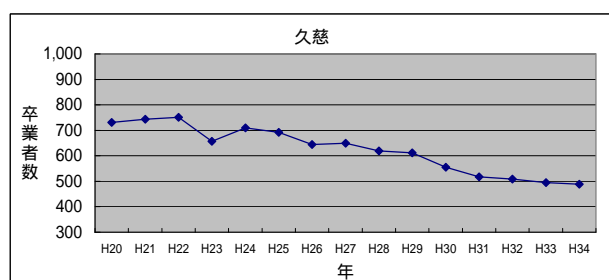
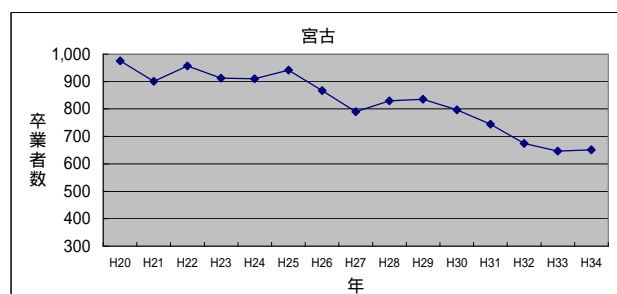
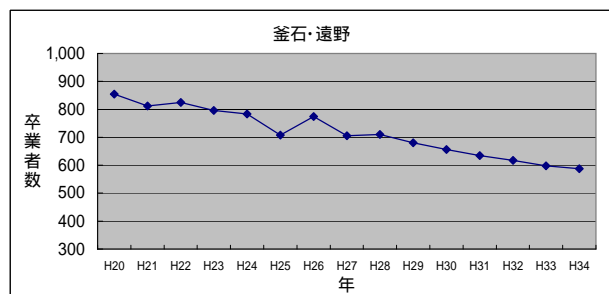
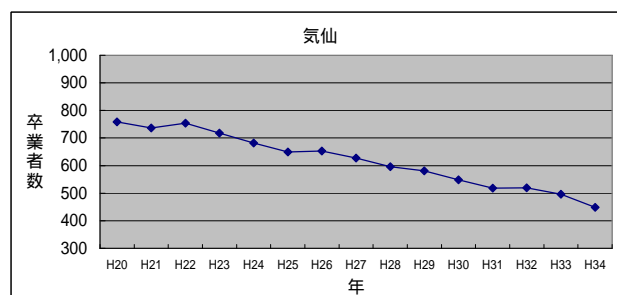
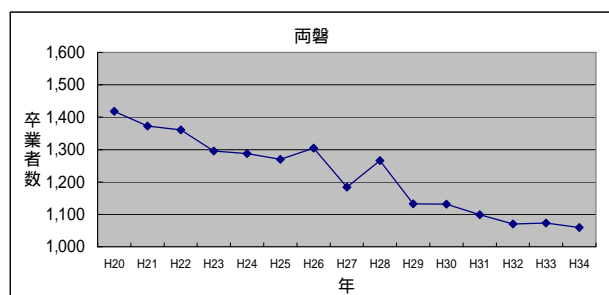
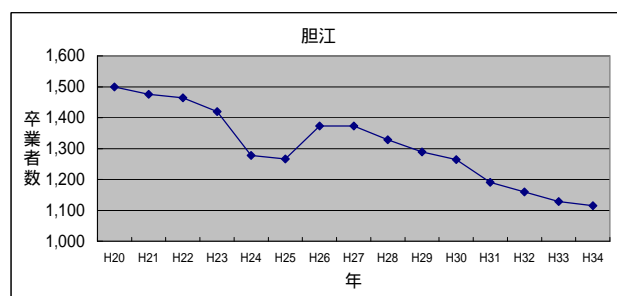
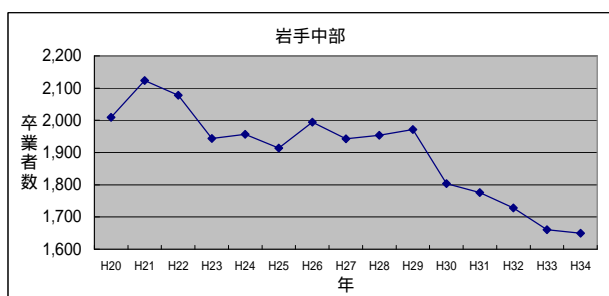
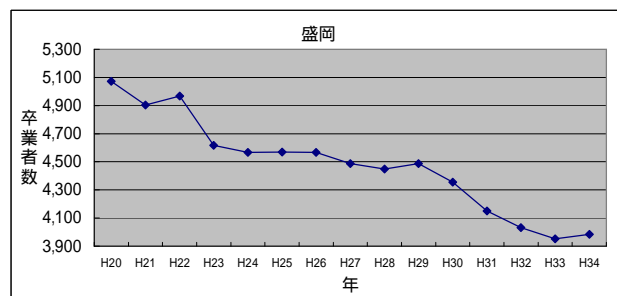
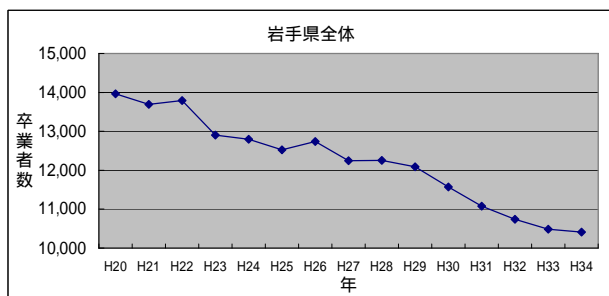
注) 中学校卒業生数及び高校入学者数

<中学校卒業生数>・昭和37年から平成20年までは実績値、平成21年以降は平成20年5月1日現在の在籍生徒数等からの推定値です。
<高校入学者数>・昭和37年から平成20年までは実績値、平成21年以降は進学率を98.7%に固定し、高校入学者数を計算したものです。

(ブロック別)

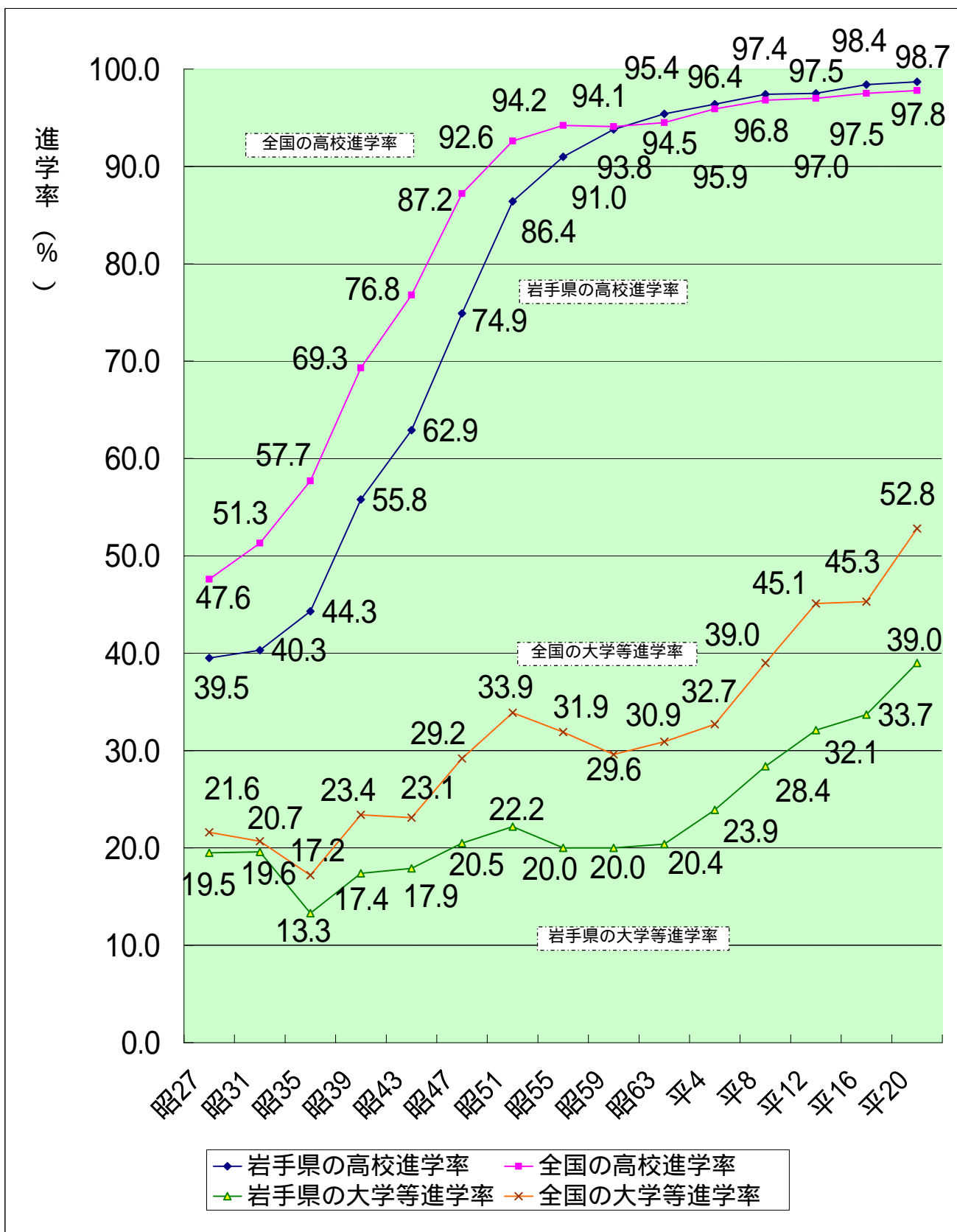
(各年3月末、平成21年以降は推計値)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
盛岡	5,073	4,904	4,968	4,616	4,568	4,569	4,567	4,488	4,449	4,488	4,356	4,150	4,033	3,952	3,985
岩手中部	2,009	2,124	2,078	1,944	1,957	1,914	1,994	1,943	1,954	1,972	1,804	1,776	1,728	1,661	1,650
胆江	1,500	1,476	1,464	1,420	1,278	1,266	1,373	1,373	1,328	1,289	1,264	1,191	1,160	1,129	1,115
両磐	1,418	1,373	1,361	1,296	1,288	1,270	1,304	1,184	1,266	1,132	1,131	1,099	1,070	1,073	1,059
気仙	758	736	754	718	682	650	653	627	596	581	548	518	519	496	449
釜石・遠野	855	812	825	796	784	708	774	706	710	680	656	634	617	598	587
宮古	975	901	957	912	910	942	867	790	830	836	797	745	674	647	651
久慈	731	744	751	657	710	692	644	649	619	612	555	518	509	495	489
二戸	645	625	631	542	620	511	562	483	500	502	461	447	430	433	425
全県	13,964	13,695	13,789	12,901	12,797	12,522	12,738	12,243	12,252	12,092	11,572	11,078	10,740	10,484	10,410
H20を基準とした増減		-269	-175	-1,063	-1,167	-1,442	-1,226	-1,721	-1,712	-1,872	-2,392	-2,886	-3,224	-3,480	-3,554



2 高等学校進学率等の推移

各年3月	昭27	昭31	昭35	昭39	昭43	昭47	昭51	昭55	昭59	昭63	平4	平8	平12	平16	平20
岩手県の高校進学率	39.5	40.3	44.3	55.8	62.9	74.9	86.4	91.0	93.8	95.4	96.4	97.4	97.5	98.4	98.7
全国の高校進学率	47.6	51.3	57.7	69.3	76.8	87.2	92.6	94.2	94.1	94.5	95.9	96.8	97.0	97.5	97.8
岩手県の大学等進学率	19.5	19.6	13.3	17.4	17.9	20.5	22.2	20.0	20.0	20.4	23.9	28.4	32.1	33.7	39.0
全国の大学等進学率	21.6	20.7	17.2	23.4	23.1	29.2	33.9	31.9	29.6	30.9	32.7	39.0	45.1	45.3	52.8



出典：学校基本調査

4 県立高等学校の設置状況（平成21年度）

【全日制課程】

【定時制課程】

ブロック	高校の分類										計		定時制高校		合 計	
	普通高校		普通・専門併設校		専門高校		総合的専門高校		総合学科高校				学校名	募集学級数		
	学校名	募集学級数	学校名	募集学級数	学校名	募集学級数	学校名	募集学級数	学校名	募集学級数	学校数	募集学級数	学校名	募集学級数	学校数	募集学級数
盛岡	盛岡第二	5	盛岡第一	8	盛岡農業	5			紫波総合	5	15	80	杜陵	4	17	85
	盛岡第三	8	(理数1)		盛岡工業	7							盛岡工業	1		
	盛岡第四	7	盛岡南	7	盛岡商業	6										
	盛岡北	6	(体育1)													
	不来方	7	平館	3												
	沼宮内	2	(家庭1)													
	葛巻	2														
	雫石	2														
小計	8	39	3	18	3	18	0	0	1	5			2	5		
岩手	花巻北	7			花巻農業	3	花北青雲	4	北上翔南	6	9	41			9	41
	花巻南	5			黒沢尻工業	6										
	大迫	1														
	黒沢尻北	7														
	西和賀	2														
小計	5	22	0	0	2	9	1	4	1	6			0	0		
胆江	前沢	3	水沢	7	水沢農業	3			岩谷堂	6	7	29	杜陵奥州	2	8	31
	金ヶ崎	3	(理数1)		水沢工業	4										
小計	2	6	1	7	3	10	0	0	1	6			1	2		
両磐	花泉	2	一関第一	6	一関工業	4			一関第二	6	6	28	一関第一	1	7	29
			(理数1)													
			大東	4												
		(商業1)														
		千厩	6													
		(農1・工1)														
小計	1	2	3	16	1	4	0	0	1	6			1	1		
気仙	大船渡	6	高田	5			大船渡東	5			4	18	大船渡	1	5	19
	住田	2	(水産1)													
小計	2	8	1	5	0	0	1	5	0	0			1	1		
釜石	遠野	5	釜石	5	遠野緑峰	2	釜石商工	5			5	20	釜石南	1	6	21
	大槌	3	(理数1)													
小計	2	8	1	5	1	2	1	5	0	0			1	1		
宮古	山田	2			宮古工業	3					8	23	宮古	1	9	24
	宮古	6			宮古商業	4										
	宮古北	2			宮古水産	3										
	岩泉	2														
	岩泉田野畑	1														
小計	5	13	0	0	3	10	0	0	0	0			1	1		
久慈	久慈	5	種市	3	久慈工業	3			久慈東	5	5	18	久慈長内	2	6	20
	大野	2	(工業1)													
小計	2	7	1	3	1	3	0	0	1	5			1	2		
二戸	軽米	3			福岡工業	2			一戸	3	6	16	福岡	1	7	17
	伊保内	2														
	福岡	5														
	福岡浄法寺	1														
小計	4	11	0	0	1	2	0	0	1	3			1	1		
合計	31	116	10	54	15	58	3	14	6	31	65	273	9	14	74	287

既に募集停止した高校は除いていること。

総合選択制高校（不来方、花巻南）は普通高校に分類していること。

5 中学生の進路希望

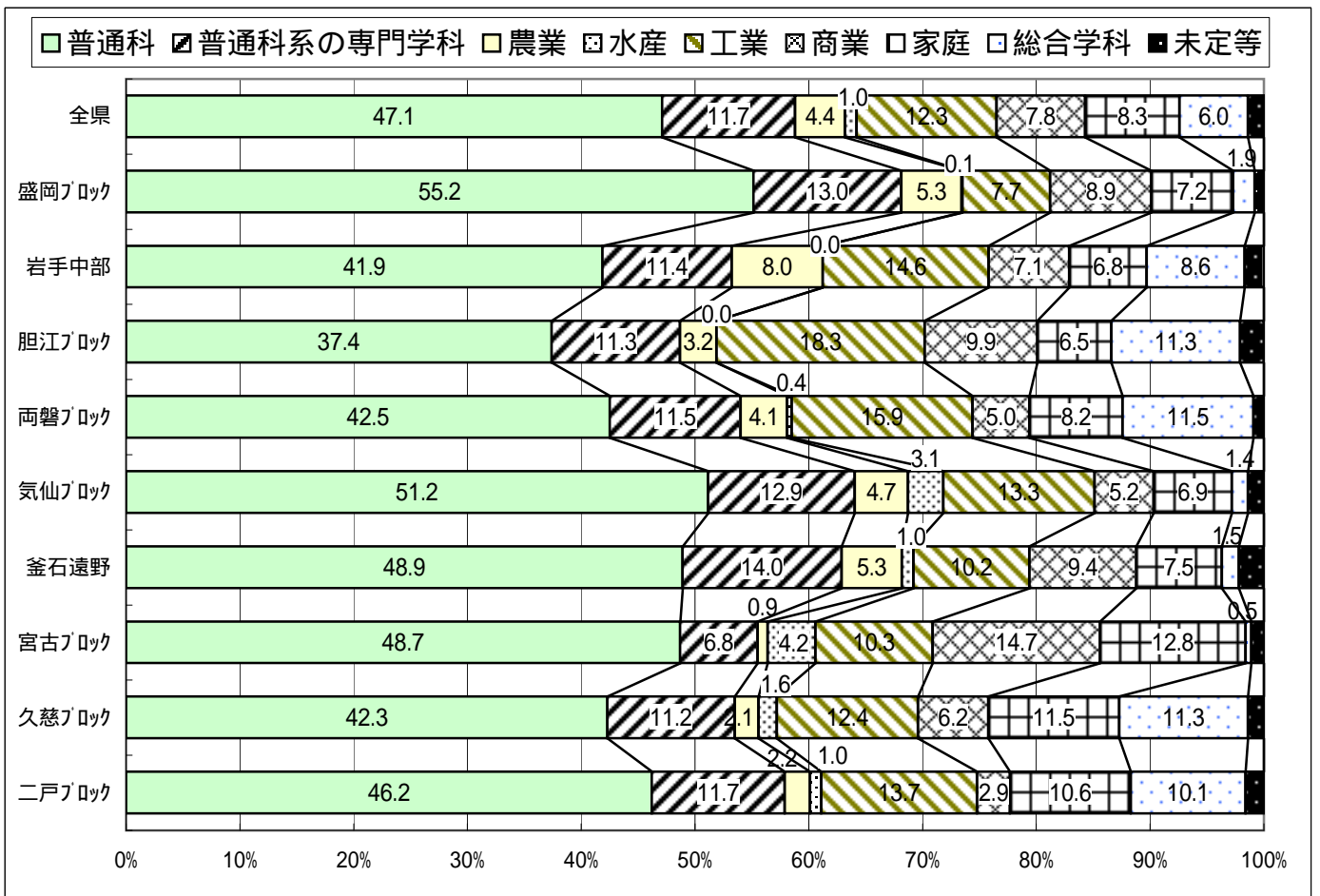
平成20年度中学生の進路希望等アンケート調査

・調査期間	平成20年12月4日（木）～12月22日（月）				
・調査対象	県内全公立中学校（192校）を対象に、3年生、2年生それぞれ1～2学級抽出				
・抽出数	中学3年生徒	在籍数	13,346名	(H20,5,1現在)	
		対象	5,365名	(抽出率40.2%)	
		回答者	5,128名	(回収率95.6%)	在籍数に対する割合38.4%)

1 中学校3年生徒の進路希望(ブロック毎・表集計)

ブロック名	普通科	普通科系の専門学科	職業に関する専門学科					計	総合学科	未定等
			農業	水産	工業	商業	家庭			
全 県	47.1	11.7	4.4	1.0	12.3	7.8	8.3	33.8	6.0	1.4
盛 岡	55.2	13.0	5.3	0.1	7.7	8.9	7.2	29.2	1.9	0.8
岩手中部	41.9	11.4	8.0	0.0	14.6	7.1	6.8	36.5	8.6	1.7
胆 江	37.4	11.3	3.2	0.0	18.3	9.9	6.5	37.9	11.3	2.1
両 磐	42.5	11.5	4.1	0.4	15.9	5.0	8.2	33.6	11.5	0.9
気 仙	51.2	12.9	4.7	3.1	13.3	5.2	6.9	33.2	1.4	1.4
釜石遠野	48.9	14.0	5.3	1.0	10.2	9.4	7.5	33.4	1.5	2.2
宮 古	48.7	6.8	0.9	4.2	10.3	14.7	12.8	42.9	0.5	1.1
久 慈	42.3	11.2	2.1	1.6	12.4	6.2	11.5	33.8	11.3	1.4
二 戸	46.2	11.7	2.2	1.0	13.7	2.9	10.6	30.4	10.1	1.6

2 中学校3年生徒の進路希望(ブロック毎・グラフ集計)



6 岩手県立高等学校募集定員と合格者数等一覧（平成21年度）

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
盛岡第一	普通	普通・理数	320	320	0	413
盛岡第二	普通	普通	200	204	4	254
盛岡第三	普通	普通	320	320	0	401
盛岡第四	普通	普通	280	282	2	322
盛岡北	普通	普通	240	246	6	288
盛岡南	普通	普通	200	201	1	270
	普通	体育コース	40	41	1	63
	体育	体育	40	40	0	56
不来方	普通	人文・理数	160	164	4	246
	普通	芸術	40	37	3	39
	普通	外国語	40	41	1	41
	普通	体育	40	41	1	68
盛岡農業	農業	植物科学	40	40	0	51
	農業	動物科学	40	41	1	43
	農業	人間科学	40	40	0	33
	農業	環境科学	40	40	0	39
	農業	食品科学	40	40	0	65
盛岡工業	工業	機械	40	38	2	39
	工業	電気	40	40	0	44
	工業	電子情報	40	40	0	45
	工業	電子機械	40	40	0	43
	工業	工業化学	40	40	0	50
	工業	土木	40	36	4	43
	工業	建築・デザイン	40	40	0	49
盛岡商業	商業	流通ビジネス	80	81	1	110
	商業	会計ビジネス	80	80	0	110
	商業	情報ビジネス	80	81	1	92
沼宮内	普通	普通	80	79	1	84
沼宮内	普通	普通	80	56	24	56
平舘	普通	普通	80	74	6	75
	家庭	家政科学	40	23	17	28
雫石	普通	普通	80	61	19	74
紫波総合	総合	総合	200	200	0	215
花巻北	普通	普通	280	269	11	281
花巻南	普通	人文科学・自然科学	120	120	0	154
	普通	スポーツ健康科学	40	41	1	50
	普通	国際科学	40	36	4	30
花巻農業	農業	生物科学	40	41	1	52
	農業	環境科学	40	41	1	61
	農業	食農科学	40	40	0	52
花北青雲	工業	情報工学	40	42	2	46
	商業	ビジネス情報	80	84	4	101
	家庭	総合生活	40	42	2	64
大迫	普通	普通	40	40	0	43
黒沢尻北	普通	普通	280	268	12	293
北上翔南	総合	総合	240	240	0	307
黒沢尻工業	工業	機械	40	40	0	45
	工業	電気	40	38	2	46
	工業	電子	40	36	4	35
	工業	電子機械	40	39	1	49
	工業	土木	40	33	7	50
	工業	材料技術	40	39	1	52
西和賀	普通	普通	40	41	1	48
	普通	福祉・情報コース	40	37	3	32
水沢	普通	普通・理数	280	282	2	309
水沢農業	農業	農業科学	40	36	4	37
	農業	環境工学	40	38	2	45
	農業	生活科学	40	34	6	38
水沢工業	工業	機械	40	40	0	46
	工業	電気	40	40	0	42
	工業	設備システム	40	38	2	41
	工業	インテリア	40	28	12	31
水沢商業	商業	商業	40	40	0	43
	商業	会計ビジネス	40	40	0	41
	商業	情報システム	40	40	0	43
前沢	普通	普通	120	116	4	116
金ヶ崎	普通	普通	120	123	3	135
岩谷堂	総合	総合	240	226	14	230
二関第二	普通	普通・理数	240	235	5	243
二関第二	総合	総合	240	240	0	246
二関工業	工業	電気	40	30	10	30
	工業	電子	40	38	2	38
	工業	電子機械	40	38	2	39
	工業	土木	40	35	5	39
花泉	普通	普通	80	71	9	74
大東	普通	普通	120	107	13	109
	商業	情報ビジネス	40	40	0	42
千厩	普通	普通	160	160	0	163
	農業	生産技術	40	40	0	48
	工業	産業技術	40	40	0	41

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
高田	普通	普通	160	143	17	143
	水産	海洋システム	40	37	3	37
大船渡	普通	普通	240	222	18	222
大船渡東	農業	農芸科学	40	40	0	44
	工業	機械	40	37	3	35
	工業	電気電子	40	40	0	37
	商業	情報処理	40	40	0	45
	家庭	食物文化	40	40	0	42
住田	普通	普通	80	55	25	55
釜石	普通	普通・理数	200	189	11	190
釜石商工	工業	機械・電子機械	80	60	20	59
	工業	電気電子	40	31	9	30
	商業	総合情報	80	81	1	84
遠野	普通	普通	200	161	39	164
遠野緑峰	農業	生産技術	40	41	1	52
	商業	情報処理	40	38	2	28
大槌	普通	普通	120	116	4	120
山田	普通	普通	80	72	8	72
宮古	普通	普通	240	240	0	250
宮古北	普通	普通	80	45	35	47
宮古工業	工業	機械	40	33	7	35
	工業	電気電子	40	31	9	35
	工業	建築設備	40	25	15	27
宮古商業	商業	商業	40	40	0	39
	商業	会計	40	40	0	39
	商業	流通経済	40	40	0	42
	商業	情報	40	27	13	27
宮古水産	水産	海洋技術	40	36	4	38
	水産	食品家政	40	38	2	38
	家庭	食物	40	39	1	40
岩泉	普通	普通	80	78	2	78
岩泉田野畑	普通	普通	40	17	23	17
久慈	普通	普通	200	205	5	217
久慈東	総合	総合	200	210	10	220
久慈工業	工業	電子機械	40	36	4	36
	工業	建設環境	80	45	35	48
種市	普通	普通	80	53	27	53
	工業	海洋開発	40	19	21	19
大野	普通	普通	80	80	0	82
軽米	普通	普通	120	103	17	103
伊保内	普通	普通	80	46	34	47
福岡	普通	普通	200	175	25	176
福岡浄法寺	普通	普通	40	21	19	21
福岡工業	工業	機械システム	40	40	0	41
	工業	電気情報システム	40	38	2	37
一戸	総合	総合	120	122	2	128
			10,920	10,314	606	11,488

< 定時制 >

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
杜陵	普通	1・2部	120	94	26	111
	普通	3部	40	6	34	10
杜陵奥州	普通	昼間部	40	39	1	69
	普通	夜間部	40	18	22	13
盛岡工業	工業	工業	40	12	28	10
一関第一	普通	普通	40	6	34	8
大船渡	普通	普通	40	9	31	10
釜石	普通	普通	40	22	18	22
宮古	普通	普通	40	10	30	15
久慈長内	普通	昼間部	40	12	28	17
	普通	夜間部	40	5	35	5
福岡	普通	普通	40	7	33	7
			560	240	320	297

< 通信制 >

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
杜陵	普通	普通	300	169	131	209
奥州校含む			300	169	131	209

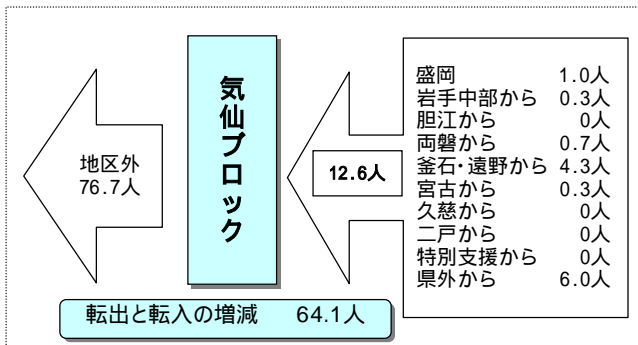
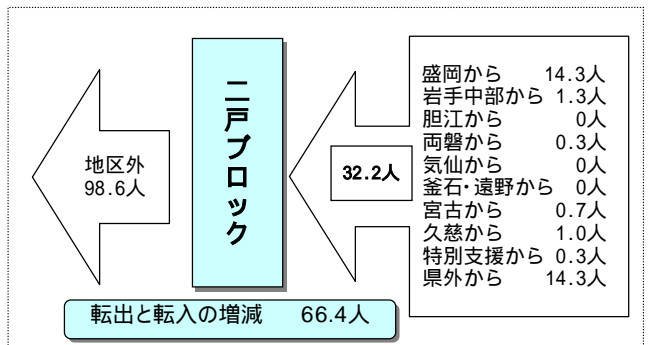
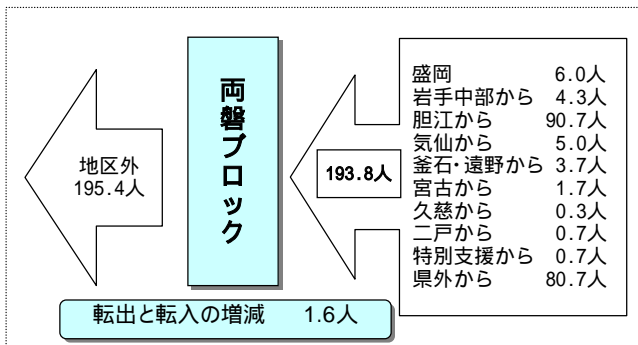
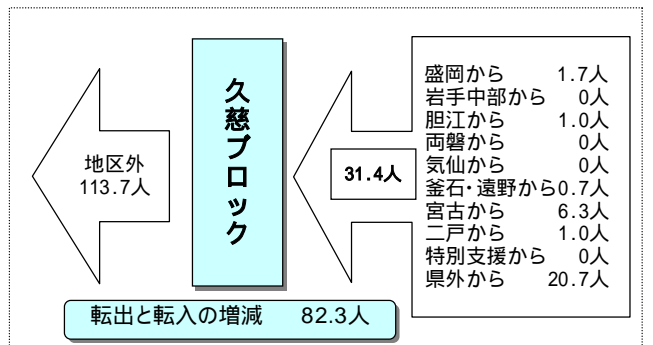
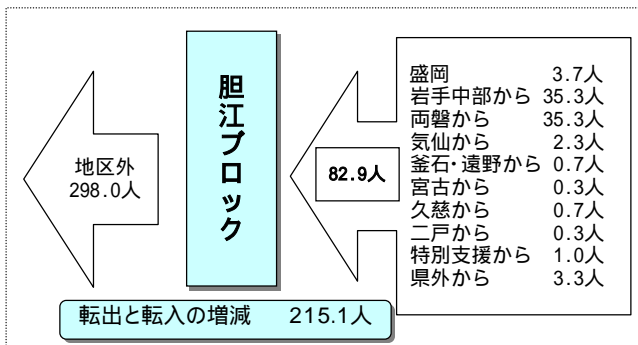
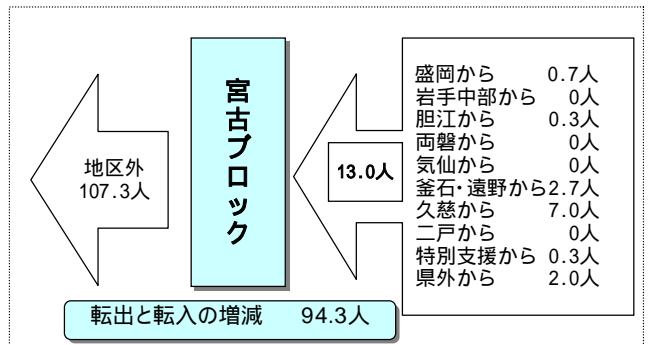
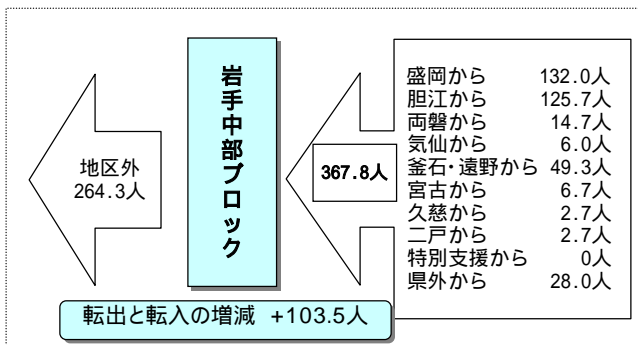
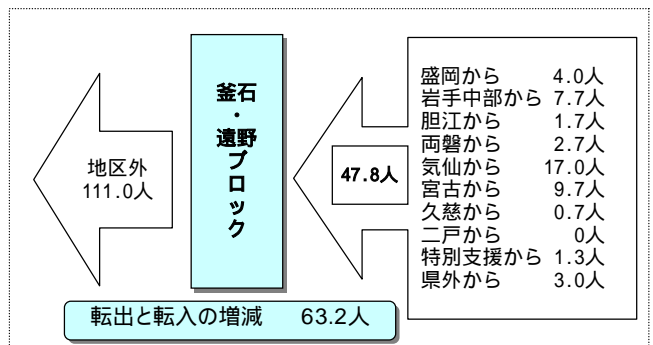
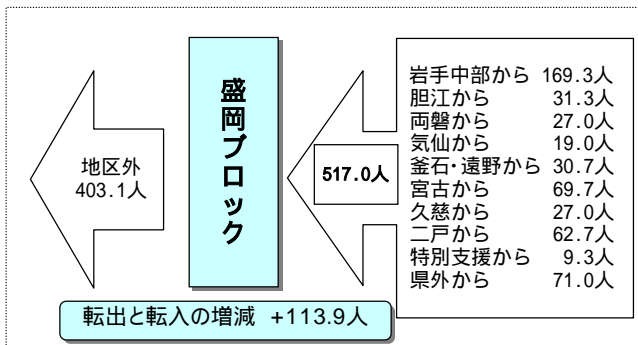
参考< 市立 >

学校名	大学科	学科・学系 ・コース	募集 定員	合格 者数	過不 足数	総受検 者数
盛岡市立	普通	特別進学コース	35	35	0	44
	普通	普通	160	163	3	239
	商業	商業	80	80	0	109
	普通	英語	25	24	1	17
			300	302	2	409

7 ブロック間交流の状況

【3年間（H18・19・20年度）の平均】

地区外には、高専及び特別支援への進学者、県外転出者を含む。



8 公立高等学校募集学級数の見込み（全日制課程の推計値）

ブロック	学校名	設置学科	平成20年度 学級数	ブロック内学級数（ ）内は対H20比							
				H20	H22	H26	H31				
盛岡	盛岡第一	普・理	8	89.5	86 (3.5)	78 (11.5)	69 (20.5)				
	盛岡第二	普	5								
	盛岡第三	普	8								
	盛岡第四	普	7								
	盛岡北	普	7								
	盛岡南	普・体	7								
	不来方	普・芸・外・体	8								
	盛岡農	農	5								
	盛岡工業	工	7								
	盛岡商	商	6								
	雫石	普	2								
	紫波総合	総	5								
	沼宮内	普	2								
	葛巻	普	2								
	平舘	普・家	3								
盛岡市立	普・商・英	7.5	[学科の割合] 普通科 69% その他専門3% 専門学科 22% 総合学科 6%								
岩手中部	花巻北	普	7	41	41 (0)	40 (1)	35 (6)				
	花巻南	普	5								
	花北青雲	工・商・家	4								
	花巻農	農	3								
	大迫	普	1								
	黒沢尻北	普	7								
	北上翔南	総	6								
	黒沢尻工	工	6								
	西和賀	普	2					[学科の割合] 普通科 54% その他専門0% 専門学科 32% 総合学科 15%			
胆江	水沢	普・理	7	30	29 (1)	26 (4)	22 (8)				
	水沢農	農	3								
	水沢工	工	4								
	水沢商	商	3								
	前沢	普	3								
	金ヶ崎	普	3								
	岩谷堂	総	5								
	岩谷堂農林	農	2					[学科の割合] 普通科 40% その他専門3% 専門学科 40% 総合学科 17%			
両磐	一関第一	普・理	6	28	26 (2)	26 (2)	21 (7)				
	一関第二	総	6								
	一関工	工	4								
	花泉	普	2								
	大東	普・商	4								
	千厩	普・農・工	6					[学科の割合] 普通科 50% その他専門4% 専門学科 25% 総合学科 21%			

ブロック	学校名	設置学科	平成20年度 学級数	ブロック内学級数 ()内は対H20比			
				H20	H22	H26	H31
気仙	高田	普・水	5	18 [学科の割合] 普通科 67% その他専門0% 専門学科 33% 総合学科 0%	17 (1)	15 (3)	12 (6)
	住田	普	2				
	大船渡	普	6				
	大船渡東	農・工・商・家	5				
釜石 ・ 遠野	釜石	普・理	5	20 [学科の割合] 普通科 60% その他専門5% 専門学科 35% 総合学科 0%	19 (1)	18 (2)	14 (6)
	大槌	普	3				
	釜石工	工	3				
	釜石商	商	2				
	遠野	普	5				
	遠野緑峰	農・商	2				
宮古	山田	普	2	23 [学科の割合] 普通科 57% その他専門0% 専門学科 43% 総合学科 0%	21 (2)	19 (4)	16 (7)
	宮古	普	6				
	宮古北	普	2				
	宮古工	工	3				
	宮古商	商	4				
	宮古水	水・家	3				
	岩泉	普	2				
	田野畑校	普	1				
久慈	久慈	普	5	18 [学科の割合] 普通科 50% その他専門0% 専門学科 22% 総合学科 28%	17 (1)	14 (4)	11 (7)
	久慈東	総	5				
	久慈工	工	3				
	種市	普・工	3				
	大野	普	2				
二戸	軽米	普	3	16 [学科の割合] 普通科 69% その他専門0% 専門学科 12% 総合学科 19%	14 (2)	13 (3)	10 (6)
	伊保内	普	2				
	福岡	普	5				
	浄法寺校	普	1				
	福岡工	工	2				
	一戸	総	3				
公立高等学校合計				283.5 [学科の割合] 普通科 59% その他専門2% 専門学科 29% 総合学科 11%	270 (13.5)	249 (34.5)	210 (73.5)
県立高等学校合計				276 [学科の割合] 普通科 58% その他専門2% 専門学科 29% 総合学科 11%	/		

平成20年度は実績値。平成22年度以降は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したもの。

学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

その他専門は、理数科、体育科、英語科であること。

専門学科は、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

9 県内高等学校卒業者の進路状況

(平成20年度 課程別、学科別)

(単位：人・%)

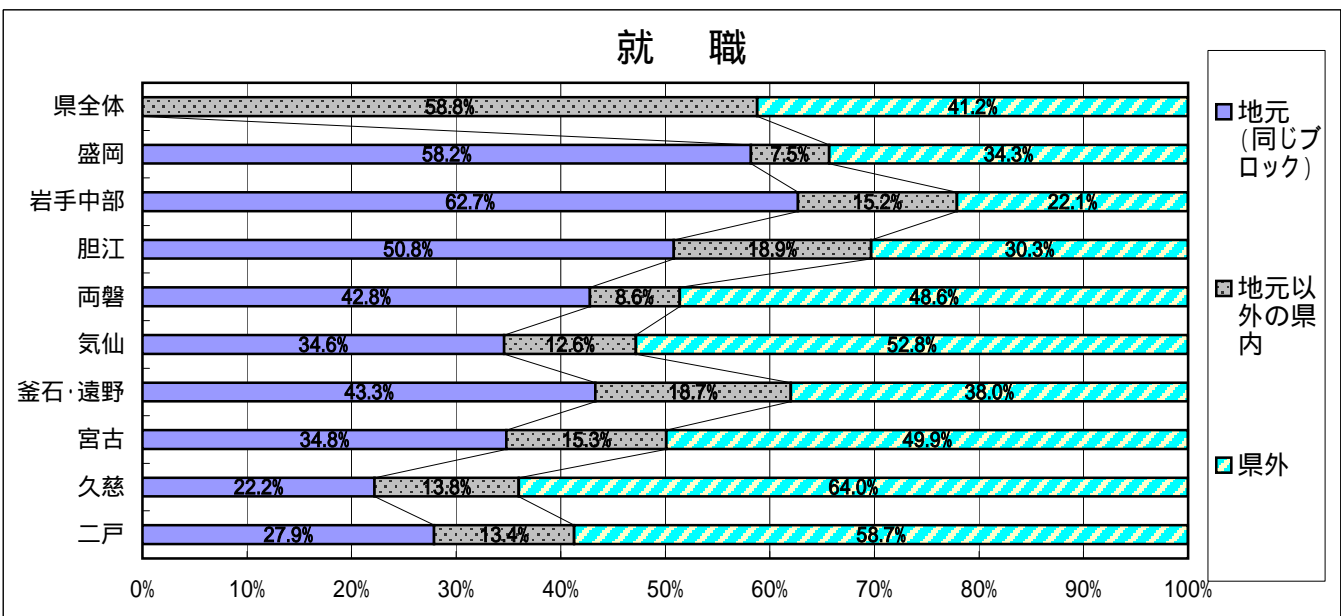
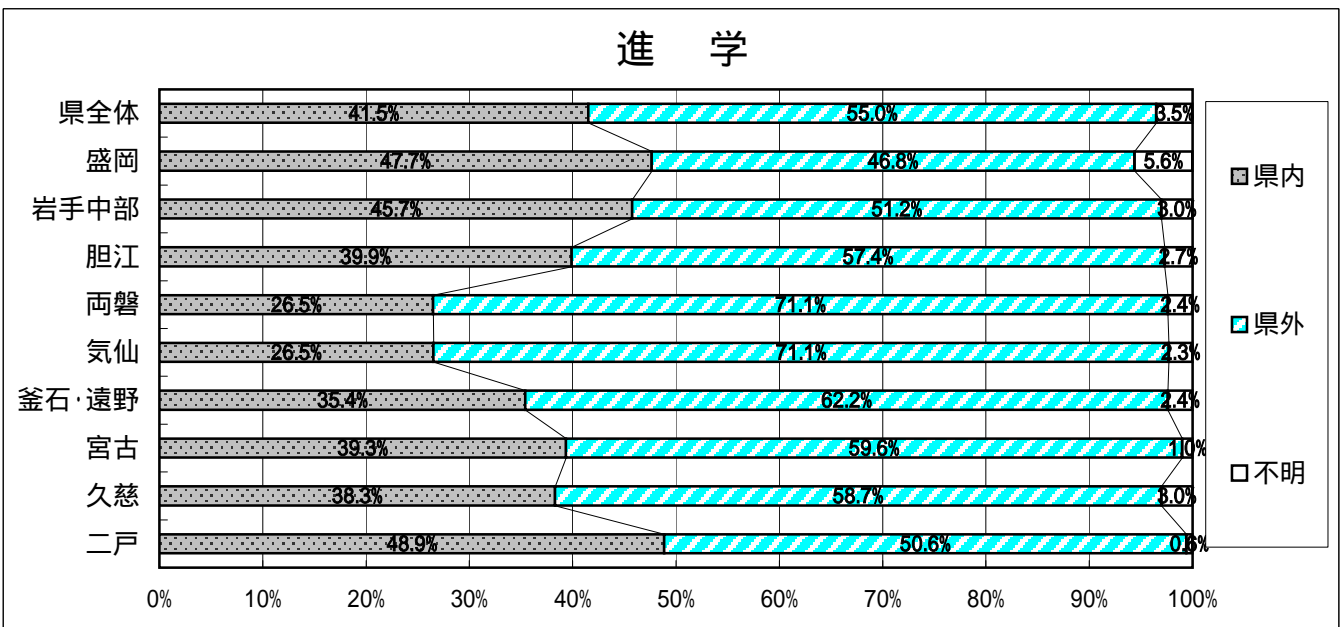
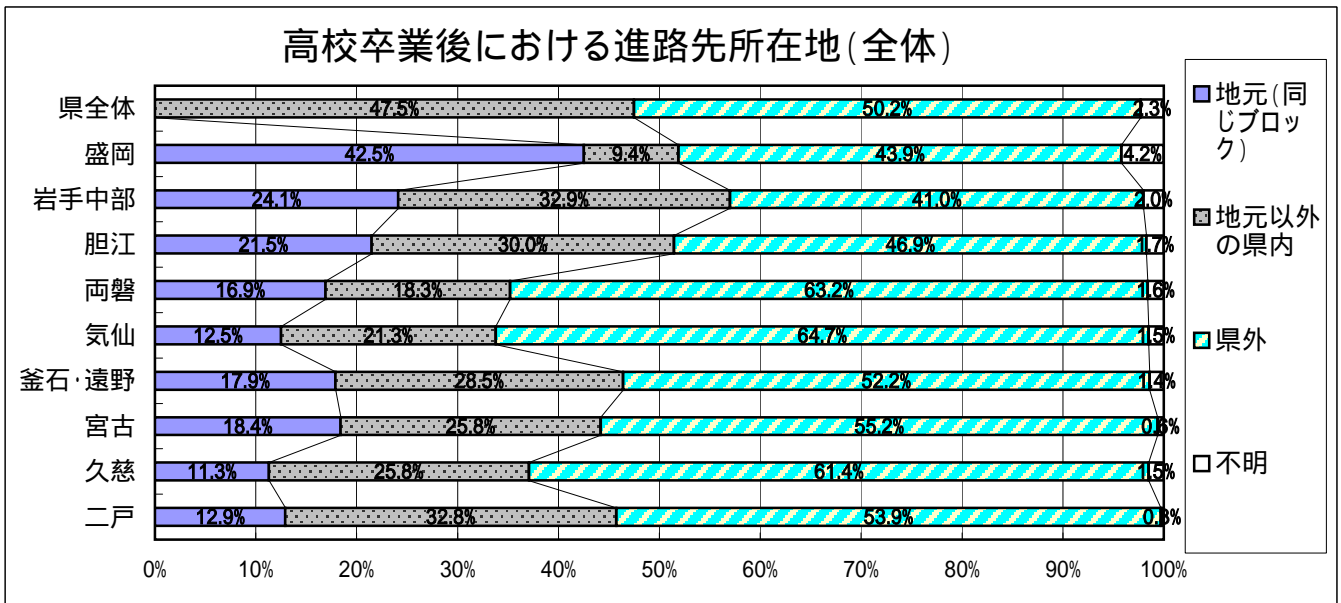
区 分	合 計 (卒業者 総数)	大学等 進学者 A (就職進学 者含む)	専修学校 等進学者 B (就職進学 者含む)	就職者 (就職進学 者除く)	左記 以外 のもの	(再掲) A、Bのう ち就職し ている者	大学等	専修学校	就職率
							進学率	等進学率	
合 計	13,485	5,323	3,327	4,335	500	39	39.5	24.7	32.4
全 日 制	13,340	5,309	3,303	4,294	434	37	39.8	24.8	32.5
普通	8,059	4,504	1,978	1,328	249	22	55.9	24.5	16.8
農 業	569	44	153	353	19	5	7.7	26.9	62.9
工 業	1,561	117	249	1,171	24	3	7.5	16.0	75.2
商 業	1,128	137	333	640	18	-	12.1	29.5	56.7
水 産	88	4	16	67	1	1	4.5	18.2	77.3
家 庭	249	23	62	154	10	4	9.2	24.9	63.5
看 護	54	48	1	3	2	-	88.9	1.9	5.6
そ の 他	256	144	61	36	15	-	56.3	23.8	14.1
総 合	1,376	288	450	542	96	2	20.9	32.7	39.5
定 時 制	145	14	24	41	66	2	9.7	16.6	29.7
普通	120	12	21	28	59	1	10.0	17.5	24.2
工 業	15	-	2	9	4	1	-	13.3	66.7
商 業	10	2	1	4	3	-	20.0	10.0	40.0

資料：県調査統計課「平成20年度学校基本調査報告書」

- 1 「B専修学校等進学者」とは、専修学校専門課程及び一般課程、公共職業能力開発施設等の入学者をいう。
- 2 「左記以外のもの」とは、一時的に仕事に就いた者、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者、その他不詳の者をいう。
- 3 「就職率」とは、卒業者のうち「就職者」+「(再掲)A、Bのうち就職している者」の占める比率をいう。

10 公立高等学校卒業者の進路先の状況

(平成20年3月公立高等学校卒業生)



11 高等学校中途退学者の状況

(1) 中途退学者数・中途退学率

区分	全日制		定時制		合計	
	中退数	中退率	中退数	中退率	中退数	中退率
平成19年度	413	1.22	90	13.1	503	1.46(2.1)
平成20年度	328	0.99	108	14.79	436	1.29(1.9)

(注) 中退率は、退学者数 / 在籍者数 × 100

() は全国の公立高校中途退学率

(2) 全日制学科別・学年別退学者数

区分	年度	全日制普通		全日制専門		全日制総合		合計	
		中退数	中退率	中退数	中退率	中退数	中退率	中退数	中退率
1年	19	97	1.48	129	3.59			226	2.20
	20	66	1.37	72	2.18			138	1.42
2年	19	62	0.83	57	1.63			119	1.20
	20	60	0.83	53	1.55			113	1.14
3年	19	15	0.32	13	0.38			28	0.28
	20	14	0.42	16	0.47			30	0.31
単位制	19					40	1.05	40	1.05
	20					47	1.29	47	1.29
合計	19	174	0.89	199	1.89	40	1.05	413	1.22
	20	140	0.73	141	1.39	47	1.29	328	0.99

(3) 理由別退学者数

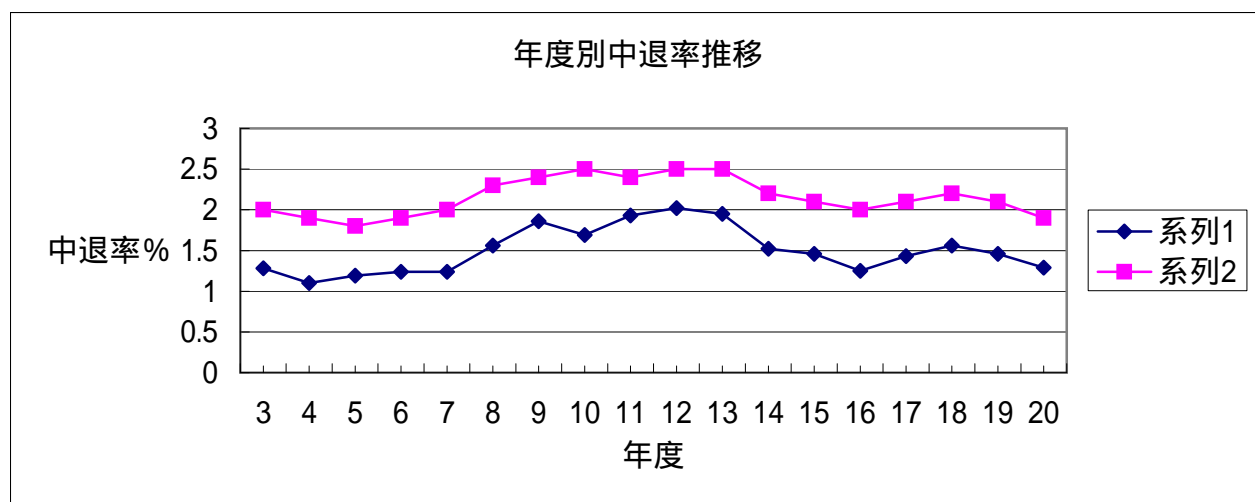
区分・年度	全日制		定時制		合計	
	H20	H19	H20	H19	H20	H19
学業不振	22	38	2	8	24(5.5)	46(9.1)
学校生活・学校不適応	164	198	42	33	206(47.2)	231(45.9)
進路変更	67	85	41	34	108(24.8)	119(23.7)
問題行動等	25	39	3	6	28(6.4)	45(8.9)
その他	50	53	20	9	70(16.1)	62(12.3)
合計	328	413	108	90	436(100.0)	503(100.0)

(注) その他の内訳: 病気・けが・死亡、経済的理由、家庭の事情等 () は構成比%

(4) 年度別推移

年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
岩手	退学者数	672	564	597	601	589	722	831	734	830
	中退率%	1.28	1.10	1.19	1.24	1.24	1.56	1.86	1.69	1.93
全国	中退率%	2.0	1.9	1.8	1.9	2.0	2.3	2.4	2.5	2.4

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
岩手	退学者数	862	793	616	572	477	521	554	503	436
	中退率%	2.02	1.95	1.52	1.46	1.25	1.43	1.56	1.46	1.29
全国	中退率%	2.5	2.5	2.2	2.1	2.0	2.1	2.2	2.1	1.9



12 高等学校における不登校の状況

(1) 不登校生徒数

(年間30日以上欠席した生徒数で、「病気」「経済的理由」「その他」の理由による者を除く)

区分	人数	比率
平成18年度	524	1.48(1.78)
平成19年度	472	1.37(1.70)
平成20年度	485	1.44(1.70)

(注1) 比率は(不登校生徒数 / 全在籍数) × 100

(注2) ()は全国(対象は、公立)の比率

(2) 不登校生徒発生校数(学校数は、学校基本調査による)

区分	学校数	発生校数
平成18年度	79	68
平成19年度	79	74
平成20年度	75	72

(3) 学年別不登校生徒数

区分	1年	2年	3年	単位制等	計
平成20年度	154	131	74	126	485

(4) 不登校のきっかけと考えられる状況(%)

区分	きっかけ		
平成20年度	1 その他本人に関わる問題(36.9)	2 いじめを除く友人関係をめぐる問題(21.6)	3 学業の不振(17.1)

(調査項目選択肢) 複数回答可

いじめ

教職員との関係を巡る問題

部活動等への不適応

入学、転編入学、進級時の不適応

親子関係をめぐる問題

病気による欠席

その他

いじめを除く友人関係をめぐる問題

学業の不振

学校のきまり等をめぐる問題

家庭の生活環境の急激な変化

家庭内の不和

その他本人に関わる問題

不明

(5) 不登校状態が継続している理由(%)

区分	理由		
平成20年度	1 不安などの情緒的混乱(29.9)	2 無気力(25.4)	3 その他(24.5)

(調査項目選択肢) 複数回答可

いじめ

あそび、非行

意図的な拒否

いじめを除く他の生徒との関係

無気力

その他

教職員との関係

不安などの情緒的混乱

(6) 指導の結果好ましい変化の見られた生徒の割合(%)

平成20年度	37.3
--------	------

1.3 県立高等学校における定時制課程・通信制課程の現状

〔定時制課程〕

1. 平成20年度定時制設置校及び入学者の状況

学校名	学科	平成20年度定員	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
			入学者	充足率%	入学者	充足率%	入学者	充足率%
杜陵(単位)	普通	160	111	69.4	105	65.6	121	75.6
盛岡工業	工業	40	14	35.0	12	30.0	8	20.0
黒沢尻工業	産業	40	10	25.0	10	25.0	7	17.5
水沢商業	商業	40	11	27.5	10	25.0	13	32.5
一関第一	普通	40	14	35.0	18	45.0	11	27.5
大船渡	普通	40	10	25.0	9	22.5	18	45.0
釜石	普通	40	4	10.0	11	27.5	15	37.5
宮古	普通	40	9	22.5	8	20.0	21	52.5
久慈長内	普通	80	11	27.5	14	35.0	23	28.8
福岡	普通	40	13	32.5	12	30.0	6	15.0
学科毎の計	普通	440	172	43.0	177	44.3	215	48.9
	工業	40	14	35.0	12	30.0	8	20.0
	産業	40	10	25.0	10	25.0	7	17.5
	商業	40	11	27.5	10	25.0	13	32.5
合計		560	207	39.8	209	40.2	243	43.4

平成20年度に釜石南から校名変更

平成18・19年度定員は40名

2. 転入生受入状況

	前在籍校の種別						計
	全日制 普通科	全日制 職業科	定時制 普通科	定時制 職業科	通信制	その他	
	平成18年度	16	5	1	0	0	
平成19年度	17	8	0	0	1	0	26
平成20年度	13	4	1	0	0	1	19

3. 編入生受入状況

	前在籍校退学後の年数				計	前在籍校の種別					計
	1年以内	1～2年	2～3年	3年以上		全日制 普通科	全日制 職業科	定時制 普通科	通信制	その他	
	平成18年度	4	1	0		4	9	4	5	1	
平成19年度	7	1	1	2	11	4	4	1	0	3	12
平成20年度	14	0	0	0	14	13	1	0	0	0	14

4. 無職生徒及び成年生徒の状況

	在籍数	無職生徒		成年生徒				
		人数	割合(%)	20歳代	30歳代	40歳代	計	割合(%)
平成18年度	713	468	65.6	56	2	0	58	8.1
平成19年度	687	433	63.0	46	2	0	48	7.1
平成20年度	729	460	63.1	36	1	1	38	5.2

5. 不登校生徒の実態

中学校3年時に30日以上欠席した者の人数

	在籍数	1年	2年	3年	4年	計	割合(%)
平成20年度	729	91	67	43	35	236	32.4

6. 退学者の状況

		進路変更	学業不振	学校不適応	仕事の都合	その他	計
平成17年度	人数	35	5	47	3	13	103
	割合(%)	34.0	4.9	45.6	2.9	12.6	
平成18年度	人数	35	15	33	2	18	103
	割合(%)	34.0	14.6	32.0	1.9	17.5	
平成19年度	人数	37	10	27	0	14	88
	割合(%)	42.0	11.4	30.7	0.0	15.9	

7. 卒業後の進路状況

	合計 (卒業者数)	大学等 進学者 A (就職進学者含む)	専修学校 (専門課程) 進学者 B (就職進学者含む)	専修学校 (一般課程) 進学者 C (就職進学者含む)	就職者 (就職進学者除く)	一時的な仕事に就いた者	左記以外のもの	(再掲) A,B,Cのうち 就職している者	大学等 進学率 (%)	就職率 (%)
平成19年度 卒業生	145	14	23	1	41	25	41	2	9.7	29.7

平成20年度学校基本調査

〔通信制課程〕

1 転編入の状況（平成20年度入学生）

前籍校種	本校・分室		杜陵高校・本校					杜陵高校・水沢分室					杜陵高校・宮古分室					通信制全体				
	年次	1年	2年	3年	4年	計	1年	2年	3年	4年	計	1年	2年	3年	4年	計	1年	2年	3年	4年	計	
転 入	全日制普通科・総合学科	10	14	13		37	1	4		6	11	3		6		9	14	18	19	6	57	
	全日制専門科	3	3			6	4	3	2	1	10	1		2		3	8	6	4	1	19	
	定時制普通科	4	3			7	1				1					0	5	3	0	0	8	
	定時制専門科					0					0					0	0	0	0	0	0	
	単位制普通科					0					0					0	0	0	0	0	0	
	通信制普通科		2			2					0					0	0	2	0	0	2	
	計	17	22	13	0	52	6	7	2	7	22	4	0	8	0	12	27	29	23	7	86	
編 入	前在籍校退学後1年以内	11	5	3		19	2	4		1	7	2		1		3	15	9	4	1	29	
	前在籍校退学後2年以内	3	3	2		8		2			2					0	3	5	2	0	10	
	前在籍校退学後3年以内	1	1	1		3					0					0	1	1	1	0	3	
	前在籍校退学後3年以上	5	7	5		17	1			1	2	1	1			2	7	8	5	1	21	
	計	20	16	11	0	47	3	6	0	2	11	3	1	1	0	5	26	23	12	2	63	
転編入の合計	37	38	24	0	99	9	13	2	9	33	7	1	9	0	17	53	52	35	9	149		
平成20年度普通科入学生	141					43					25					209						
転編入生/入学生×100	70.2%					76.7%					68.0%					71.3%						

2 無職生徒及び成年生徒の状況（平成20年度）

校名	区分 年次	在籍数	無職生徒		成年生徒				
			人数	割合%	20歳代	30歳代	40歳以上	計	割合%
杜陵 高校 本校	1年	79	56	70.9	8	2	1	11	13.9
	2年	38	21	55.3	8	1		9	23.7
	3年	24	19	79.2	5	1		6	25.0
	4年	0						0	
	計	141	96	68.1	21	4	1	26	18.4
水沢 分室	1年	21	13	61.9	2			2	9.5
	2年	7	4	57.1				0	0.0
	3年	5	3	60.0				0	0.0
	4年	10	5	50.0	1			1	10.0
	計	43	25	58.1	3	0	0	3	7.0
宮古 分室	1年	25	22	88.0	2			2	8.0
	2年	20	13	65.0	3	1		4	20.0
	3年	11	10	90.9	1			1	9.1
	4年	8	6	75.0	2	1	2	5	62.5
	計	64	51	79.7	8	2	2	12	18.8
合計		248	172	69.4	32	6	3	41	16.5

14 県立高等学校における特別支援教育の現状

1 課題

(1) 生徒の状況

- ・ 小中学校、高校を含め、障がいなど特別な教育的ニーズを抱える生徒が増加している。
- ・ 特に、近年、LD・ADHD・高機能自閉症など発達障がいへの気付きが進む中、これまでの高等学校の教育内容・方法では対応困難な生徒が増えている。
- ・ これにより、特別支援学校高等部進学希望者の中に、発達障がいなど、特別支援学校の対象ではない生徒が増加し、高等部生徒の急増や教室不足等の課題に拍車をかけている。

(2) 保護者のニーズ

- ・ 障がいがあっても、地域の学校で学ばせたいと願う傾向が強くなっている。
- ・ 高等学校には軽度の障がいや発達障がいに対応する教育の仕組が用意されていないことへの不安や不満が増大している。

(3) 法令等の扱い(学教法75条)

- ・ 小学校、中学校、高等学校・(略)・及び幼稚園においては・(略)・教育上特別の支援を必要とする児童、生徒及び幼児に対し・(略)・障害による学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うものとする。
- ・ 小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校には・(略)・特別支援学級を置くことができる。
(現在、全国で高等学校の特別支援学級設置例はない 特別支援学校の分教室は存在する。)

参考 - 特別支援学校の対象者の規定(学教法施行令22条の3)

視覚障がい・聴覚障がい・知的障がい・肢体不自由・病弱の5障がい種について程度規定(知的発達に遅れのない発達障がい者は、原則として知的特別支援学校の対象にはなれない)

2 生徒の現状及び将来像(実態調査から)

(1) 小中学校(通常学級)における「特別な支援を要する児童生徒」の実態調査(H18年度)

- ・ 通常の学級に約4.5%の割合で存在(H14年全国調査では6.3%)
 - 推論 全ての小中学校に、特別支援教育の対象児童生徒が存在する可能性(1学年580人)
 - 推論 毎年、高等学校に500人を超える生徒が進学する可能性がある

(2) 県立高校における特別な支援が必要な生徒(H19年10月調査から)

ア 特別な支援を必要とする生徒の数(全体)

(対象:全県立高校33,905名中)

要支援生徒数	分類		具体的な内容						
	395人 (1.2%)	医師等判断	143	LD	6	知的障がい	6	言語障がい	6
ADHD				19	ダウン症	1	肢体不自由	5	
高機能自閉				14	聴覚障がい	11	その他	75	
自閉症				1	視覚障がい	5			
学校による判断		252	(A)「学習面」で支援が必要						70
			(B)「不注意・多動等」により生活・行動面で支援が必要						44
			(C)「対人関係やこだわり等」により生活・行動面で支援が必要						82
			(D)上記(A)～(C)が重複して、支援が必要						36
			(E)上記(A)～(C)意外に、支援が必要						20

推論 今後、障がいへの気付きが進むにつれて、対象となる生徒の数は増加する。

イ 特別な支援を必要とする生徒を抱える学校 (対象:全県立高校89本校・分校・分室)

生徒の数	学校数	校種別内訳
20人～	3	専門高校(2)、通信制(1)
10～19人	8	普通高校(2)、専門高校(3)、総合学科高校(1)定時制(2)
5～9人	7	普通高校(3)、専門高校(2)、定時制(3)
4人	5	普通高校(3)、専門高校(2)
3人	9	普通高校(4)、専門高校(4)、総合学科高校(1)
2人	11	普通高校(9)、総合学科高校(1)、定時制高校(1)
1人	14	普通高校(8)、専門高校(3)、総合学科高校(2)、定時制(1)

3 高等学校の現状

(1) 県立高校における校内支援体制の整備状況

- ・コーディネーター指名(86.1%)、校内委員会設置(70.9%)など理解と取組が進んでいる。

(2) 各校が抱えている課題

- ・集団行動の困難など、生徒の個別の課題に十分な対応が困難。
- ・障がいのある生徒の就職指導のノウハウがないため、特に進路指導が困難。

4 対応策の検討・・・特別な受入枠を設けるための方策

方策	特徴	先進事例
特別支援学校の分教室を設置	・特別支援学校に在籍して、専門の教員による指導 ・専門性の高い教員の配置が容易 ・卒業後は特別支援学校の卒業生として社会参加	大阪府、静岡県 その他
特別支援学級を設置	・当該校に在籍するが、原則として別学級に在籍 ・教員の定数確保が容易(学教法に、できる規定があるもの)	なし
リソースルーム(通級指導教室)の設置	・通常学級に在籍して、必要な時間のみ支援を受ける ・障がいのない生徒と共に学ぶ教育を実現 ・教員の定数確保は困難(教員加配による対応)	福島県立川俣 東京都立世田谷泉 など、チャレンジスクール

15 岩手県の中高一貫教育の状況

〔中高一貫教育の主な目的〕

高校入試の影響を受けず、生徒がゆとりある安定的な学校生活を送ることを可能にする。
6年間の計画的・継続的な指導により、基礎基本に係る学力の定着や個性の伸長を図る。
生徒や保護者の選択の幅を拡大して、中等教育のより一層の多様化を推進する。

1 連携型中高一貫教育の現状

現在、本県では次の連携型中高一貫教育が実施されている。

地域名	軽米地域	葛巻地域
連携高校名	軽米高校	葛巻高校
連携中学校名	軽米、笹渡、小軽米、小玉川、晴山中学校（H14年3月31日閉校）	葛巻、小屋瀬、江刈中学校
導入年度	平成13年度	平成14年度
入試方法	・基礎学力の確認(英数国)・面接	・作文・面接
地元進学率	H13 68.5% (100名/146名)	H14 73.0% (81名/111名)
連携中学校卒業者のうち連携高校進学者数	H18 74.6% (91名/122名) H19 82.5% (105名/127名) H20 73.5% (97名/132名)	H18 61.7% (50名/79名) H19 64.1% (59名/92名) H20 72.0% (54名/75名)
充足率	定員 入学者 充足率 H18 120 97 80.8 H19 120 107 89.2 H20 120 101 84.2	定員 入学者 充足率 H18 80 50 61.7 H19 80 60 75.0 H20 80 57 71.3

《連携型中高一貫校の大学等への進学状況》

	軽米高校			葛巻高校		
	H13年度	H18年度	H19年度	H14年度	H18年度	H19年度
卒業者数	143	111	105	87	66	40
大学・短大	33(23.1)	27(24.3)	25(23.8)	19(21.8)	17(25.6)	11(27.5)
専門(公立・他)	43(30.1)	33(29.7)	36(34.3)	41(47.1)	27(40.9)	14(35.0)
進学 計	76(53.1)	60(54.1)	61(58.1)	60(69.0)	44(66.7)	25(62.5)

H18～H19：軽米高校は連携型入試で入学した生徒のみのデータ
連携型中高一貫教育の実践の概要については、別紙のとおり。

2 併設型中高一貫教育の現状

〔設置予定〕

- (1) 導入校：一関第一高等学校
- (2) 併設中学校：一関第一高等学校附属中学校
- (3) 設置時期：平成21年4月
- (4) 設置理念：高等学校入学者選抜検査のない6年間の中高一貫教育の下、子どもたちがより深く学び、将来の進路目標を達成できるよう、特色ある教育活動を展開し、次世代のリーダーを育成する。
- (5) 教育目標：豊かな人間性と高い知性を持ち、社会の進歩発展に貢献することができる人材を育成する。（県立中学校）

連携型中高一貫教育の実践の概要

1 実践の目的

- (1) 6年間を通じた生徒の目的意識を高めるための指導方法の構築
- (2) 特色ある教育課程の編成の在り方の検討
- (3) 中高一貫教育校における学校運営の改善充実

2 実践の成果

- (1) 6年間を通じた生徒の目的意識を高めるための指導方法の構築

授業交流(中高教員によるTTの授業)の継続的实施により、中高教員の指導力が向上し、生徒の基礎的・基本的内容の定着が図られた。また、生徒にとっては、段差の低い中高のスムーズな接続が可能になった。

中学校において、中高6年間及び高校卒業後の進路を見通した進路指導が行われるようになり、生徒が高校生活や高校卒業後の進路について目標をもって入学するようになった。

大学への進学実績の向上に伴い、連携型高校に進学して大学を目指そうとする生徒が増えた。

中高教員の密な情報交換、連携した対応などにより、中高生活指導の充実が一層図られ、学校不適應の問題をはじめ、生徒指導上の問題が減少した。

- (2) 特色ある教育課程の編成の在り方の検討

中高6年間を通して、地域学習をテーマとした特色ある学習活動を、生徒の学習レベルに応じて、計画的・継続的に取り組むことができた。

- (3) 中高一貫教育校における学校運営の改善充実

学校、地域、PTA、教育委員会の代表者による協議会や、中高全教員参加による部会等を開催することにより、学校運営においても、それぞれの意向を踏まえた連携を図ることが可能となった。

定期的な広報誌を町内全戸に配付することで、住民への周知・理解を図り、そのことにより、保護者、地域住民の協力を得ながら中高一貫教育の取組みを進めることができた。さらには、学校運営の活性化につながっている。

3 課題

- (1) 6年間を通じて生徒の目的意識を高めるための指導方法の構築

- ・ 配置教員数の制約などにより、数学、英語以外の連携が難しい。

- (2) 特色ある教育課程の編成の在り方の検討

- ・ 連携する学校が多く、打ち合わせ、準備等に要する時間の確保が難しい。
- ・ 町立中学校と県立高校という設置者の違いから、中高の柔軟なカリキュラム編成や、特色ある教育課程の編成に制約がある。

- (3) 中高一貫教育校における学校運営の改善充実

- ・ 授業交流、各種活動に伴う事前の打ち合わせ、準備の時間の確保が難しい。
- ・ 取組みの改善に結びつけるための啓蒙活動の在り方を検討する必要がある。

4 その他

- (1) 地域の生徒減少に伴い、連携型高校への入学者の数も減少している。今後、少ない生徒数の中で、子どもたちにとって、活力のあるより良い学習環境をどうつくっていくかが大きな課題である。

- (2) 連携型中高一貫教育の実施により、いくつかの学校に教員が多く配置されてきたが、今後、それがなくなった場合の中高連携の在り方について検討する必要がある。

16 県立高等学校新整備計画における再編整備の実施状況

実施年度	実施地区	再編整備の内容 (新校の種類)	再編整備対象校 (学級数)	新校の校名 (学級数)	施設整備の状況
<前期計画(平成12～16年度)>					
H14	岩手中部	改編(総合選択制高校)	花巻南高校(6)	花巻南高校(6)	
	両磐	統合(普通科・専門学科併設校)	千厩高校(4) 千厩東高校(3)	千厩高校(7)	校舎改築等実施
H15	岩手中部	統合(農業専門高校)	花巻農業高校(5) 北上農業高校(2)	花巻農業高校(3)	
	岩手中部	改編(総合的専門高校)	花北商業高校(3)	花北青雲高校(4)	校舎改築等実施
	宮古	統合(本校への統合)	岩泉高校(3) 岩泉高校小川校(1)	岩泉高校(3)	
H16	盛岡	改編(総合学科高校)	紫波高校(6)	紫波総合高校(6)	校舎改築等実施
	岩手中部	改編(総合学科高校)	黒沢尻南高校(5)	北上翔南高校(6)	校舎改築等実施
	両磐	統合(総合学科高校)	一関第二高校(6) 一関農業高校(2)	一関第二高校(6)	校舎改築等実施
	久慈	統合(総合学科高校)	久慈農林高校(3) 久慈商業高校(3) 久慈水産高校(2)	久慈東高校(6)	校舎改築等実施
<後期計画(平成17～21年度)>					
H17	二戸	改編(総合学科高校)	一戸高校(4)	一戸高校(4)	校舎改築等実施
H18	両磐	統合(普通科・専門学科併設校)	大東高校(4) 大原商業高校(2)	大東高校(5)	産業振興棟増築
	両磐	統合(普通科・専門学科併設校)	千厩高校(6) 藤沢高校(2)	千厩高校(6)	
H20	岩手中部	統合(普通科高校)	花巻北高校(7) 東和高校(2)	花巻北高校(7)	
	胆江	統合(普通科高校)	水沢高校(7) 胆沢高校(1)	水沢高校(7)	
	気仙	統合(普通科・専門学科併設校)	高田高校(普通3) 広田水産高校(水産1)	高田高校(5)	校舎改修等実施
	気仙	統合(総合的専門高校)	大船渡農業高校(2) 大船渡工業高校(3) 高田高校(情報1) 広田水産高校(家政1)	大船渡東高校(5)	校舎改築等実施
	釜石 遠野	統合(普通科高校)	釜石南高校(5) 釜石北高校(2)	釜石高校(6)	校舎改築等実施
	釜石 遠野	統合(本校への統合)	遠野高校(4) 遠野情報ビジネス校(1)	遠野高校(4)	
	宮古	統合(本校への統合)	宮古高校(6) 宮古高校川井校(1)	宮古高校(6)	
	久慈	統合(本校への統合)	久慈高校(5) 久慈高校山形校(1)	久慈高校(5)	
	久慈	改編(多部制高校)	久慈高校長内校(1)	久慈高校長内校(2)	校舎改修等実施
	二戸	改編(本校の分校化)	浄法寺高校(1)	福岡高校浄法寺校(1)	
H21	胆江	統合(総合学科高校)	岩谷堂高校(5) 岩谷堂農林高校(2)	岩谷堂高校(6)	校舎改築等実施
	胆江	新設(多部制・単位制高校)	[水沢高等看護学院]	杜陵高校奥州校(2)	校舎改修実施
	両磐	改編(併設型中高一貫校)	一関第一高校(6)	一関第一高校附属中学校(2)	校舎改修等実施
	釜石 遠野	統合(総合的専門高校)	釜石工業高校(3) 釜石商業高校(2)	釜石商工高校(5)	校舎改築等実施
計	26件	統合17件、改編8件、新設1件	対象校累計43校		

再編整備対象校の印は、新校を設置した高校を示す。

17 総合選択制高校の検証資料

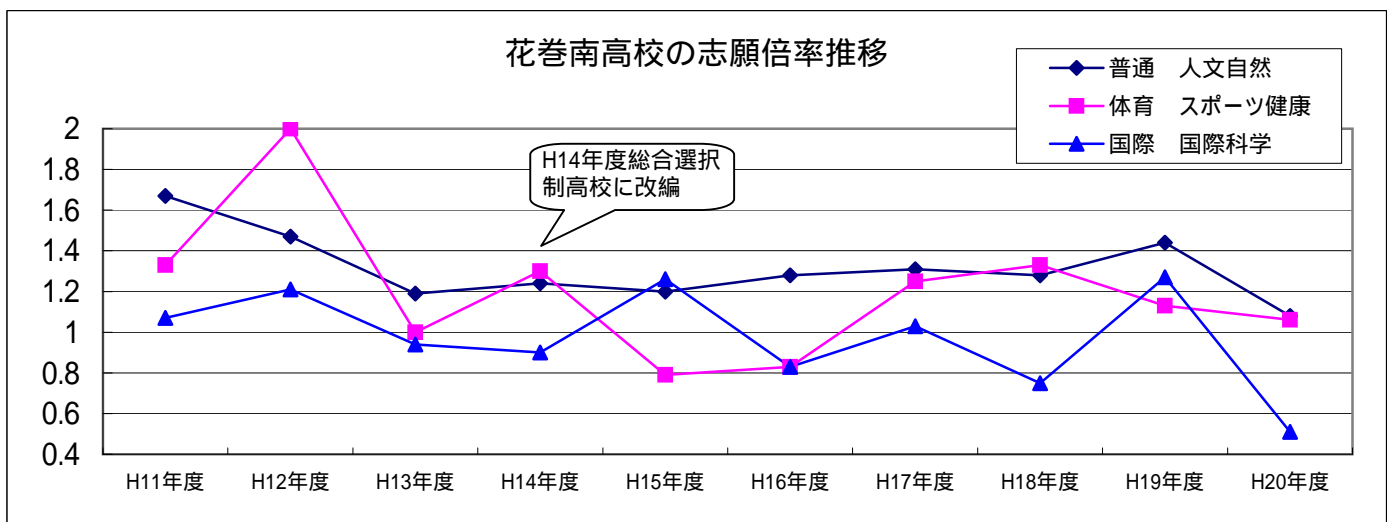
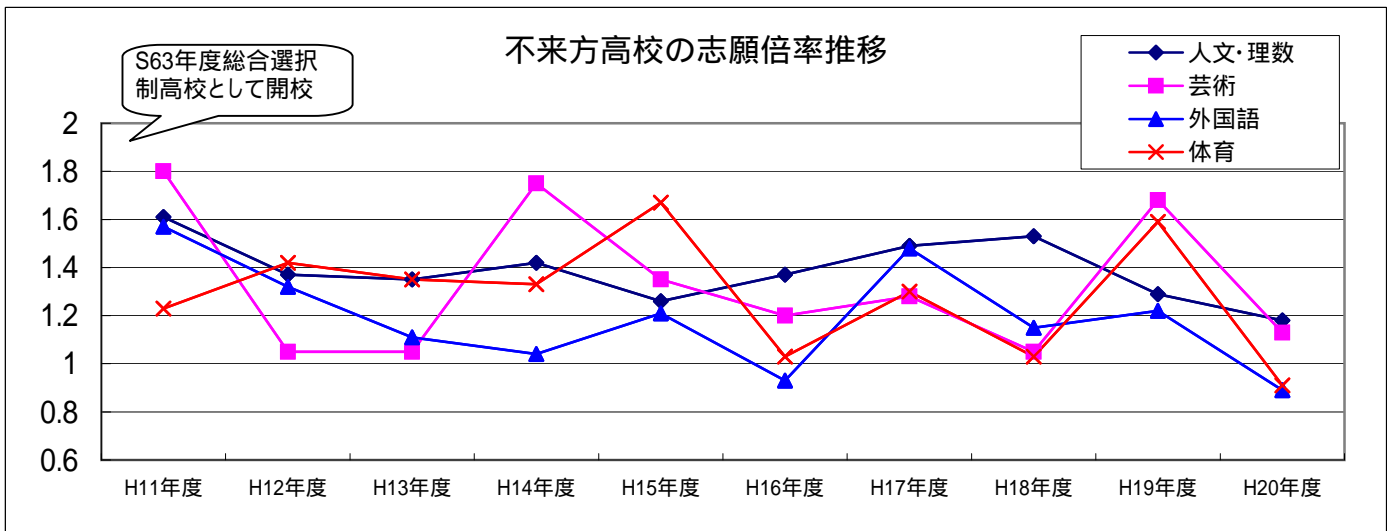
(1) 総合選択制高校の検証〔花巻南高校(不来方高校)〕

	現 状	成 果	課 題
1 志願状況及び入学志望意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・年度によって志願倍率の上下があるが、外国語関係の学系の志願倍率が低下傾向にある。 ・普通科系の学系を希望しながら、専門性の高い学系を志願する生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受検時点での生徒の志望意欲が高い。(生徒アンケートにおける入学志望意欲が比較的強いという回答が、県全体と比較して10%前後高い。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・出願時に第2志望、第3志望の学系の選択が可能であることから、専門性の高い学系を第2志望以降に選択し、学系重視ではなく学校重視で志願する生徒がいる。
2 総合選択制のシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科系の学系は一括募集を行っている。 ・専門性の高い学系については、教育課程に特色をもたせ、学校設定教科・科目等の開設を行っている。 ・他の学系の科目選択は語学とスポーツを中心に開設している。 ・不来方高校の専門性の高い学系は、さらにコースに分かれ少人数指導が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野の学系だけでなく、興味等に応じて他の学系の科目も選択履修することができる。 ・専門性の高い学系は、少人数指導体制としており、より深く専門性を追求することができる。 ・あくまでも普通科であることから、専門科目の単位数に縛られることなく、学系の特色を出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の教員が不足しており、他の学系の生徒も一緒に授業となる場合がある。 ・学校設定科目を担当している教員は、教材準備、教材研究等に時間が多く必要である。 ・開設する科目が多くなることにより、時間割が複雑になるとともに、人数に対応した教室が不足する場合がある。
3 学習指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語関係の学系の生徒は、学力差が大きく、授業内容を理解できない生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学系や科目など自ら選択することにより、学習に対する意欲・態度の向上が認められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い学系を理解しないまま入学した生徒は、イメージと現実の違いを感じるとともに、授業内容を理解することが難しくなる場合がある。
4 生徒指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として、学習及び部活動に対して意欲的に取り組んでいることから、問題行動などが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高い専門性を持った多様な生徒が入学しており、人間形成の面で大きな効果がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体だけでなく、学系独自の行事もあり、教員の業務量が多くなる。
5 進路指導面及び進路状況	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップは、学校独自のものは実施しておらず、外部で企画したものに希望者を募り参加している。 ・専門性の高い学系は、専門性を生かした進路実現となっている。 ・進路状況において、「専門学校進学者」と「その他」の生徒が減少している。 ・不来方高校は、大学進学率が向上している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い学系は、専門性を生かし、レベルの高い大学進学に繋がっている。 ・「専門学校進学」及び「その他」の進学が減少するなど、専門性を生かした進路目標の達成に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学に対応した進学指導は、科目選択の幅を狭めることになり、総合選択制のメリットが活かせなくなる。 ・外国語関係の学系において、専門性を生かした進路は高いレベルが要求され、一部の生徒の進路実現となっており、対応が難しい状況である。
6 学校評価	<ul style="list-style-type: none"> ・体験入学に多くの中学生が参加し、人気が高い。 ・生徒のアンケート結果では芸術学系の満足度が高い。一方、外国語関係の学系では、県全体と比較して、否定的な回答の割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育系の学系を有することで能力が高い生徒が多く、また生徒数も多いことから、高いレベルで競い合うことができるため部活動に対する満足度が高い。 ・また、部活動の活躍により学校の知名度が上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のアンケート結果では、学系によって満足度に差がある。 ・特に外国語関係の学系は、満足度に否定的な回答が多く、進路も含めて対応を検討する必要がある。

(2) 志願者数及び入学者数の推移

志願倍率 = 一般志願者数 / (定員 - 推薦合格者数)

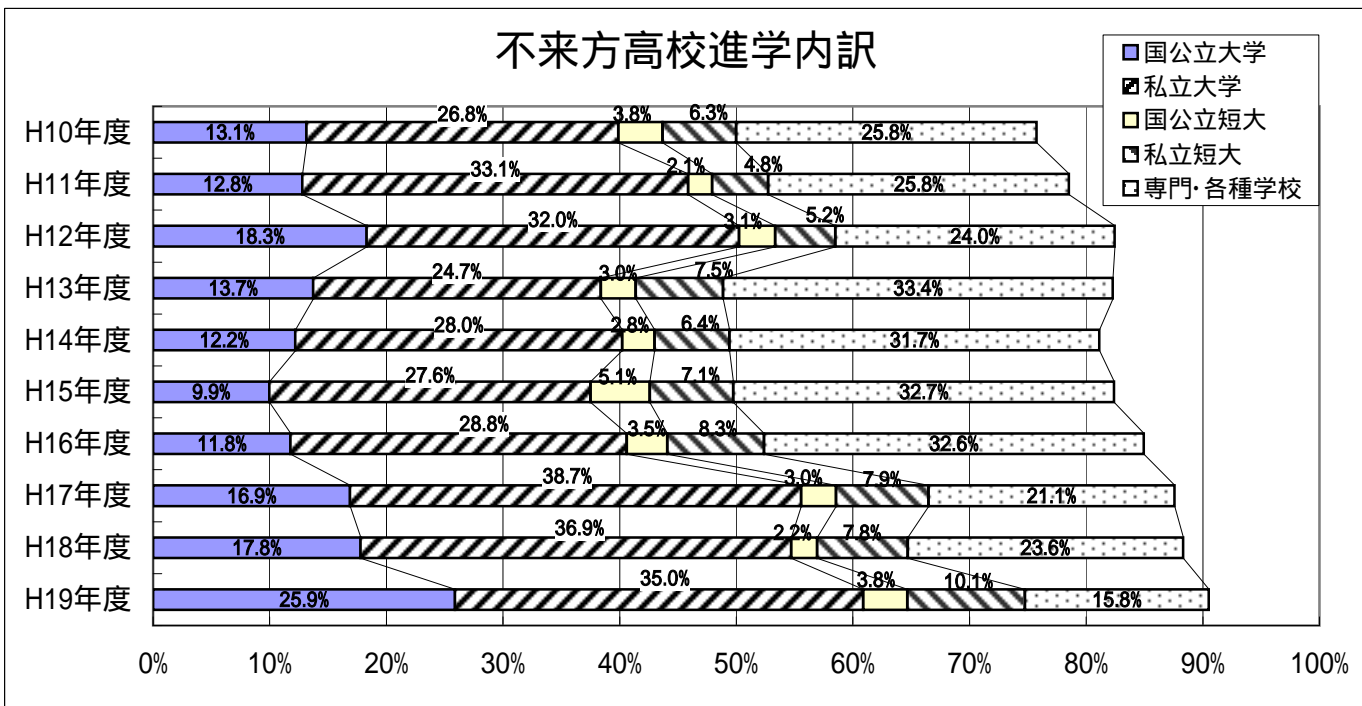
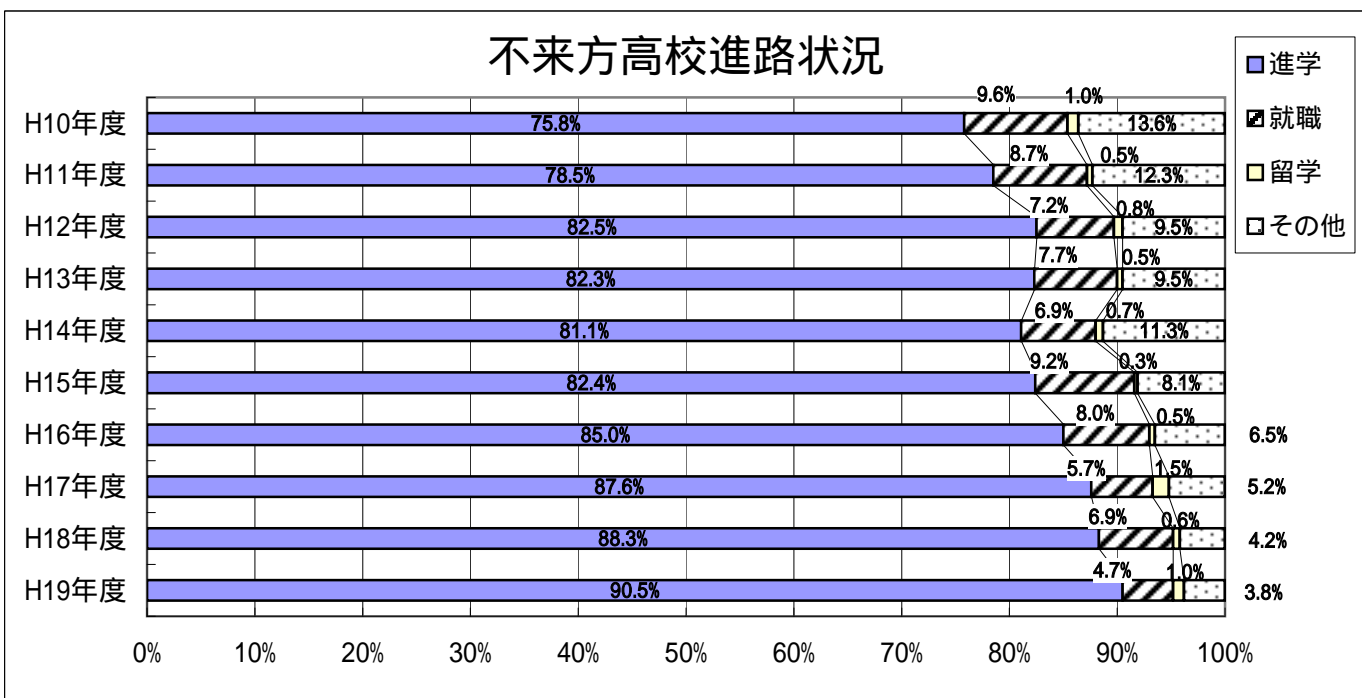
学校名	学科・学系	項目	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	備考	
不来方	人文理数	定員	280	320	280	280	280	240	200	200	200	200	昭和63年度総合選択制高校として開校	
		一般志願者数	405	394	340	355	317	328	297	305	232	212		
		志願倍率	1.61	1.37	1.35	1.42	1.26	1.37	1.49	1.53	1.29	1.18		
		入学者数	296	328	287	287	283	244	205	205	205	205		
	過不足	16	8	7	7	3	4	5	5	5	5			
	芸術	定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		40
		一般志願者数	36	21	21	35	27	48	51	42	52	35		
		志願倍率	1.8	1.05	1.05	1.75	1.35	1.2	1.28	1.05	1.68	1.13		
		入学者数	41	40	40	42	40	41	41	41	41	41		
	過不足	1	0	0	2	0	1	1	1	1	1			
	外国語	定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		40
		一般志願者数	44	37	31	39	34	37	59	46	44	32		
志願倍率		1.57	1.32	1.11	1.04	1.21	0.93	1.48	1.15	1.22	0.89			
入学者数		42	41	41	41	42	40	41	41	41	38			
過不足	2	1	1	1	2	0	1	1	1	-2				
体育	定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		
	一般志願者数	27	27	31	24	30	41	52	41	51	29			
	志願倍率	1.23	1.42	1.35	1.33	1.67	1.03	1.3	1.03	1.59	0.91			
	入学者数	40	41	40	42	42	41	41	41	41	39			
過不足	0	1	0	2	2	1	1	1	1	-1				
花巻南	普通 H14～ 人文・自 然科学	定員	160	160	160	160	160	160	120	120	120	120	平成14年度総合選択制高校に改編	
		一般志願者数	236	209	171	178	170	205	157	153	155	122		
		志願倍率	1.67	1.47	1.19	1.24	1.2	1.28	1.31	1.28	1.44	1.08		
		入学者数	164	161	163	162	164	163	123	121	120	116		
	過不足	4	1	3	2	4	3	3	1	0	-4			
	体育 H14～ス ポーツ 健康	定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		40
		一般志願者数	24	36	36	30	19	33	50	53	36	34		
		志願倍率	1.33	2	1	1.3	0.79	0.83	1.25	1.33	1.13	1.06		
		入学者数	41	41	34	39	33	41	40	40	41	40		
	過不足	1	1	-6	-1	-7	1	0	0	1	0			
	国際 H14～ 国際科 学	定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40		40
		一般志願者数	30	34	32	26	34	33	41	30	47	20		
志願倍率		1.07	1.21	0.94	0.9	1.26	0.83	1.03	0.75	1.27	0.51			
入学者数		41	40	36	36	41	36	41	40	40	25			
過不足	1	0	-4	-4	1	-4	1	0	0	-15				



(3) 進路状況

[不來方高校]

卒業年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	普通科(人文・理数・芸術・外国語・体育学系)									
卒業生数	396	438	388	401	435	392	399	403	360	317
進学	300	344	320	330	353	323	339	353	318	287
国公立大学	52	56	71	55	53	39	47	68	64	82
私立大学	106	145	124	99	122	108	115	156	133	111
国公立短大	15	9	12	12	12	20	14	12	8	12
私立短大	25	21	20	30	28	28	33	32	28	32
専門・各種学校	102	113	93	134	138	128	130	85	85	50
就職	38	38	28	31	30	36	32	23	25	15
民間	32	27	25	25	29	25	25	15	17	7
公務員	6	11	3	6	1	11	7	8	8	8
留学	4	2	3	2	3	1	2	6	2	3
その他	54	54	37	38	49	32	26	21	15	12

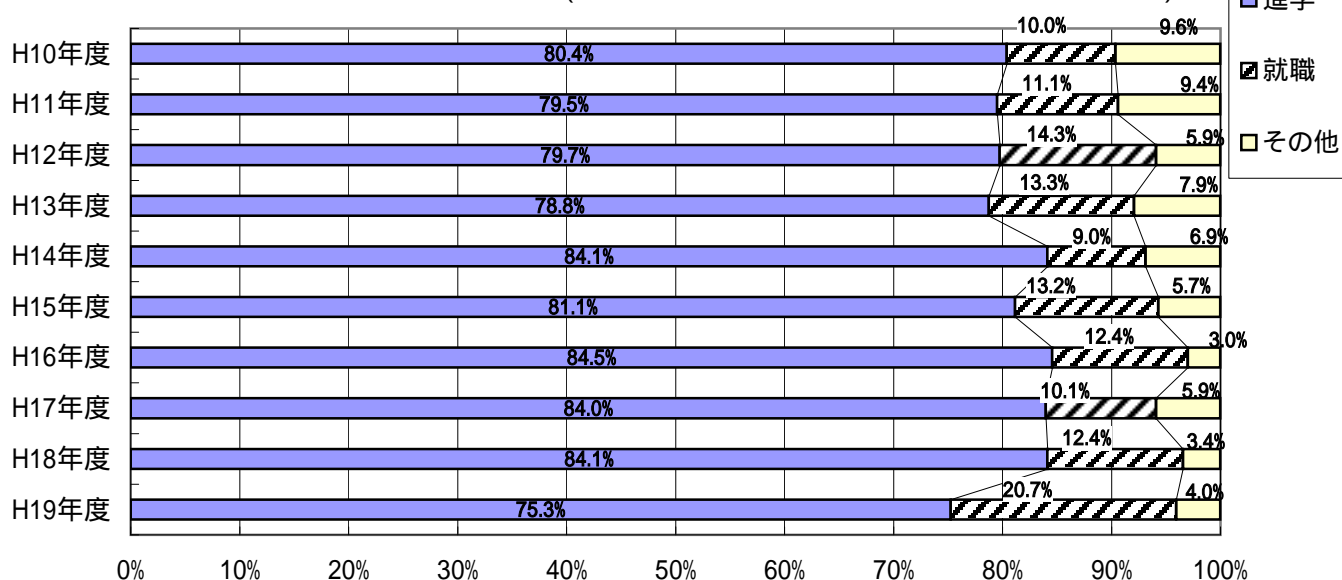


(3) 進路状況

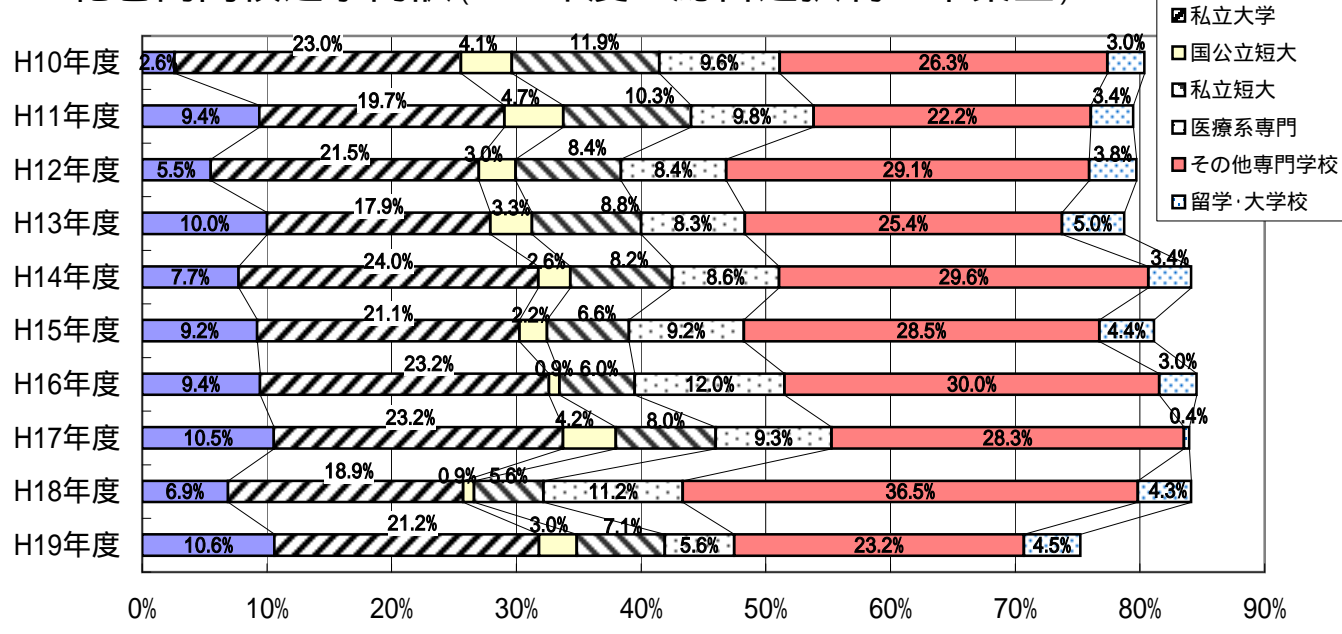
[花巻南高校]

卒業年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	普通科(人文自然・スポーツ健康・国際科学学系)									
卒業生数	270	234	237	240	233	228	233	237	233	198
進学	217	186	189	189	196	185	197	199	196	149
国公立大学	7	22	13	24	18	21	22	25	16	21
私立大学	62	46	51	43	56	48	54	55	44	42
国公立短大	11	11	7	8	6	5	2	10	2	6
私立短大	32	24	20	21	19	15	14	19	13	14
医療系専門	26	23	20	20	20	21	28	22	26	11
その他専門学校	71	52	69	61	69	65	70	67	85	46
留学・大学校	8	8	9	12	8	10	7	1	10	9
就職	27	26	34	32	21	30	29	24	29	41
民間	22	23	32	26	19	29	26	23	27	41
公務員	5	3	2	6	2	1	3	1	2	0
その他	26	22	14	19	16	13	7	14	8	8

花巻南高校進路状況(H16年度～総合選択制の卒業生)



花巻南高校進学内訳(H16年度～総合選択制の卒業生)



18 総合的な専門高校の検証資料

(1) 総合的な専門高校の検証（花北青雲高校）

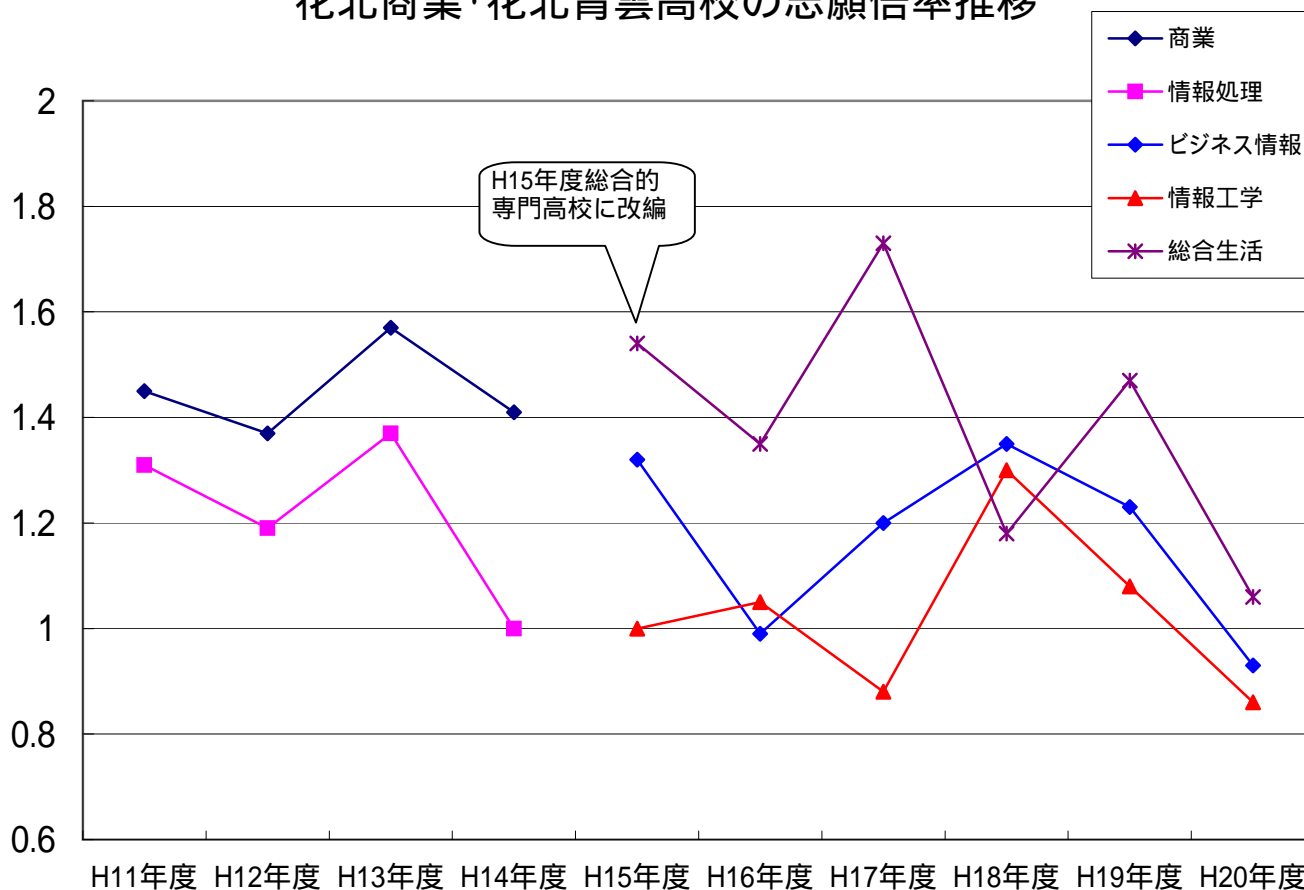
	現 状	成 果	課 題
1 志願状況及び入学志望意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・志願倍率は、概ね1倍を超えている状況である。（H20年度は情報工学科と情報ビジネス科で定員割れ） ・総合生活科の志願倍率は年度ごとに上下するが、他の2学科より高い。また、生徒のアンケート結果から、情報ビジネス科の生徒であっても、中学3年の時点では家庭科を希望していた生徒が40%程度存在し、人気が高い状況が見られる。 ・入学志望意欲が、比較的強かった生徒は90%弱で、県全体より10%以上も上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志望意欲が高く、入学後も学校生活全般に渡って、意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合生活科を希望する生徒が多いが、倍率が高いことから、やむなく他の学科に志望変更して入学している生徒がいる。 ・少子化の影響もあり、学科によっては志願倍率が低下傾向であることから、特色などをPRする必要がある。
2 総合的な専門高校のシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍している学科以外の2つの学科の専門科目を進路希望に応じて選択できるようになっており、2年生の約35%の生徒が選択している。 ・工業科、家庭科の生徒は商業科目「簿記」を選択している生徒が多い。 ・商業科の生徒は、工業科目、家庭科目どちらも同程度選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望や興味・関心に応じて、在籍する学科以外の学科の専門科目を選択履修している生徒がいる。 ・総合生活科の生徒が、「簿記」を履修することによって、進路選択の幅が広がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の学科の科目を選択しない理由として「特に理由はない」と回答している生徒が5割程度いることから、明確な目的意識をもつ生徒の育成が必要である。 ・学科ごとに対外的な業務があり、教員の出張や事務的業務が多く、多忙化に繋がっている。
3 学習指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・県下一斉テストの結果から、専門高校の中では学力が高い。 ・意欲的に授業に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科を超えての交流により、お互いに他の学科から学べることがあり、大きな可能性を秘めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を重視するべきか、可能な限り生徒の興味・関心で他の学科の科目を履修させるべきか方向性を明確にする必要がある。
4 生徒指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動が少なく、部活動を中心に活発に活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単一の専門高校では、男女の生徒数が偏る場合が多いが、工業、商業、家庭の3つの学科があることから、全体としては男女のバランスがよく、落ち着いた学校生活となっている。 	
5 進路指導面及び進路状況	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な専門高校になってから、大学進学率が上昇している。 ・大学進学希望者が多いことから、小論文対策を行っている。 ・進学、就職の割合は概ね1:1である。 ・2年生全員のインターンシップ及び3年の総合的な学習の時間を活用し、キャリア教育に重点を置いている。 ・就職希望者は地元の企業を希望しているが、厳しい状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の学科の科目を履修することで、進路選択の幅が広がる。 ・特に、総合生活科は直接関連する企業への就職が難しく、進学希望者が多いが、他の学科の科目を履修することで、幅広い進路選択が可能となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元就職を希望する生徒が多いことから、生徒の状況に応じて、職種及び勤務地等の選択幅を広げる指導が必要である。
6 学校評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のアンケート結果から、学校に対する満足度は、県全体と比較して高く、総合的な専門高校についても、肯定的な回答が7割前後となっている。 ・地域においては、工業科を開設していることへの認識が薄く、総合的な専門高校としての知名度は低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な専門高校に対する満足度には肯定的な回答が多く、また、学校としての地域からの評価も高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な専門高校のシステムについて、地域への理解を深めるための情報提供が必要である。

(2) 志願者数及び入学者数の推移

志願倍率 = 一般志願者数 / (定員 - 推薦合格者数)

学校名	学科・学系	項目	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	備考	
花北商業	商業	定員	120	80	80	80							平成15年度花北商業高校を総合的な専門高校に改編し、花北青雲高校として開校	
		一般志願者数	113	71	85	79								
		志願倍率	1.45	1.37	1.57	1.41								
		入学者数	126	84	83	84								
		過不足	6	4	3	4								
	情報処理	定員	40	40	40	40								
		一般志願者数	34	31	37	27								
		志願倍率	1.31	1.19	1.37	1.00								
		入学者数	41	41	42	42								
		過不足	1	1	2	2								
花北青雲	ビジネス情報	定員					80	80	80	80	80	80		
		一般志願者数					74	79	96	108	87	67		
		志願倍率					1.32	0.99	1.20	1.35	1.23	0.93		
		入学者数					81	80	80	81	80	75		
		過不足					1	0	0	1	0	-5		
	情報工学	定員					40	40	40	40	40	40		
		一般志願者数					31	42	35	52	41	30		
		志願倍率					1.00	1.05	0.88	1.30	1.08	0.86		
		入学者数					40	40	40	40	40	35		
		過不足					0	0	0	0	0	-5		
	総合生活	定員					40	40	40	40	40	40		
		一般志願者数					43	54	69	47	53	37		
		志願倍率					1.54	1.35	1.73	1.18	1.47	1.06		
		入学者数					40	40	41	40	40	42		
		過不足					0	0	1	0	0	2		

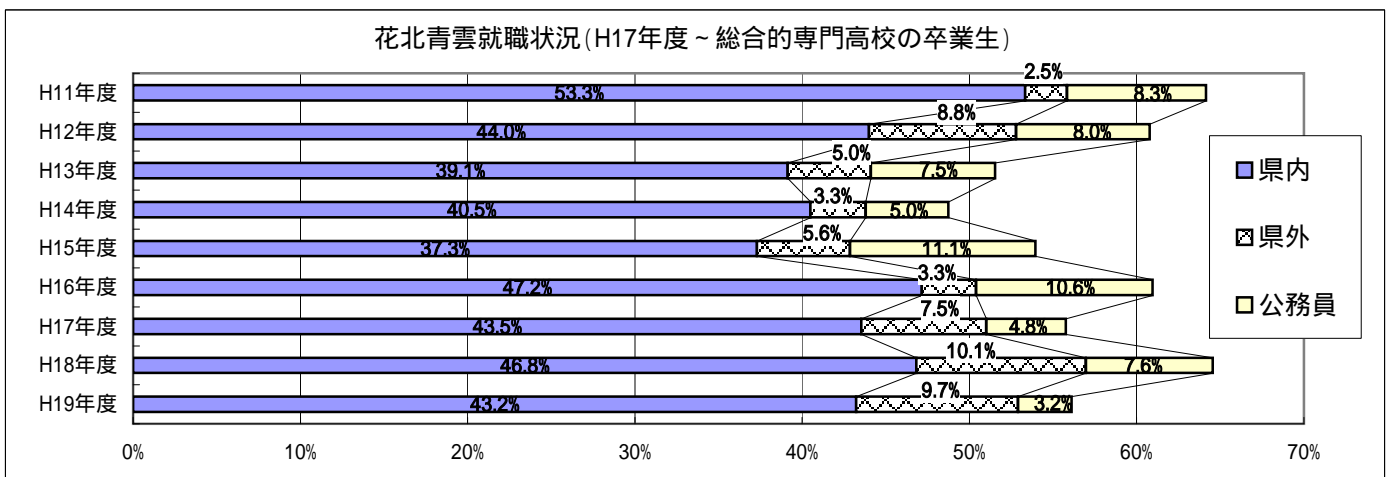
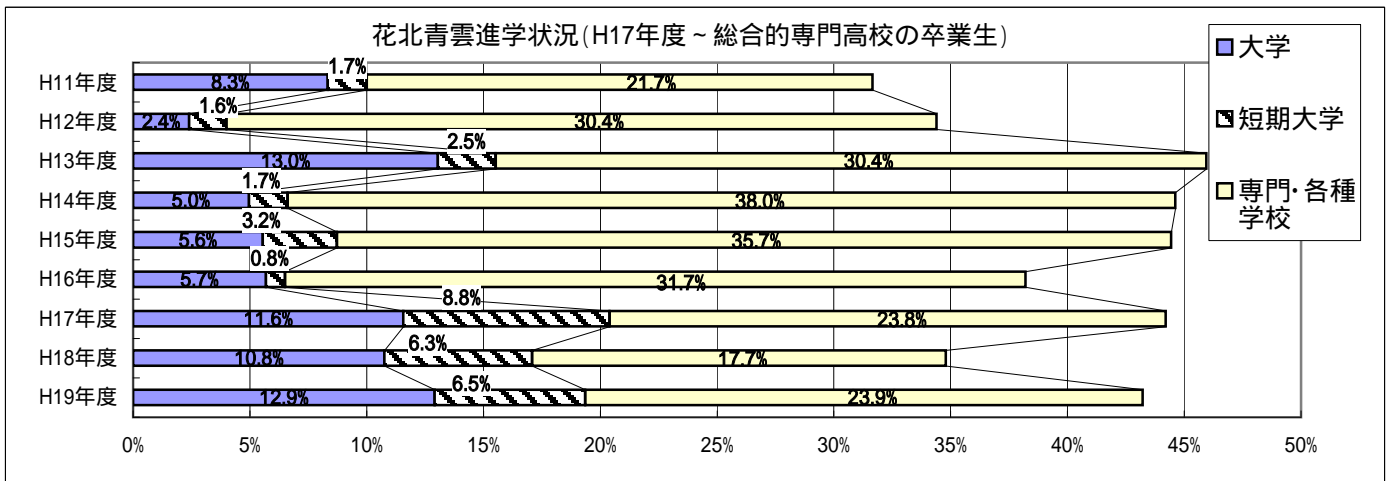
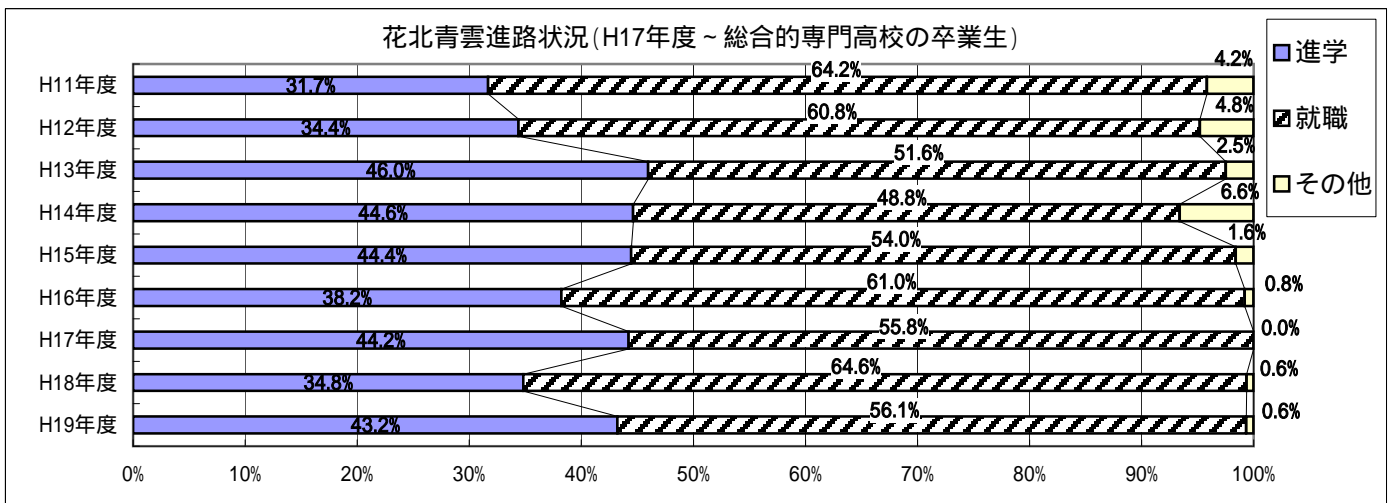
花北商業・花北青雲高校の志願倍率推移



(3) 進路状況

〔花北青雲高校〕

卒業年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	商業科・情報処理科						情報工学科・情報ビジネス科・総合生活科		
卒業生数	120	125	161	121	126	123	147	158	155
進学	38	43	74	54	56	47	65	55	67
大学	10	3	21	6	7	7	17	17	20
短期大学	2	2	4	2	4	1	13	10	10
専門・各種学校	26	38	49	46	45	39	35	28	37
就職	77	76	83	59	68	75	82	102	87
県内	64	55	63	49	47	58	64	74	67
県外	3	11	8	4	7	4	11	16	15
公務員	10	10	12	6	14	13	7	12	5
その他	5	6	4	8	2	1	0	1	1



19 総合学科高校の検証資料

(1) 総合学科高校の検証（紫波総合高校、北上翔南高校、一関第二高校、久慈東高校、一戸高校）

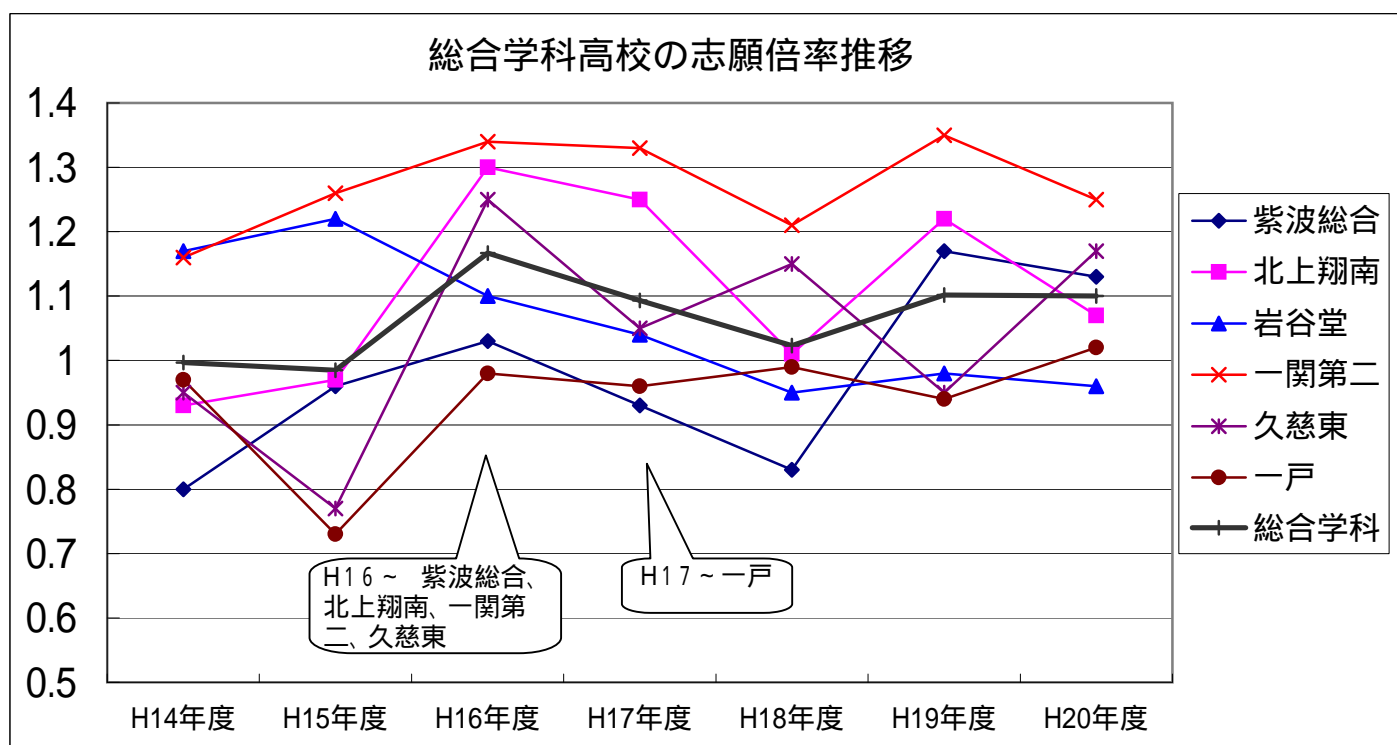
	現 状	成 果	課 題
1 志願状況及び入学志望意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・統合再編年度における志願倍率の上昇が見られる。 ・H20年度は概ね1倍を超え、1.25倍の学校もある。 ・生徒アンケート結果では、受検する学校を決める以前は、総合学科を希望していた生徒は45%前後、普通科を希望していた生徒が約22%、どこでもよかった生徒が約10%となっている。 ・総合学科高校を受検するにあたっての志望度は、「強かった」「やや強かった」の割合が県全体と比較して、1年生で6.8%、2年生で2.6%高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科に統合再編後、志願倍率が上昇しており、入学者数がほぼ定員を満たす状況になってきている。 ・受検時点での生徒の志望意欲が高い。（生徒アンケートにおける入学志望意欲が県全体と比較して高い。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生、保護者、中学校教員の総合学科に対する認識が不十分であることから、今後とも各学校における体験入学、学校説明会等の充実を図る必要がある。
2 総合学科のシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・系列重視型の学校が4校、系列を重視していない学校が2校となっている。 ・学級編成は1年次は学検等の成績を参考にして均質のクラス（一部のクラスを除き）とし、2～3年次は学校によって系列別、進路別、均質の形態を採用している。 ・系列及び科目の選択は、6月下旬から7月上旬に希望調査を行い、生徒面談等を通して、9月下旬にはほぼ決定している。 ・系列及び選択科目に人数制限を設けており、必ずしも生徒の希望通りとならないことがある。 ・「産業社会と人間」を活用し、社会人講話、上級学校見学、企業見学等を多く実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・系列及び科目選択を主体的に決定するため、生徒が自分の将来の進路について真剣に考えることができる。 ・将来の進路を早期に考えることで、目的意識や意欲の向上に繋がる。 ・「産業社会と人間」は、キャリア教育を展開する上で有効な授業であり、勤労観や職業観の育成に繋がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が希望する系列や科目選択とならない場合があり、また、自ら選択することができない生徒がいる。 ・現実的に、入学後短期間での系列選択となり、担任は生徒との個人面談等を何度も行い、希望を変更せざるを得ない生徒や保護者への対応等のため、大きな負担感をもっている。 ・教員の配置により、選択科目を継続的に開講することが困難となる場合がある。 ・2単位の科目が多くあることにより、教員は多くの科目や多くの学年を担当するため、生徒と接する時間や教材準備、教材研究などの時間配分どのようにバランスをとるか課題がある。 ・1年次から進学指導や専門教育指導を十分に行うことができず、学習指導、進路指導において中途半端であると感じている教員がいる。
3 学習指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・系列の学習内容について、約80%の生徒が「満足」「概ね満足」と回答しており、選択科目についても90%弱の生徒が「満足」「概ね満足」と回答している。 ・生徒自身の進路希望に応じて系列等を選択する生徒が多いが、安易な科目選択となる生徒もいる。 ・1年次から進路希望や資格取得に対応できるシステムにしている学校もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で選択することにより、学習に対する意欲・態度に向上が見られる。 ・少人数指導の授業が多く、生徒一人ひとりに目が行き届く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が出張等で不在の場合、時間割変更が難しく、代行の授業ができず、課題自習となる場合が多い。 ・安易な科目選択となる生徒がいる。
4 生徒指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・HRと学習集団が異なるが、学校行事等では盛り上がる学校がある。 ・中学校において不登校及び長期欠席者であった生徒の改善は難しいが、退学する生徒が減少している学校がある。 ・生徒指導上の問題が減少している学校がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の授業が多く、普段から生徒指導面を含めて、生徒と教員のコミュニケーションがとれる。 ・教員数が増え、部活動において専門的な指導が可能な場合が多くなり、部活動の活性化に繋がっている。 ・少人数授業及び選択科目が多いことにより、集団が様々であることから、生徒にとってはストレスが溜まりにくい状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は授業において学級の生徒全てを担当する場面が少ないことから、情報交換のための教員の連携が必要である。

	現 状	成 果	課 題
5 進路指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」、「LHR」等を活用して、自分の進路を考える時間が多くある。 ・「産業社会と人間」と「総合的な学習の時間」がリンクせず、継続的な指導となっていない学校が多い。 ・進路別の学級編成は、生徒の進路希望に特化した指導体制となるが、系列別やミックスの学級編成は、生徒の多様な進路希望に対応しなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業社会と人間」と「総合的な学習の時間」の関連を持たせての指導体制は、3年間系統立てた指導計画となり、生徒自身の将来の進路を真剣に考えることができるとともに、コミュニケーション能力等の育成に成果を上げている。 ・自ら科目を選択することにより、自主性や目的意識を持った生徒が増え、落ち着いた学校生活となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な進路希望の生徒に対応するため、担任の負担が大きく、担任をサポートする進路指導体制が必要である。 ・1年次に普通科目の履修時間数が少なく、大学進学（特に国公立大）希望の生徒に対する進路実現を十分に果たせない。 ・「産業社会と人間」と「総合的な学習の時間」の関連性を持たせることを検討する必要がある。 ・インターンシップを企画・実施している学校は一部であり、キャリア教育の一層の充実を図る必要がある。
6 進路状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としては総合学科に改編後の進路状況における進学、就職、その他・未定の割合に大きな変化は見られない。 ・学校個々には、進学率が高くなった学校及び就職率が高くなった学校がある。 ・進路がその他・未定である生徒の割合が徐々に減少している学校が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の進路について考える時間があることや、キャリア教育の推進により、その他・未定者の割合が減少傾向の学校が多く、進路実現の成果が上がっている。 ・学校の特色を出すことにより、大学進学が増加、専門性に関連した進路等の成果を上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校によっては、地元を含めての県内への就職率が低い学校があり、地域との連携をより一層深めることが求められる。
7 学校評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のアンケート結果では、他の学科に比較して学んでいる学校への満足度は高い。 ・保護者のアンケート結果では、県全体の平均と比較すると、満足度はやや低く、学科の期待度は「期待どおりだった」との回答の割合が低い。 ・学校独自で実施している卒業予定者対象のアンケート結果では、「満足」・「やや満足」の生徒が、「不満」・「やや不満」の生徒の3倍以上いる。 ・学校独自の評価アンケート結果では、教職員、生徒、保護者、学校評議員の満足度が全て7割以上の学校がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科の生徒は、中学生の時点で総合学科を希望していた割合が5割に満たない状況であるが、入学後は満足度において普通科に続いて高いことから、総合学科のシステムへの生徒の評価は良いと考えることができる。 ・再編により人気上がり、生徒の質が向上することで、地域からの評価が高まっている学校がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科になる以前の学校の評価と大きな変化がない学校がある。 ・必ずしも生徒の希望する系列や選択とならない場合があり、中学生や保護者に周知することが必要である。

(2) 志願者数及び入学者数の推移

志願倍率 = 一般志願者数 / (定員 - 推薦合格者数)

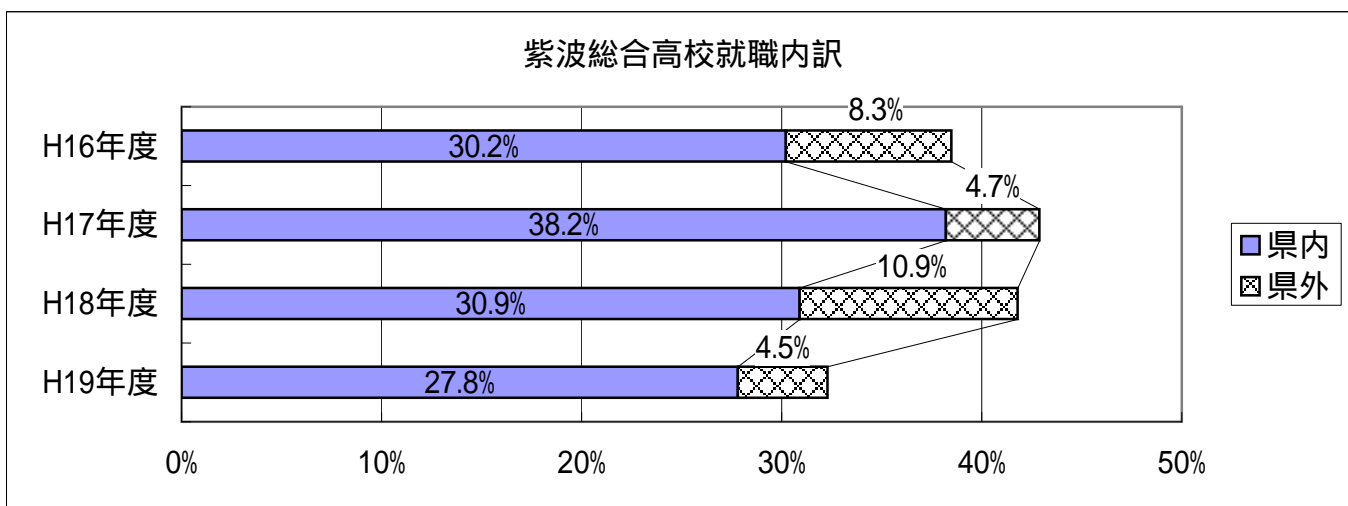
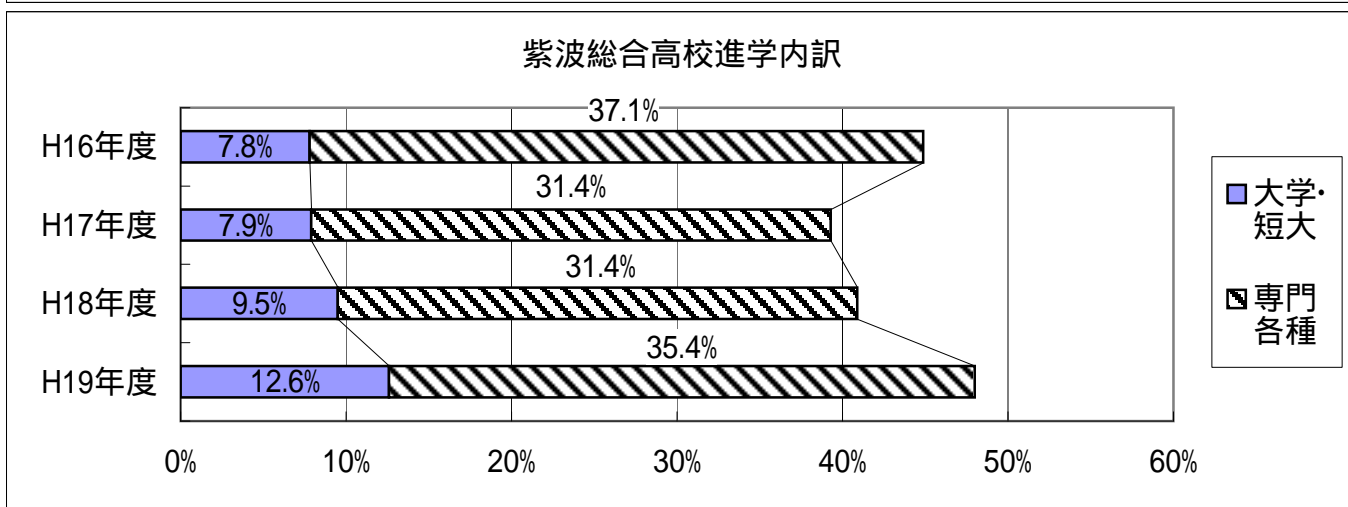
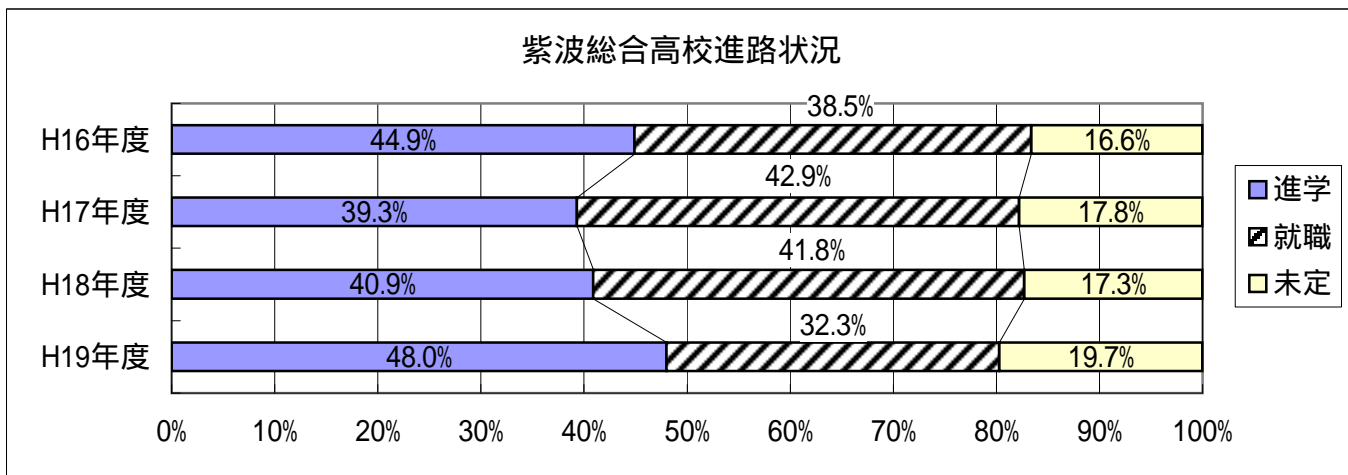
学校名	項目	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	備考
紫波総合	定員	280	240	240	240	240	200	200	～ H15: 紫波高校(普通科・農業科・情報デザイン科) H16～: 紫波総合(総合学科)
	一般志願者数	219	226	246	224	198	226	218	
	志願倍率	0.8	0.96	1.03	0.93	0.83	1.17	1.13	
	入学者数	223	214	240	237	219	200	202	
	過不足	-57	-26	0	-3	-21	0	2	
北上翔南	定員	240	200	240	240	240	240	240	～ H15: 黒沢尻南(普通科) H16～: 北上翔南(総合学科)
	一般志願者数	214	178	311	299	242	264	245	
	志願倍率	0.93	0.97	1.3	1.25	1.01	1.22	1.07	
	入学者数	223	191	245	250	240	244	240	
	過不足	-17	-9	5	10	0	4	0	
岩谷堂	定員	200	200	200	200	200	200	200	H6～: 総合学科
	一般志願者数	203	211	220	208	190	184	177	
	志願倍率	1.17	1.22	1.1	1.04	0.95	0.98	0.96	
	入学者数	208	207	208	207	198	191	186	
	過不足	8	7	8	7	-2	-9	-14	
一関第二	定員	320	280	240	240	240	240	240	～ H15: 一関第二(普通科・福祉教養科)、一関農業(生物資源科・生活科学科) H16～: 一関第二(総合学科)
	一般志願者数	333	311	321	320	291	292	271	
	志願倍率	1.16	1.26	1.34	1.33	1.21	1.35	1.25	
	入学者数	314	288	246	249	240	242	240	
	過不足	-6	8	6	9	0	2	0	
久慈東	定員	320	320	240	240	240	240	200	～ H15: 久慈農林(農林工学科・家政科・福祉教養科)、久慈商業(商業科・情報処理科)、久慈水産(水産技術科・食物科) H16～: 久慈東(総合学科)
	一般志願者数	252	196	301	252	276	212	209	
	志願倍率	0.95	0.77	1.25	1.05	1.15	0.95	1.17	
	入学者数	289	262	251	245	242	221	209	
	過不足	-31	-58	11	5	2	-19	9	
一戸	定員	160	160	160	160	160	160	120	～ H16: 一戸高校(普通科・福祉科) H17～: 一戸高校(総合学科)
	一般志願者数	150	113	156	153	159	143	109	
	志願倍率	0.97	0.73	0.98	0.96	0.99	0.94	1.02	
	入学者数	153	119	152	147	147	148	120	
	過不足	-7	-41	-8	-13	-13	-12	0	
総合学科(全体)	定員	1,520	1,400	1,320	1,320	1,320	1,280	1,200	
	一般志願者数	1,371	1,235	1,555	1,456	1,356	1,321	1,229	
	志願倍率	1.00	0.99	1.17	1.09	1.02	1.10	1.10	
	入学者数	1,410	1,281	1,342	1,335	1,286	1,246	1,197	
	過不足	-110	-119	22	15	-34	-34	-3	



(3) 進路状況

[紫波総合高校]

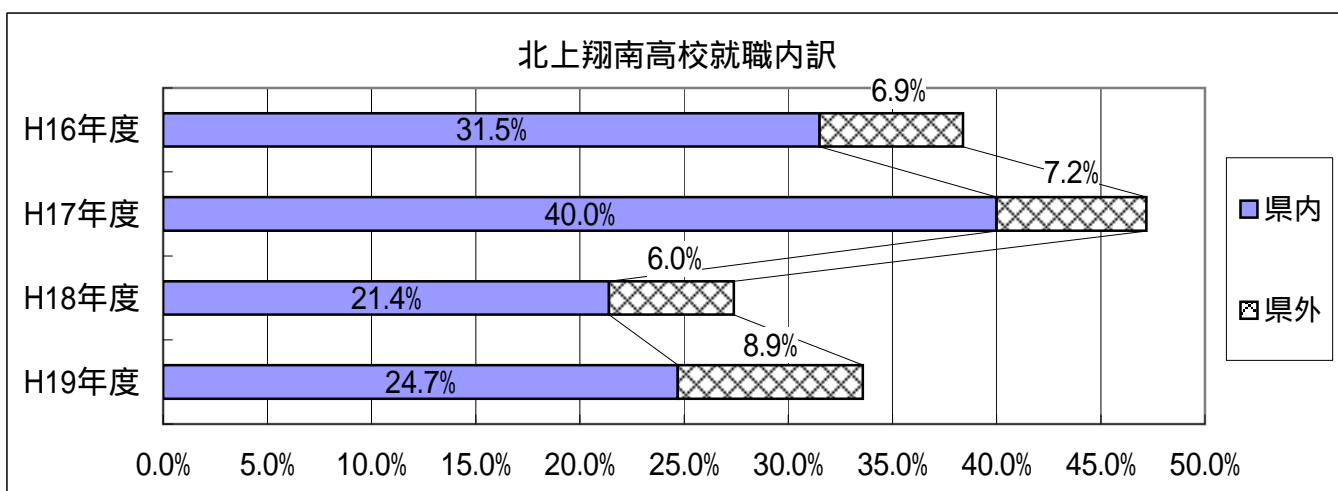
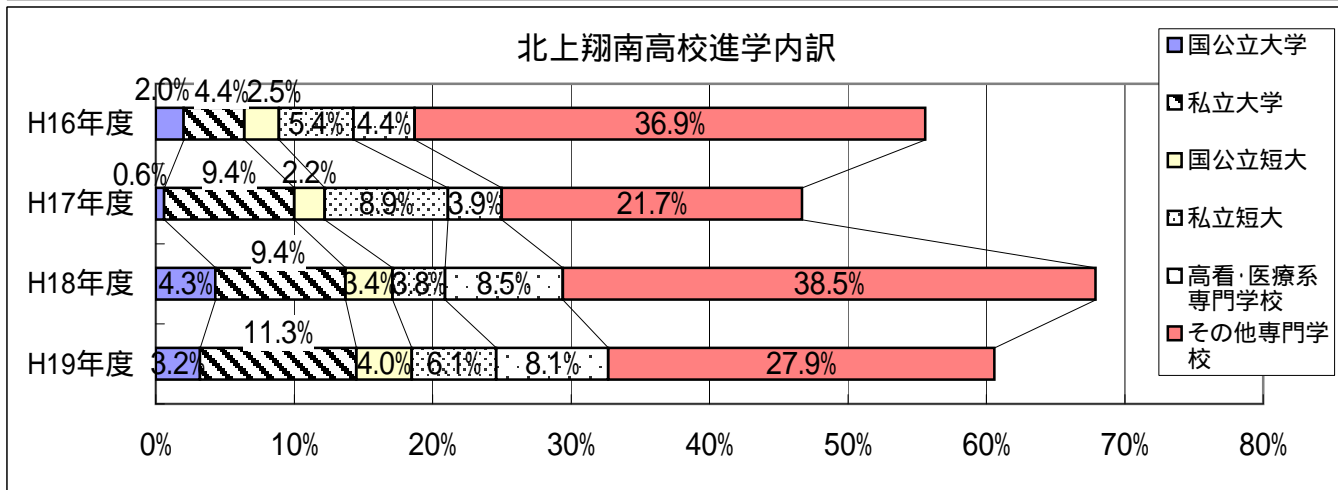
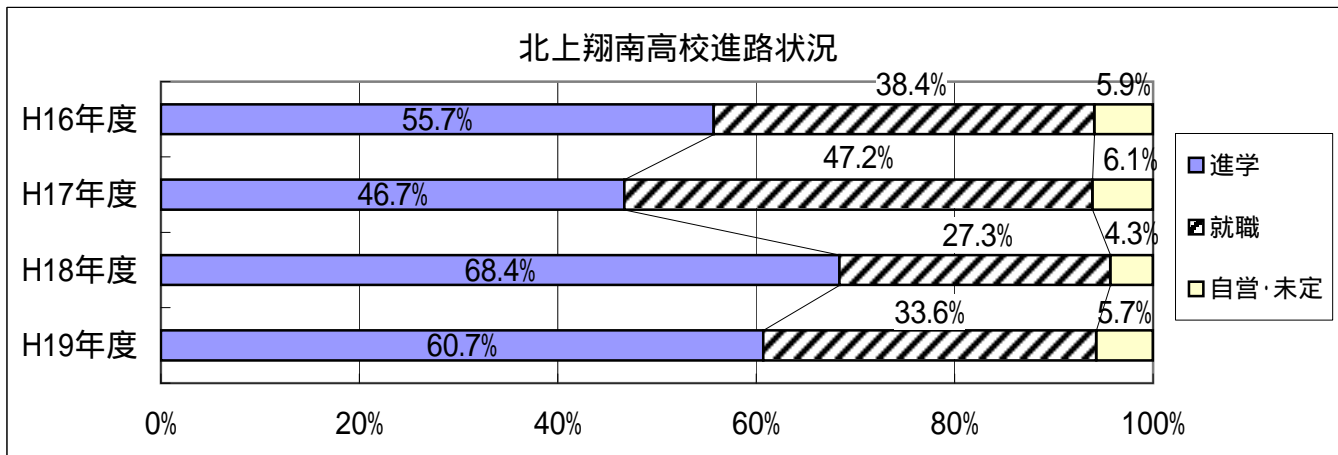
卒業年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	農業科・情報デザイン科・普通科		総合学科	
卒業生数	205	191	220	198
進学	92	75	90	95
大学・短大	16	15	21	25
専門各種	76	60	69	70
就職	79	82	92	64
県内	62	73	68	55
県外	17	9	24	9
未定	34	34	38	39



(3) 進路状況(つづき)

(北上翔南高校)

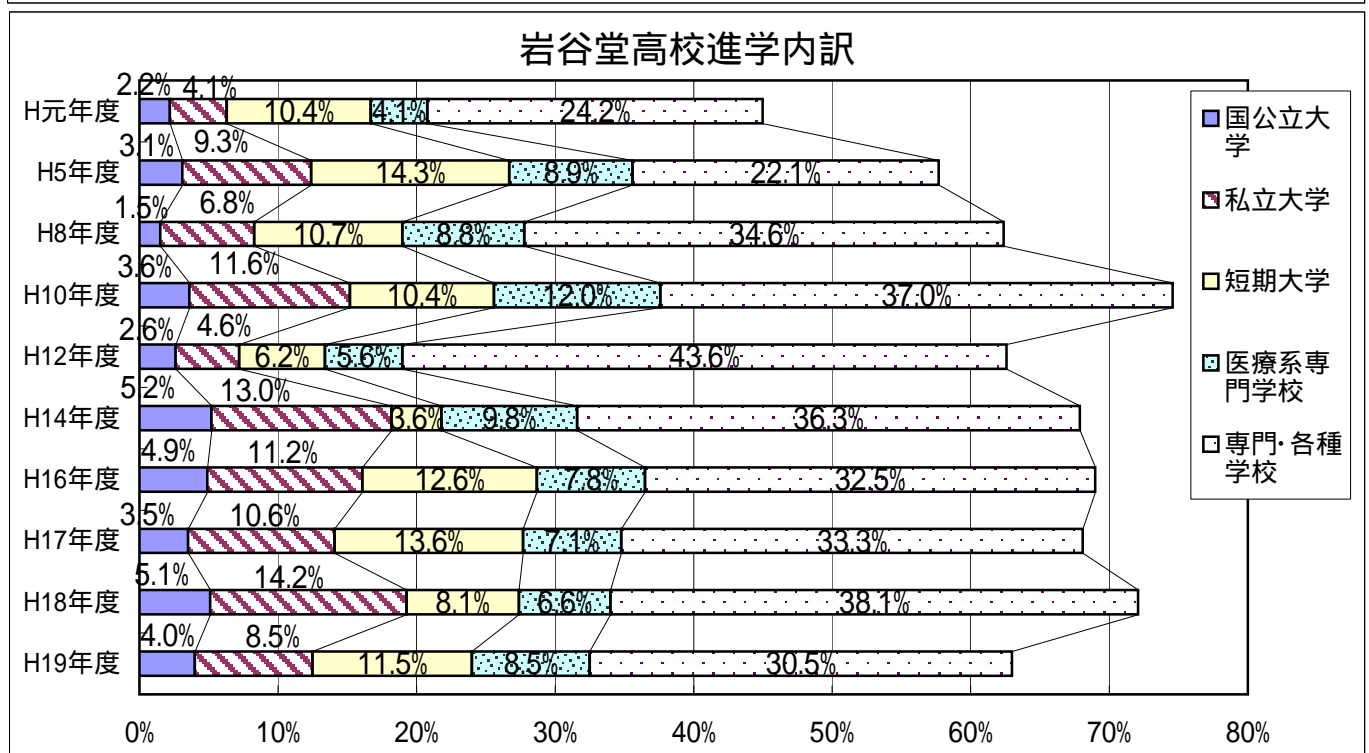
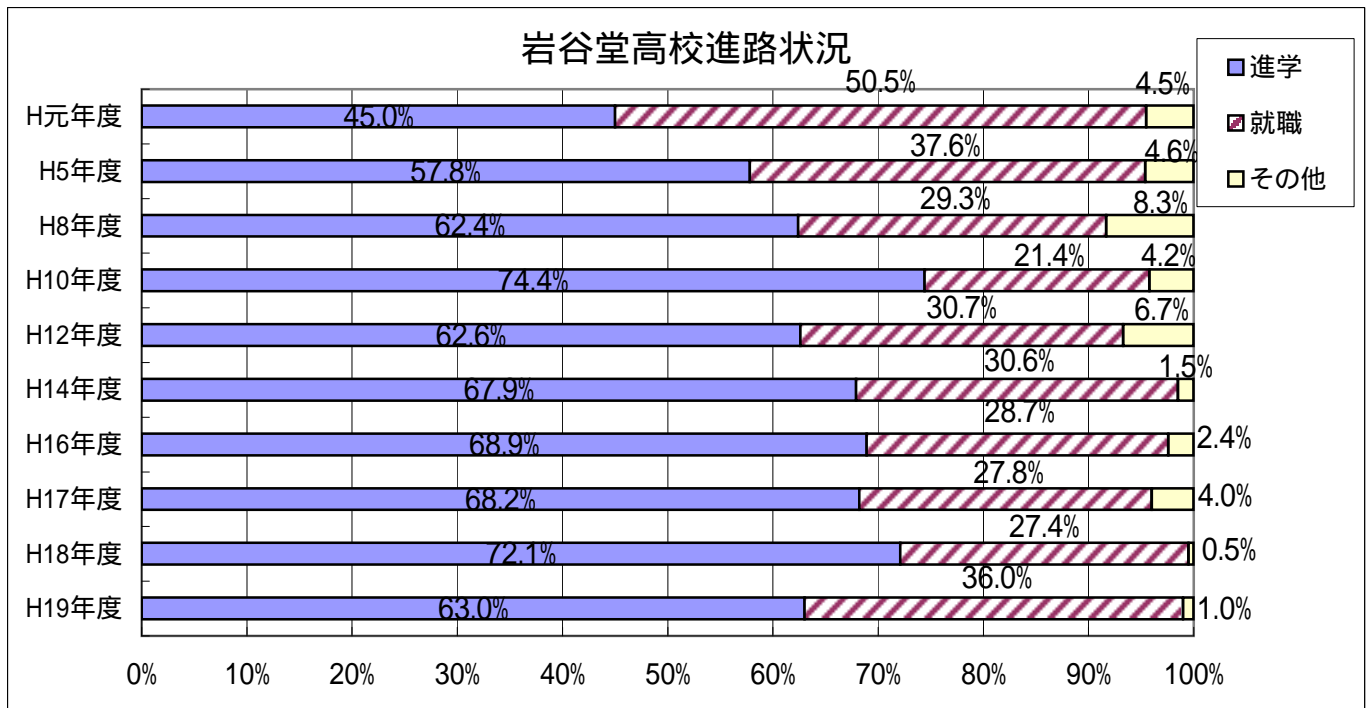
卒業年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	普通科		総合学科	
卒業生数	203	180	234	247
進学	113	84	160	150
国公立大学	4	1	10	8
私立大学	9	17	22	28
国公立短大	5	4	8	10
私立短大	11	16	9	15
高専・医療系専門学校	9	7	20	20
その他専門学校	75	39	90	69
就職	78	85	64	83
県内	64	72	50	61
県外	14	13	14	22
自営・未定	12	11	10	14



(3) 進路状況(つづき)

(岩谷堂高校)

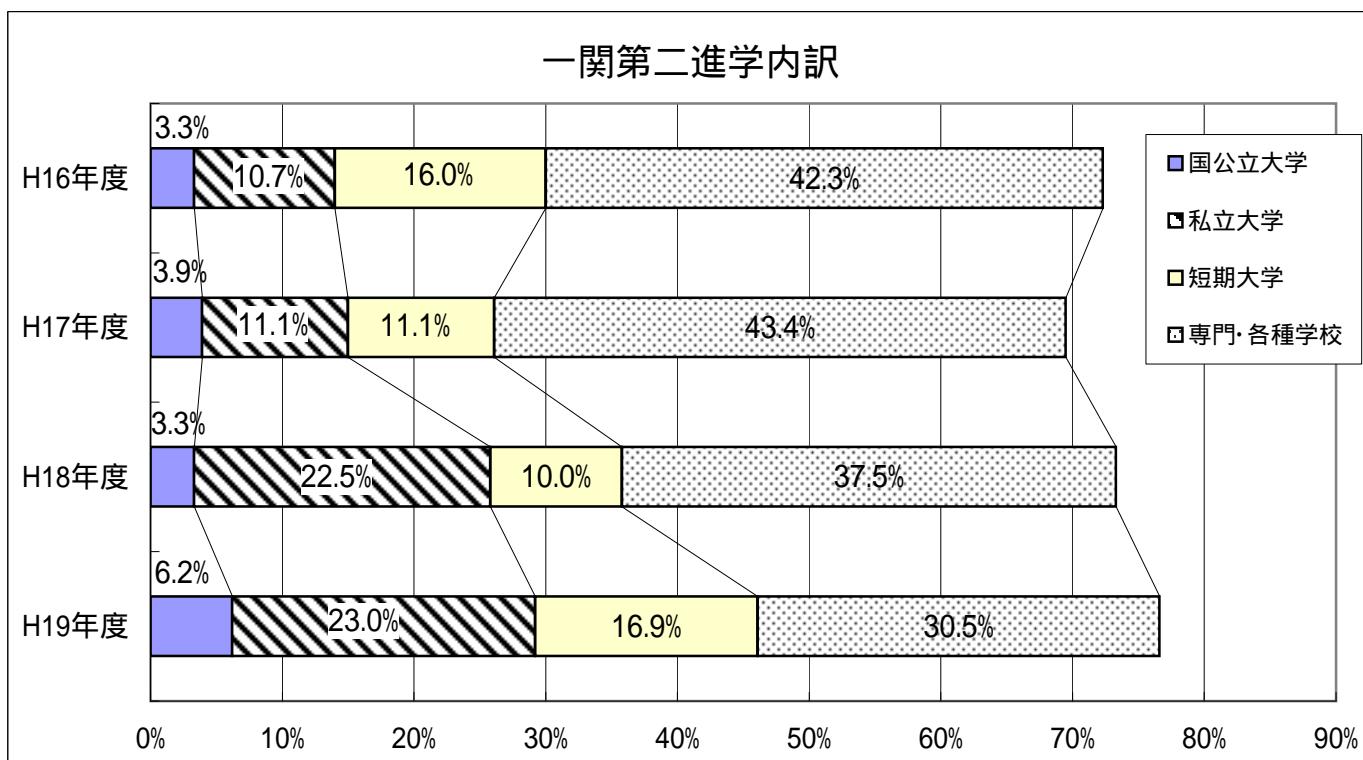
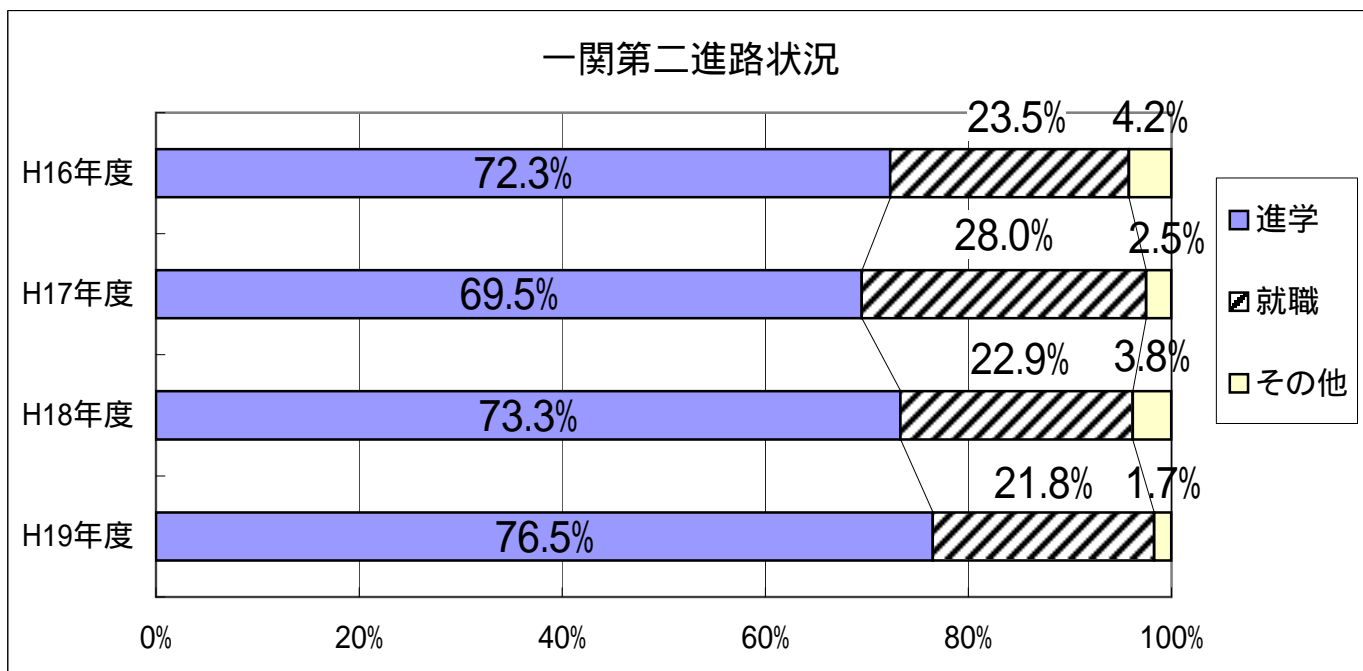
卒業年度	H元年度	H5年度	H8年度	H10年度	H12年度	H14年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	普通科・商業科		総合学科							
卒業生数	269	258	205	192	195	193	206	198	197	200
進学	121	149	128	143	122	131	142	135	142	126
国公立大学	6	8	3	7	5	10	10	7	10	8
私立大学	11	24	14	22	9	25	23	21	28	17
短期大学	28	37	22	20	12	7	26	27	16	23
医療系専門学校	11	23	18	23	11	19	16	14	13	17
専門・各種学校	65	57	71	71	85	70	67	66	75	61
就職	136	97	60	41	60	59	59	55	54	72
その他	12	12	17	8	13	3	5	8	1	2
備考	3年次均質5クラス編成					3年次進路別7クラス編成				



(3) 進路状況(つづき)

[一関第二高校]

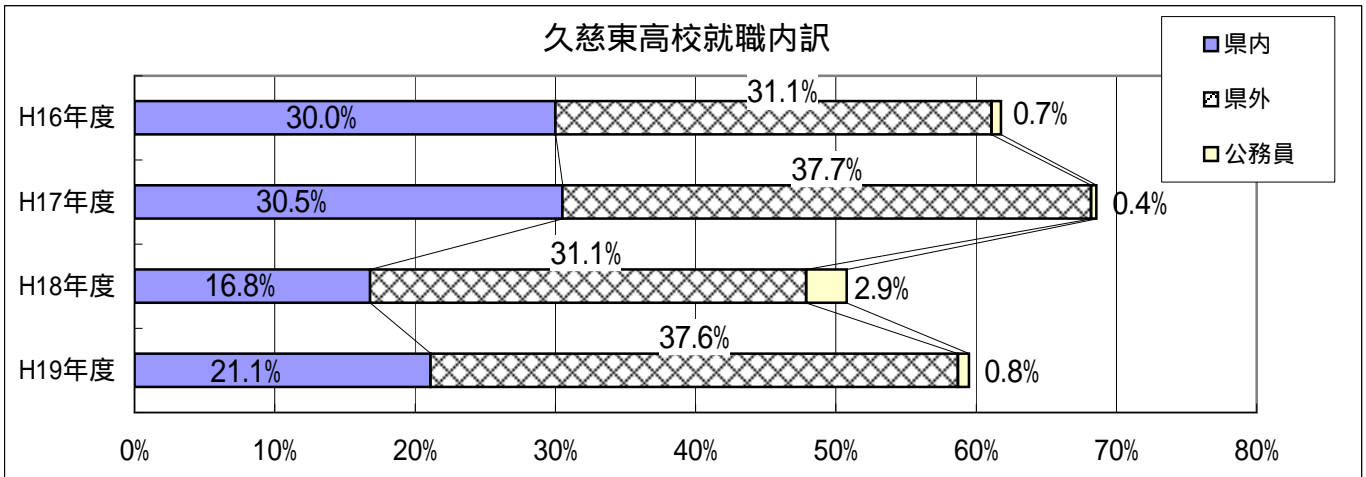
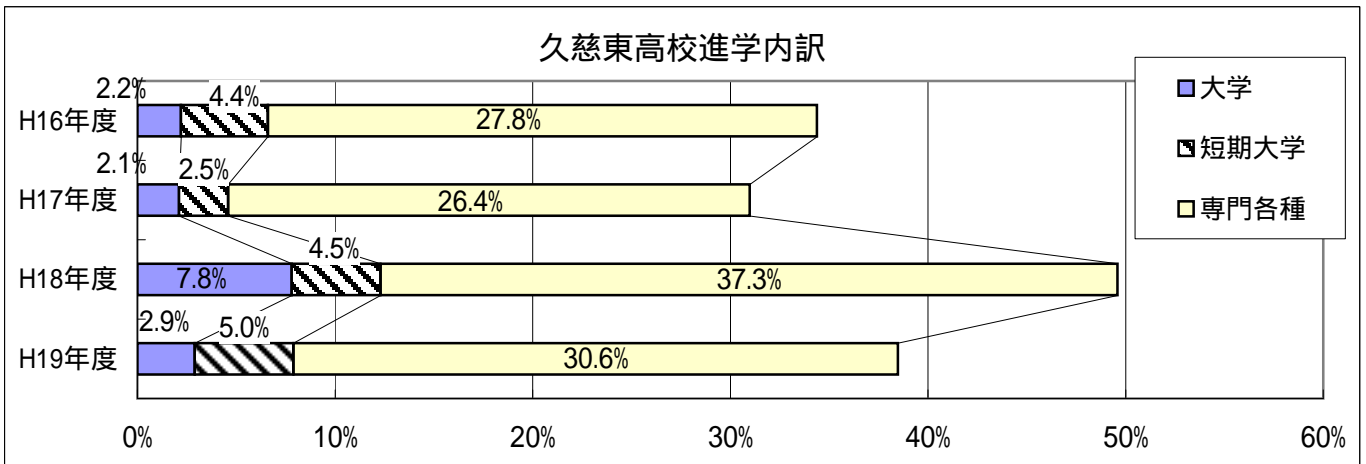
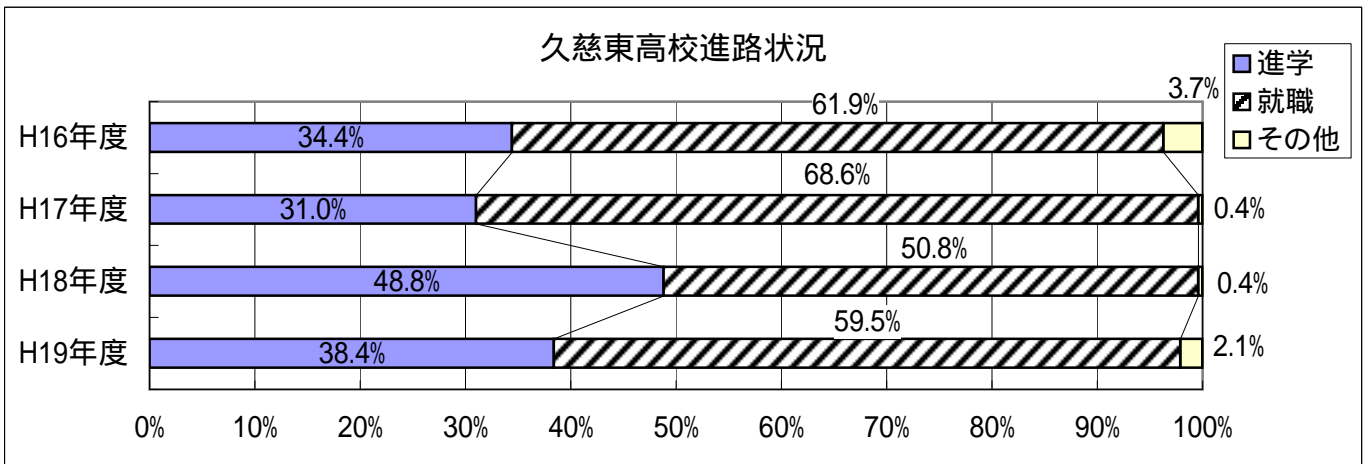
卒業年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	普通科・福祉科・生物資源科・生活科学科		総合学科	
卒業生数	307	279	240	243
進学	222	194	176	186
国公立大学	10	11	8	15
私立大学	33	31	54	56
短期大学	49	31	24	41
専門・各種学校	130	121	90	74
就職	72	78	55	53
民間	69	76	49	52
公務員	3	2	6	1
その他	13	7	9	4



(3) 進路状況(つづき)

[久慈東高校]

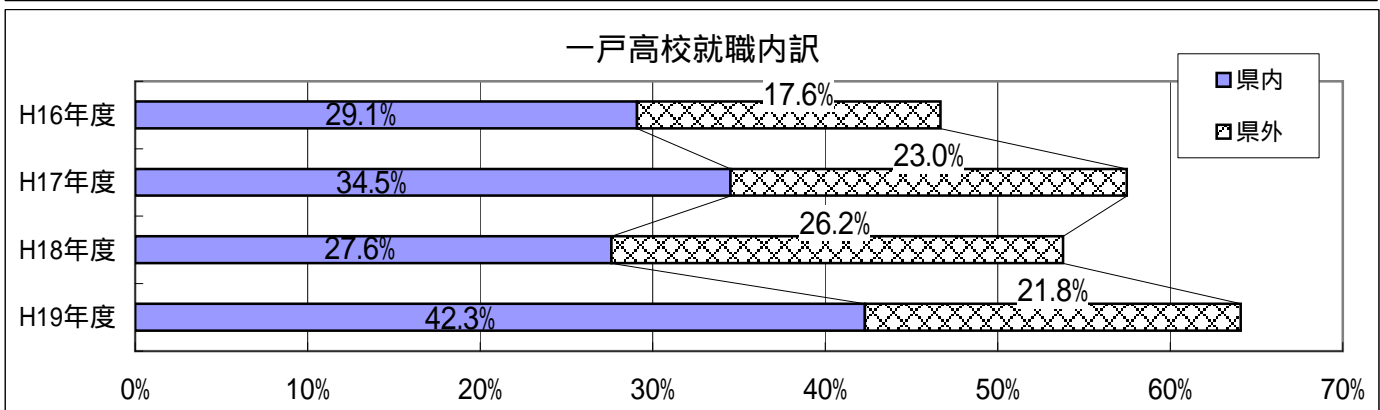
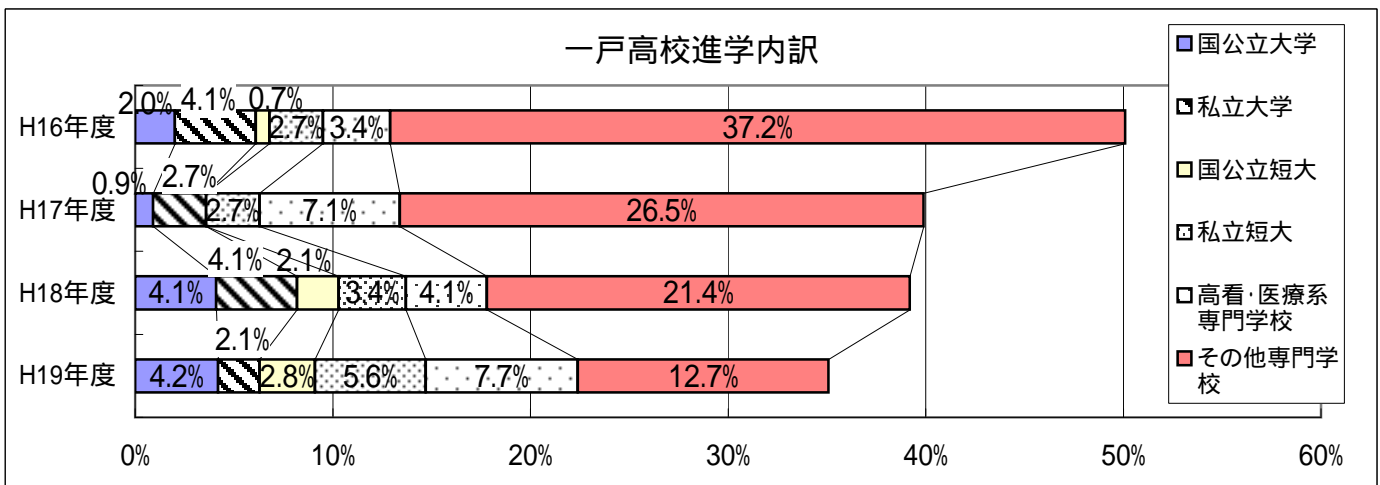
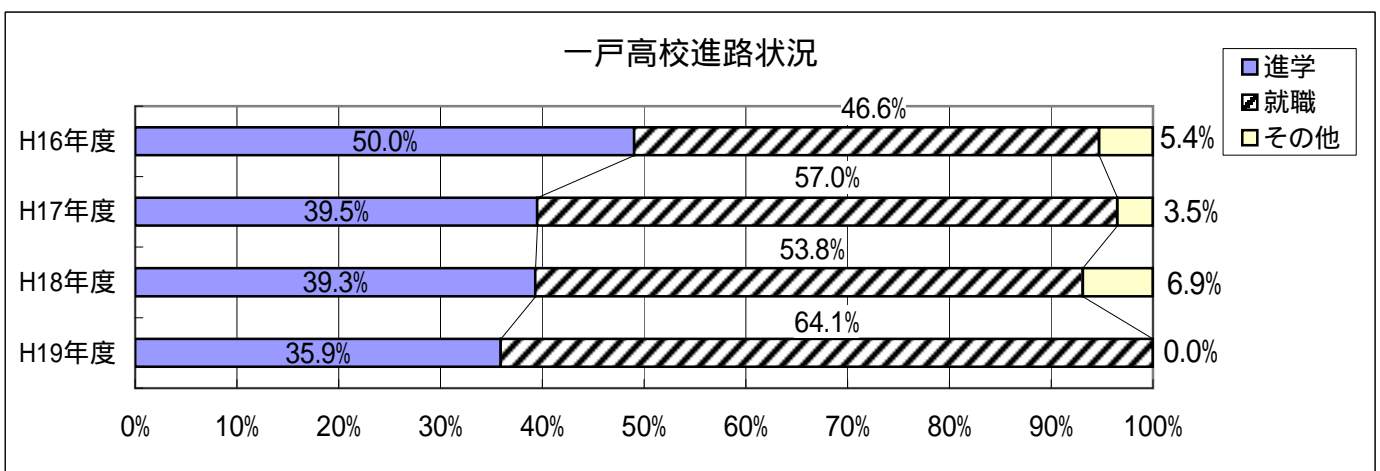
卒業年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	農林工学科・福祉教養科・商業科 ・情報処理科・水産技術科・食物科		総合学科	
卒業生数	273	239	244	242
進学	94	74	119	93
大学	6	5	19	7
短期大学	12	6	11	12
専門・各種学校	76	63	91	74
就職	169	164	124	144
県内	82	73	41	51
県外	85	90	76	91
公務員	2	1	7	2
未定	10	1	1	5



(3) 進路状況(つづき)

(一戸高校)

卒業年度 学科	H16年度	H17年度 普通科・福祉科	H18年度	H19年度 総合学科
卒業生数	148	113	145	142
進学	74	45	57	51
国公立大学	3	1	6	6
私立大学	6	3	6	3
国公立短大	1	0	3	4
私立短大	4	3	5	8
高専・医療系専門学校	5	8	6	11
その他専門学校	55	30	31	18
就職	69	65	78	91
県内	43	39	40	60
県外	26	26	38	31
未定	8	4	10	0



20 統合高校の検証資料

(1) 統合高校の検証〔千厩高校、大東高校〕

項目	現 状	成 果	課 題
1 志願状況及び入学志望意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後、大東高校は志願倍率が徐々に上昇、千厩高校は最近の3カ年は1倍前後を推移している。 ・専門学科には、他の学科を希望していた生徒もいるが、志望意欲としては、県全体との相違は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後は、志願倍率が1倍前後となり、統合前の欠員の状況が改善され、一関ブロック内においては適正な学級数となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学生徒の学力差が大きく、生徒個々に対応した指導が求められる。 ・特別な支援を要する生徒の入学が目立ってきており、支援体制の構築が必要である。
2 学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・統合により普通科目の教員配置数が増え、普通科目の開設科目数が増加している。 ・学力差が大きいが、素直に意欲的に取り組む生徒が多い。 ・大東高校の普通科の就職クラスも、専門科目を履修できるようにしている。 ・普通科は2年時以降進路別に学級編成され、専門学科も2年時以降コース分けして選択科目を開講している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校規模が大きくなることにより、教員数の増や開設科目数の増につながり、教育の質の向上に繋がっている。 ・学科がお互いに刺激しあい、切磋琢磨している。 ・専門学科にとっては、普通科が併設されることで、進学指導体制が充実し、進学を目指す生徒への対応が可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学科とのバランスに配慮することにより、普通科の大学進学に対応した教育課程の編成において、十分に対応できるものとなっていない。 ・普通科と専門学科の併設により、カリキュラム編成が難しい面がある。
3 生徒指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・統合による学校規模の拡大により、部活動数等の活動が活発にできる。 ・遠距離通学生にバイク通学生がいるが、事故・違反が増えているという状況はない。 ・統合当初は、環境の変化に伴い、問題行動も多かったが、現在は問題行動は減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校規模の拡大により、部活動や生徒会活動を活発にできる。 ・専門学科の生徒の中には、普通科の生徒の影響を受け、リーダー的な生徒も現れている。 ・統合から数年を経過することによって、生徒及び教職員がお互いに理解しあい、問題行動も減少した。 ・統合により地域との連携がさらに深まり、学校の活性化に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合によって、部の数が増え、活動場所に不自由な面が出てきており、部の統廃合を検討しなければならない。
4 進路指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後の進路状況は、その他の割合が減少傾向である。 ・専門学科の生徒の国公立大学進学が増加している。 ・就職は、普通科、専門学科による有利、不利はない。 ・普通科もインターンシップも含め、キャリア教育に力を入れている。 ・進学課外については、部活動に配慮した形態をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合による教員数の増加により、進路指導の充実が図られている。 ・普通高校では来ない企業の求人が、専門学科の併設により、求人があることから、普通科の生徒も大企業に就職している。 ・専門学科の生徒は、進学課外に参加し、進学に対する意欲の向上が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の関係で、進学指導の取組が遅れがちになる。
5 統合の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・統合当初はそれぞれの学科の目的や指導方法を理解するのに時間がかかり、学校の目指す方向性について共通理解することが大変であった。 ・専門学科が1学級ずつであることから、専門性の確保についてはぎりぎりの状況である。 ・遠距離通学の生徒に対して、通学支援は行っていないが、統合によって通学できなくなる生徒がいるという話は聴いていない。 ・統合当初は、少人数の学校の生徒は肩身の狭い思いをする。 ・同窓会が一つになり、活動しているが、そのまま独立した活動をしている同窓会もある。 ・保護者は事前に統合がわかっていたことから、心の準備ができており、違和感がなく統合した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい学級規模となり、学習面や特別活動など様々な面で学校が活性化している。 ・統合によって、生徒及び教職員が共通理解するには時間がかかるが、現在は統合の良さが発揮されてきている。 ・普通科と専門学科の統合は、様々な生徒の出会いがあり、人間的に大きく成長する。 ・部活動等における活躍は、専門学科が目覚しいが、普通科の生徒も影響を受けるとともに活動の場面が与えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学課外や部活動において、時間及び活動場所等に制約が多い。 ・学科単位の行事が多くあり、課外等に影響が出るとともに、教職員の業務も多い。 ・普通科と専門学科の併設校は、カリキュラム編成が難しく、大学進学体制が難しい。

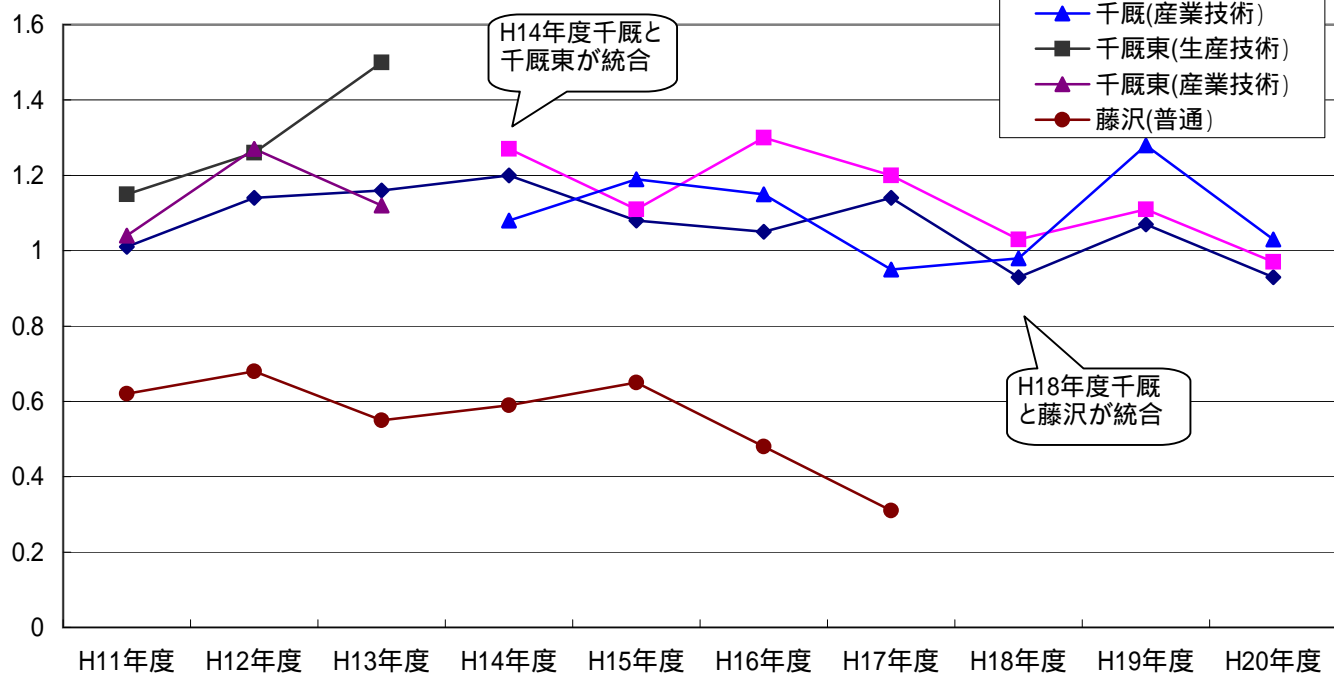
(2) 志願者数及び入学者数の推移

(千厩高校)

志願倍率 = 一般志願者数 / (定員 - 推薦合格者数)

学校名	学科・学系	項目	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	備考	
千厩	普通科	定員	160	160	160								・H14年度千厩高校と千厩東高校が統合し、千厩高校となる。 ・H18年度千厩高校と藤沢高校が統合し、千厩高校となる。	
		一般志願者数	152	160	163									
		志願倍率	1.01	1.14	1.16									
		入学者数	159	168	168									
		過不足	-1	8	8									
千厩東	生産技術科	定員	40	40	40									
		一般志願者数	39	43	45									
		志願倍率	1.15	1.26	1.5									
		入学者数	42	42	42									
		過不足	2	2	2									
	産業技術科	定員	80	80	80									
		一般志願者数	78	93	83									
		志願倍率	1.04	1.27	1.12									
		入学者数	81	84	84									
		過不足	1	4	4									
藤沢	普通科	定員	80	80	80	80	80	80	80					
		一般志願者数	49	54	44	47	51	38	25					
		志願倍率	0.62	0.68	0.55	0.59	0.65	0.48	0.31					
		入学者数	52	59	53	48	50	42	31					
		過不足	-28	-21	-27	-32	-30	-38	-49					
千厩 (統合校)	普通科	定員				160	160	160	160	160	160	160		
		一般志願者数				169	151	168	182	149	154	134		
		志願倍率				1.20	1.08	1.05	1.14	0.93	1.07	0.93		
		入学者数				168	168	164	164	152	160	148		
		過不足				8	8	4	4	-8	0	-12		
	生産技術科	定員				40	40	40	40	40	40	40		
		一般志願者数				38	39	52	48	41	40	34		
		志願倍率				1.27	1.11	1.30	1.20	1.03	1.11	0.97		
		入学者数				42	42	42	42	40	39	40		
		過不足				2	2	2	2	0	-1	0		
	産業技術科	定員				80	40	40	40	40	40	40		
		一般志願者数				80	38	46	38	39	50	37		
		志願倍率				1.08	1.19	1.15	0.95	0.98	1.28	1.03		
		入学者数				84	42	42	40	38	41	39		
		過不足				4	2	2	0	-2	1	-1		

千厩・千厩東・藤沢高校の志願倍率推移

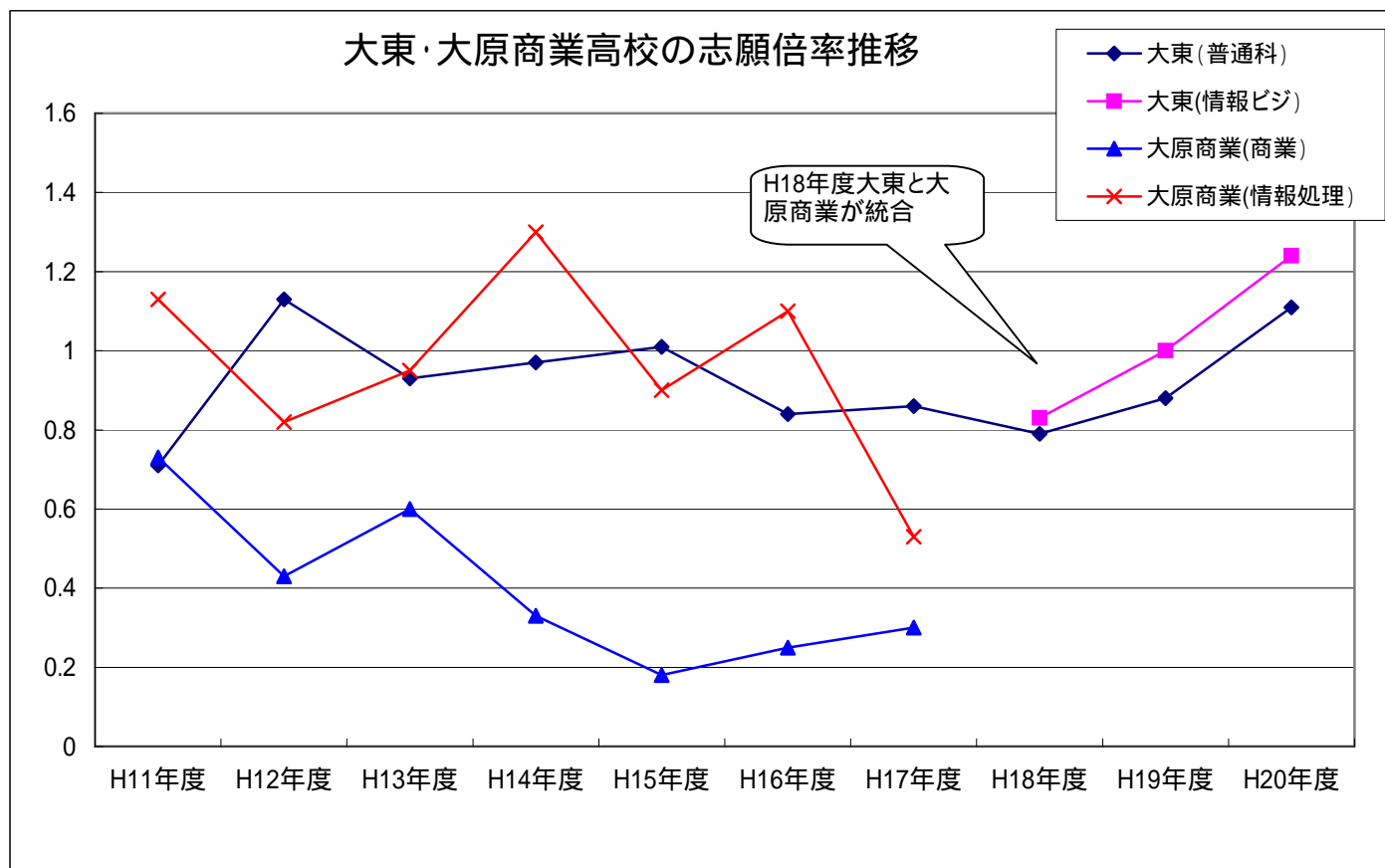


(2) 志願者数及び入学者数の推移

[大東高校]

志願倍率 = 一般志願者数 / (定員 - 推薦合格者数)

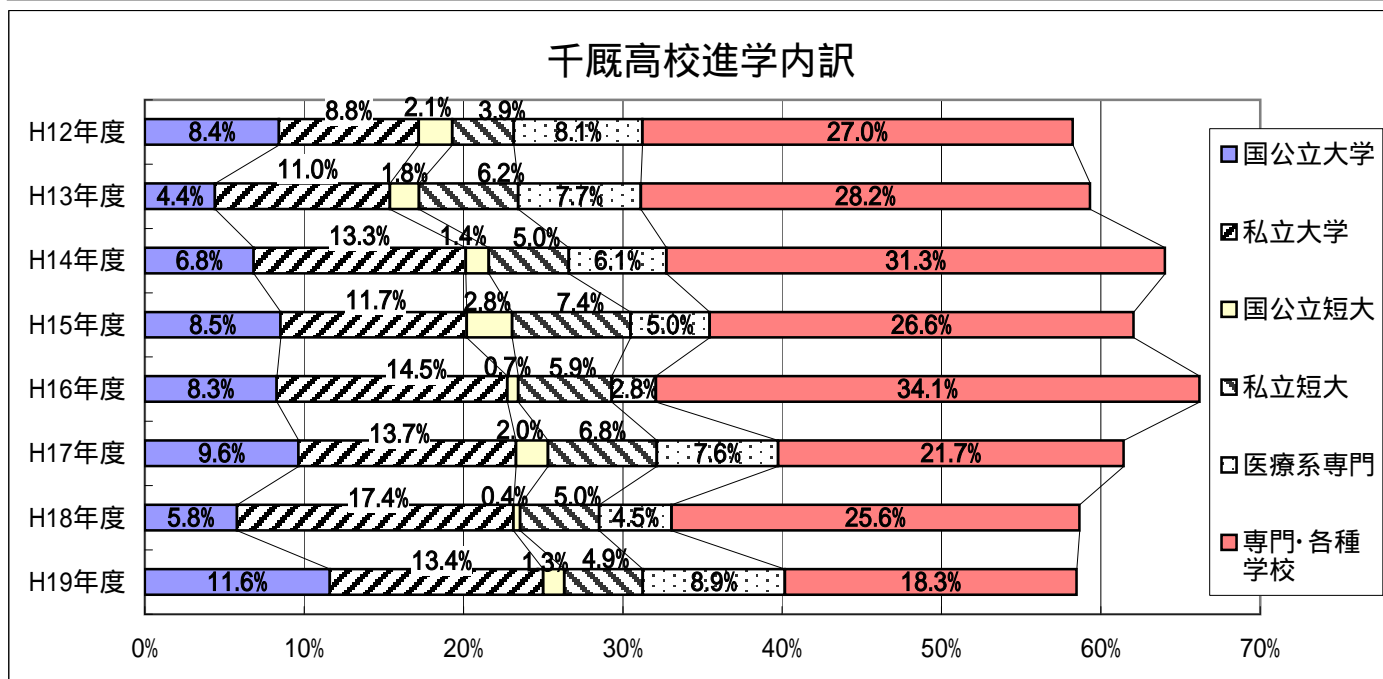
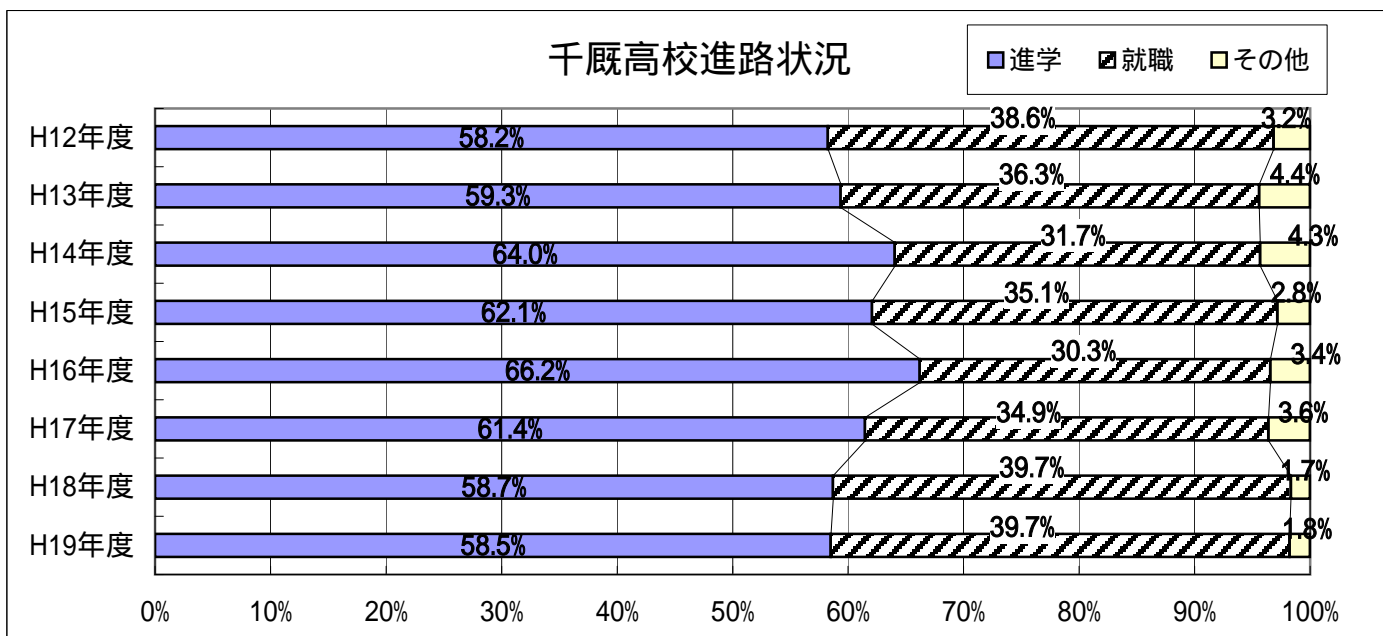
学校名	学科・学系	項目	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	備考
大東高校	普通科	定員	200	160	160	160	160	160	160				H18年度 大東高校 と大原商 業高校が 統合し、大 東高校と なる。
		一般志願者数	140	172	144	151	157	135	137				
		志願倍率	0.71	1.13	0.93	0.97	1.01	0.84	0.86				
		入学者数	168	163	149	155	160	141	154				
		過不足	-32	3	-11	-5	0	-19	-6				
大原商業	商業科	定員	40	40	40	40	40	40	40				
		一般志願者数	29	17	24	13	7	10	12				
		志願倍率	0.73	0.43	0.6	0.33	0.18	0.25	0.3				
		入学者数	31	23	24	30	9	17	12				
		過不足	-9	-17	-16	-10	-31	-23	-28				
	情報処理科	定員	40	40	40	40	40	40	40				
		一般志願者数	43	32	38	52	36	44	21				
		志願倍率	1.13	0.82	0.95	1.3	0.9	1.1	0.53				
		入学者数	41	33	37	40	36	40	21				
		過不足	1	-7	-3	0	-4	0	-19				
大東高校 (統合校)	普通科	定員								160	120	120	
		一般志願者数								127	99	120	
		志願倍率								0.79	0.88	1.11	
		入学者数								131	118	123	
		過不足								-29	-2	3	
	情報ビ ジネス 科	定員									40	40	40
		一般志願者数									33	37	47
		志願倍率									0.83	1	1.24
		入学者数									35	40	42
		過不足									-5	0	2



(3) 進路状況

[千厩高校]

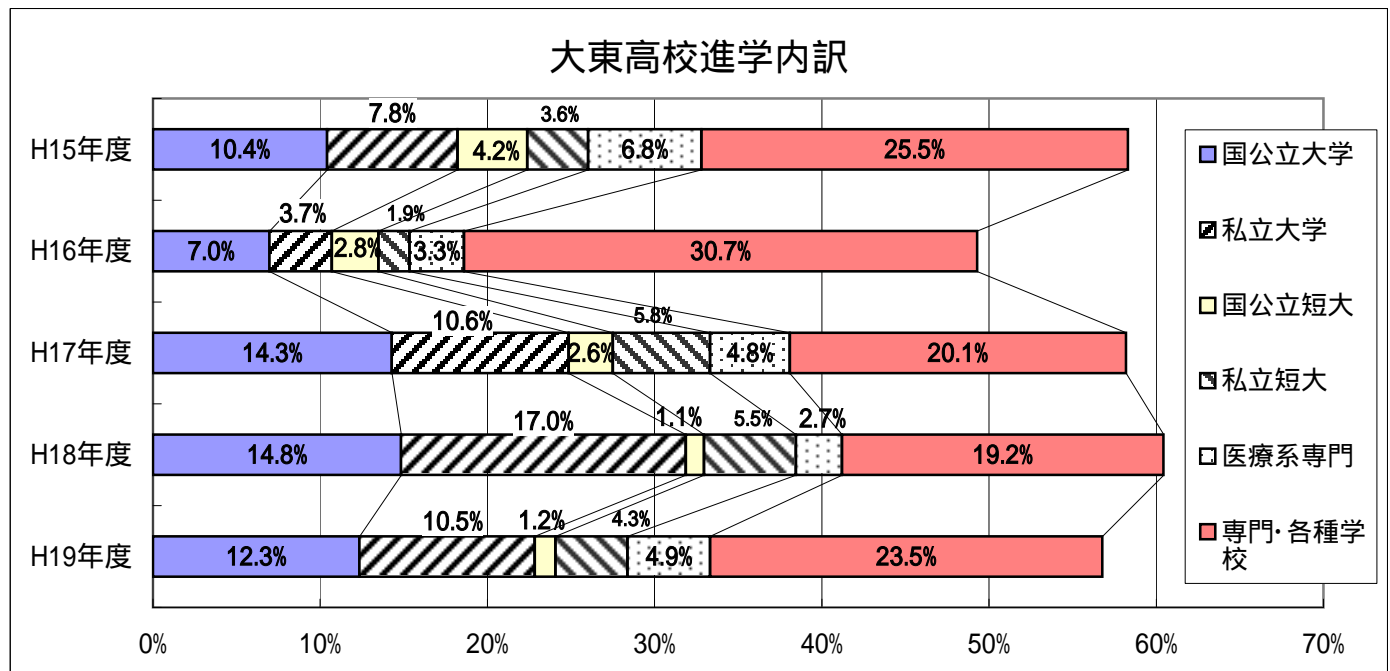
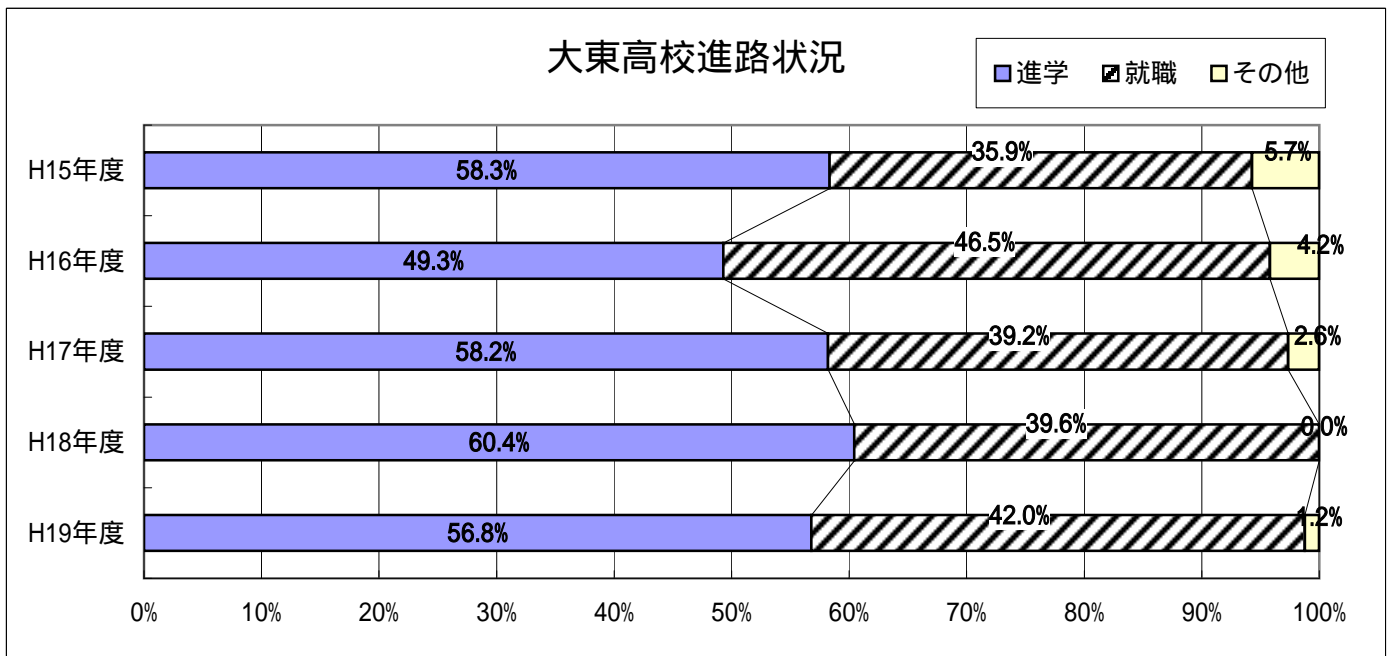
卒業年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	千厩(普通科) 千厩東(生産技術・産業技術)		千厩(普通科・生産技術科・産業技術科)					
卒業生数	285	273	278	282	290	249	242	224
進学	166	162	178	175	192	153	142	131
国公立大学	24	12	19	24	24	24	14	26
私立大学	25	30	37	33	42	34	42	30
国公立短大	6	5	4	8	2	5	1	3
私立短大	11	17	14	21	17	17	12	11
医療系専門	23	21	17	14	8	19	11	20
専門・各種学校	77	77	87	75	99	54	62	41
就職	110	99	88	99	88	87	96	89
民間	108	97	81	95	87	79	90	82
公務員	2	2	7	4	1	8	6	7
その他	9	12	12	8	10	9	4	4



(3) 進路状況

[大東高校]

卒業年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
学科	大東(普通科) 大原商業(商業・情報処理)		大東(普通科・情報ビ ジネス科)		
卒業生数	192	215	189	182	162
進学	112	106	110	110	92
国公立大学	20	15	27	27	20
私立大学	15	8	20	31	17
国公立短大	8	6	5	2	2
私立短大	7	4	11	10	7
医療系専門 専門・各種学校	13	7	9	5	8
就職	69	100	74	72	68
民間	64	98	74	68	65
公務員	5	2	0	4	3
その他	11	9	5	0	2



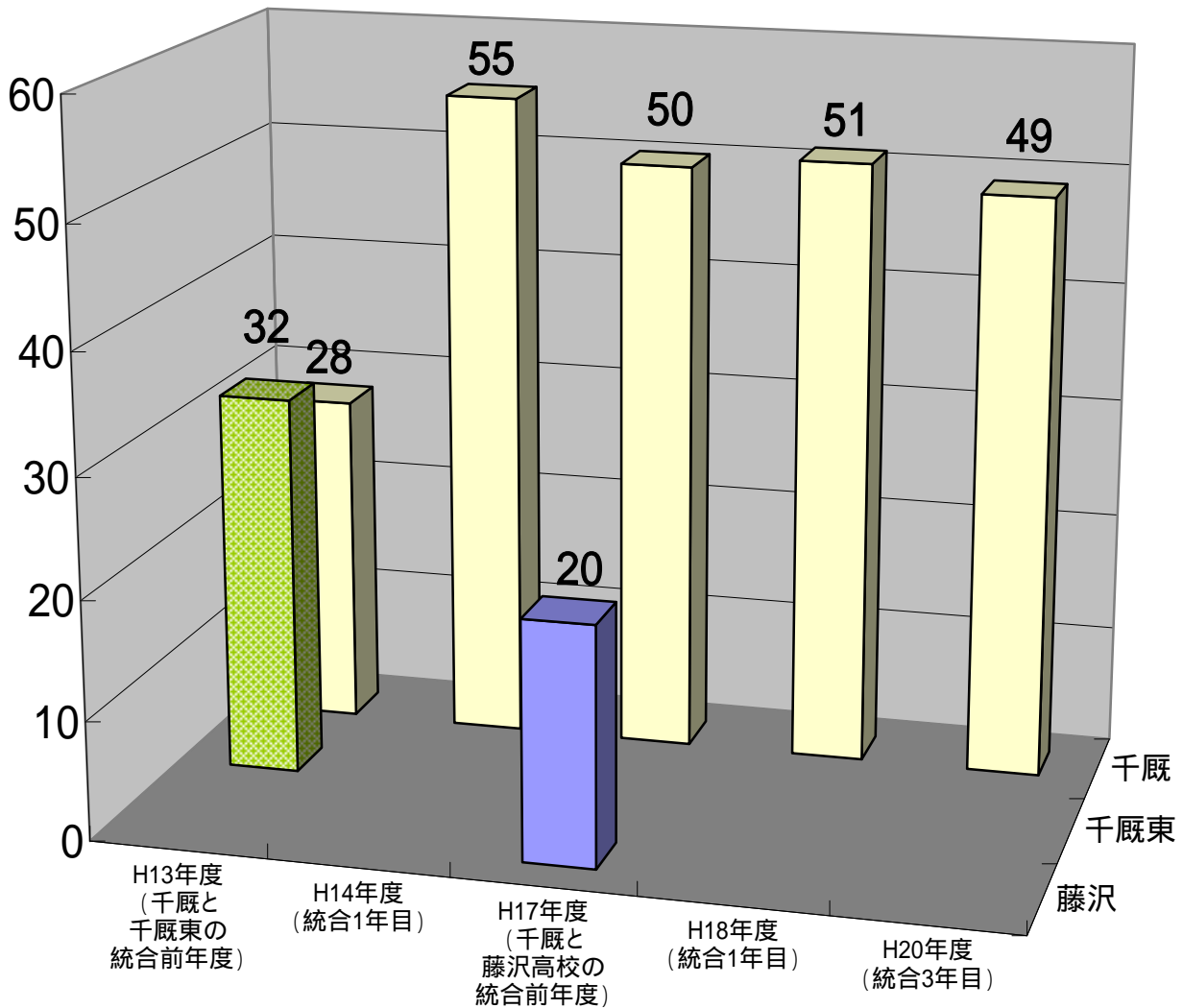
(4) 教員配置数、開設科目数、部活動数の状況

(千厩高校)

(ア) 教員配置数 常勤講師及び非常勤講師を含む

学校名	学科(学級数)	国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	合計
H13年度(千厩と千厩東の統合前年度)											
千厩	普通科(12)	3	4	4	4	5	3	3	2	0	28
千厩東	生産技術科(3)産業技術科(6)	2	2	2	1	2	2	3	5	13	32
H14年度(統合1年目)											
千厩	普通科(12)生産技術科(3)産業技術科(6)	5	6	6	6	6	5	3	5	13	55
H17年度(千厩と藤沢高校との統合前年度)											
千厩	普通科(12)生産技術科(3)産業技術科(3)	5	6	6	5	7	4	3	4	10	50
藤沢	普通科(6)	2	2	3	2	3	2	3	1	2	20
H18年度(統合1年目)											
千厩	普通科(12)生産技術科(3)産業技術科(3)	6	6	7	5	6	4	3	4	10	51
H20年度(統合3年目)											
千厩	普通科(12)生産技術科(3)産業技術科(3)	6	6	6	5	6	4	3	4	9	49

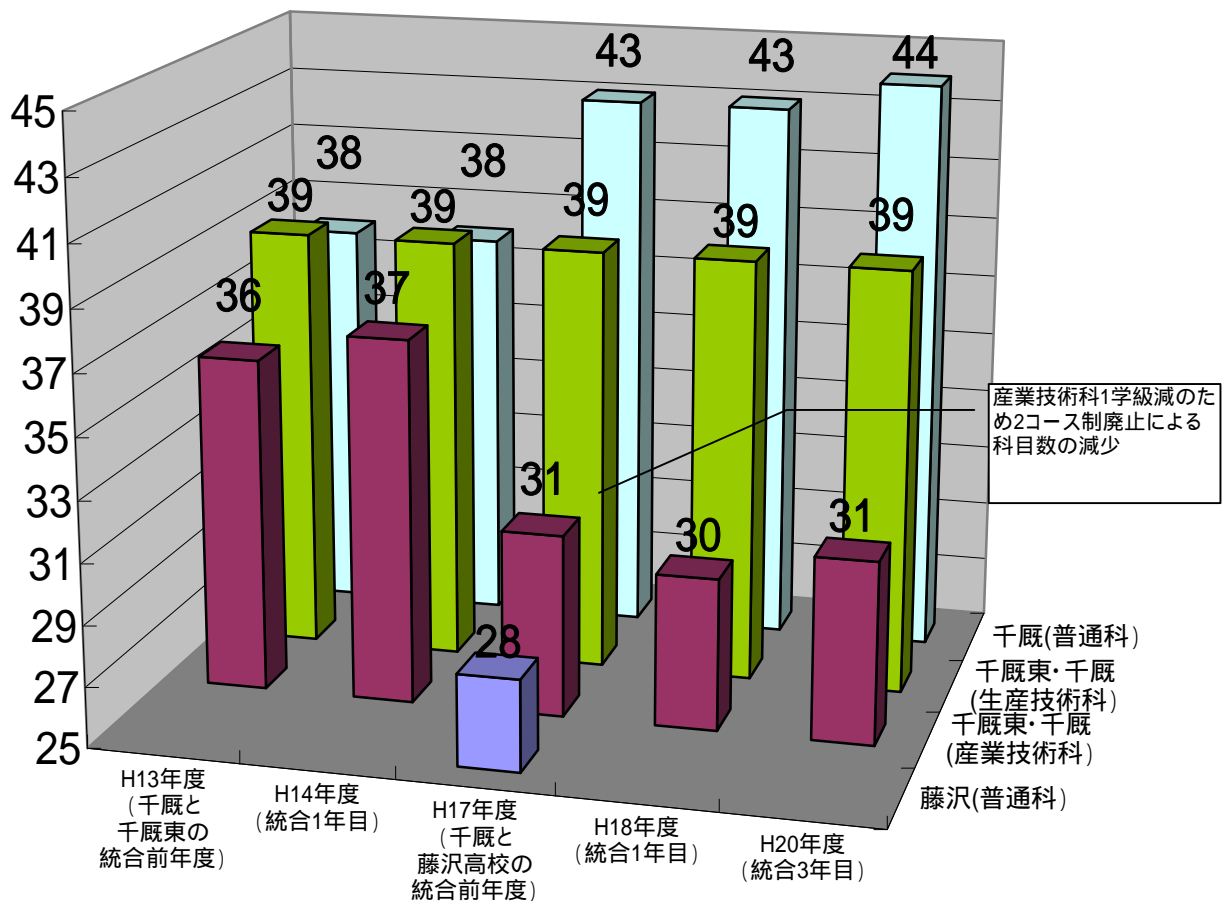
教員配置数の状況



(イ) 開設科目数

学校名	学科	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門	合計
H13年度(千厩と千厩東の統合前年度)													
千厩	普通科	5	3	2	6	7	5	2	6	1	0	1	38
千厩東	生産技術科	3	2	2	2	2	3	2	3	1	0	19	39
	産業技術科	3	3	2	4	2	3	2	3	1	0	13	36
H14年度(統合1年目)													
千厩	普通科	5	3	2	6	7	5	2	6	1	0	1	38
	生産技術科	3	2	2	2	2	3	2	3	1	0	19	39
	産業技術科	3	3	2	4	2	3	2	3	1	0	14	37
H17年度(千厩と藤沢高校との統合前年度)													
千厩	普通科	4	3	2	6	8	5	2	9	1	1	2	43
	生産技術科	3	3	2	3	2	3	2	3	1	0	17	39
	産業技術科	2	2	1	4	2	3	2	3	1	0	11	31
藤沢	普通科	4	3	2	4	4	5	2	3	1	1	6	28
H18年度(統合1年目)													
千厩	普通科	4	3	2	6	8	5	2	9	1	1	2	43
	生産技術科	3	3	2	3	2	3	2	3	1	0	17	39
	産業技術科	2	1	1	4	2	3	2	3	1	0	11	30
H20年度(統合3年目)													
千厩	普通科	4	6	1	6	8	6	2	9	1	1	0	44
	生産技術科	3	3	2	3	2	3	2	3	1	0	17	39
	産業技術科	2	2	2	4	2	3	2	3	1	0	10	31

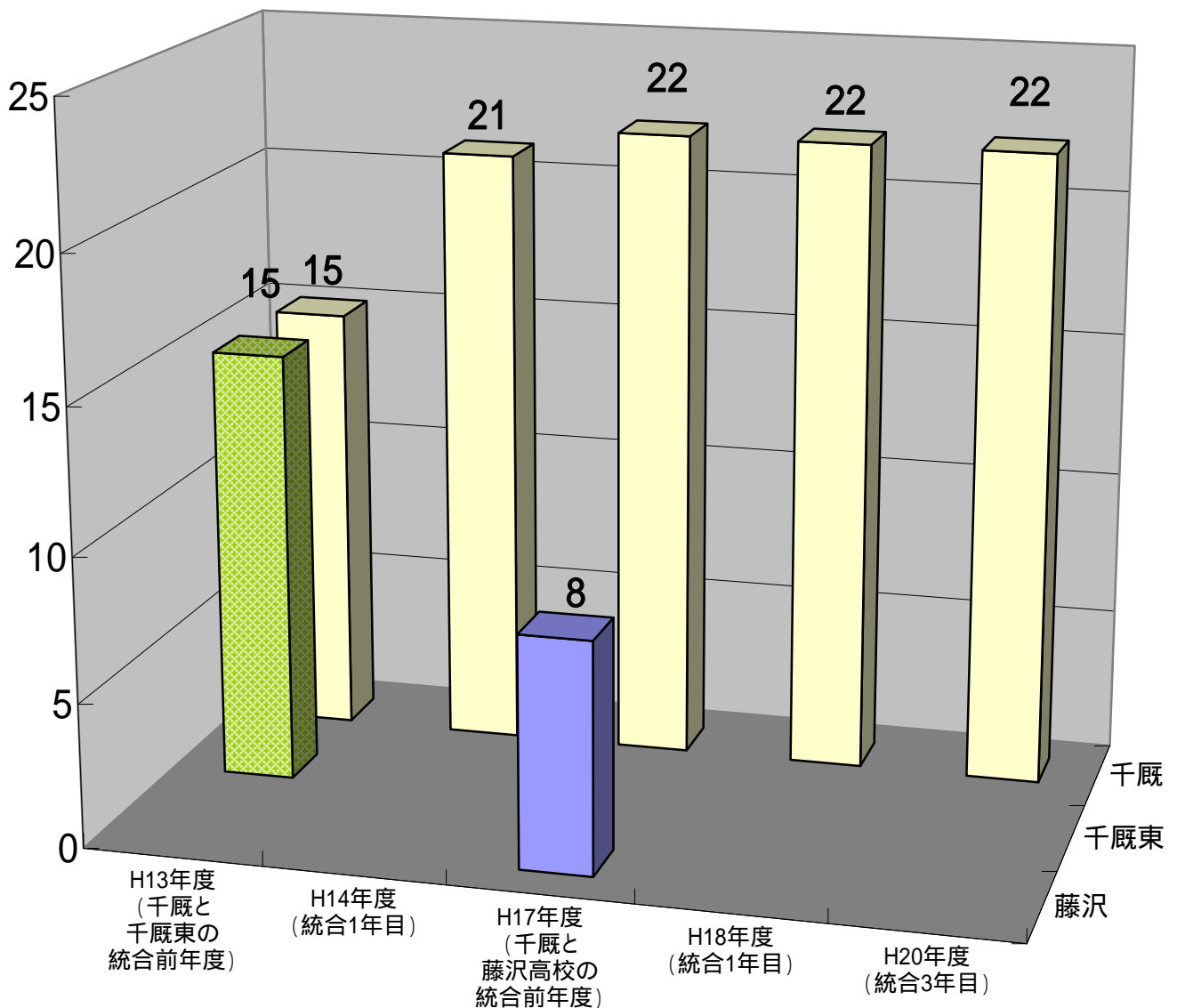
開設科目数の状況



(ウ) 部活動数

学校名	学科(学級数)	運動部	文化部	合計
H13年度(千厩と千厩東の統合前年度)				
千厩	普通科(12)	11	4	15
千厩東	生産技術科(3)産業技術科(6)	9	6	15
H14年度(統合1年目)				
千厩	普通科(12)生産技術科(3)産業技術科(6)	13	8	21
H17年度(千厩と藤沢高校との統合前年度)				
千厩	普通科(12)生産技術科(3)産業技術科(3)	14	8	22
藤沢	普通科(6)	5	3	8
H18年度(統合1年目)				
千厩	普通科(12)生産技術科(3)産業技術科(3)	14	8	22
H20年度(統合3年目)				
千厩	普通科(12)生産技術科(3)産業技術科(3)	14	8	22

部活動数の状況



(4) 教員配置数、開設科目数、部活動数の状況

(大東高校)

(ア) 教員配置数 常勤講師及び非常勤講師を含む

H17年度(統合前年度)

学校名	学科(学級数)	国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	合計
大東	普通科(12)	5	4	4	4	5	3	2	1	1	29
大原商業	商業科(3)情報処理科(3)	2	1	1	1	2	2	2	1	9	21

H19年度(統合2年目)

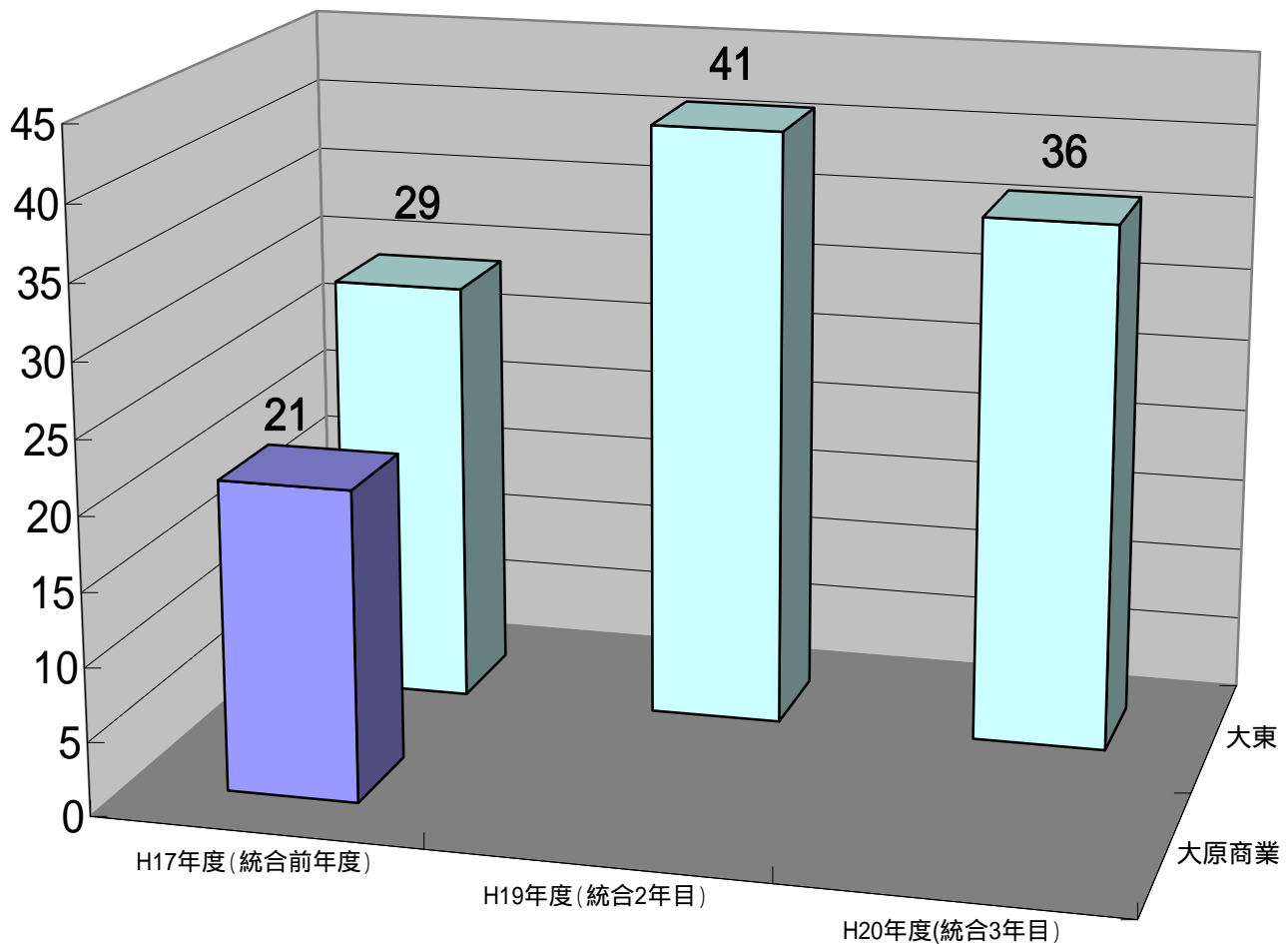
学校名	学科(学級数)	国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	合計
大東	普通科(11)情報ビジネス科(2) 商業科(1)情報処理科(1)	5	4	5	5	6	4	2	2	8	41

H20年度(統合3年目)

学校名	学科(学級数)	国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	合計
大東	普通科(10)情報ビジネス科(3)	5	4	5	5	5	3	2	1	6	36

H18年度(統合1年目)は、完全統合ではなかった(大東校舎と大原校舎の2校舎制)ため、資料としては記載していない。

教員配置数の状況



(イ) 開設科目数

H17年度(統合前年度)

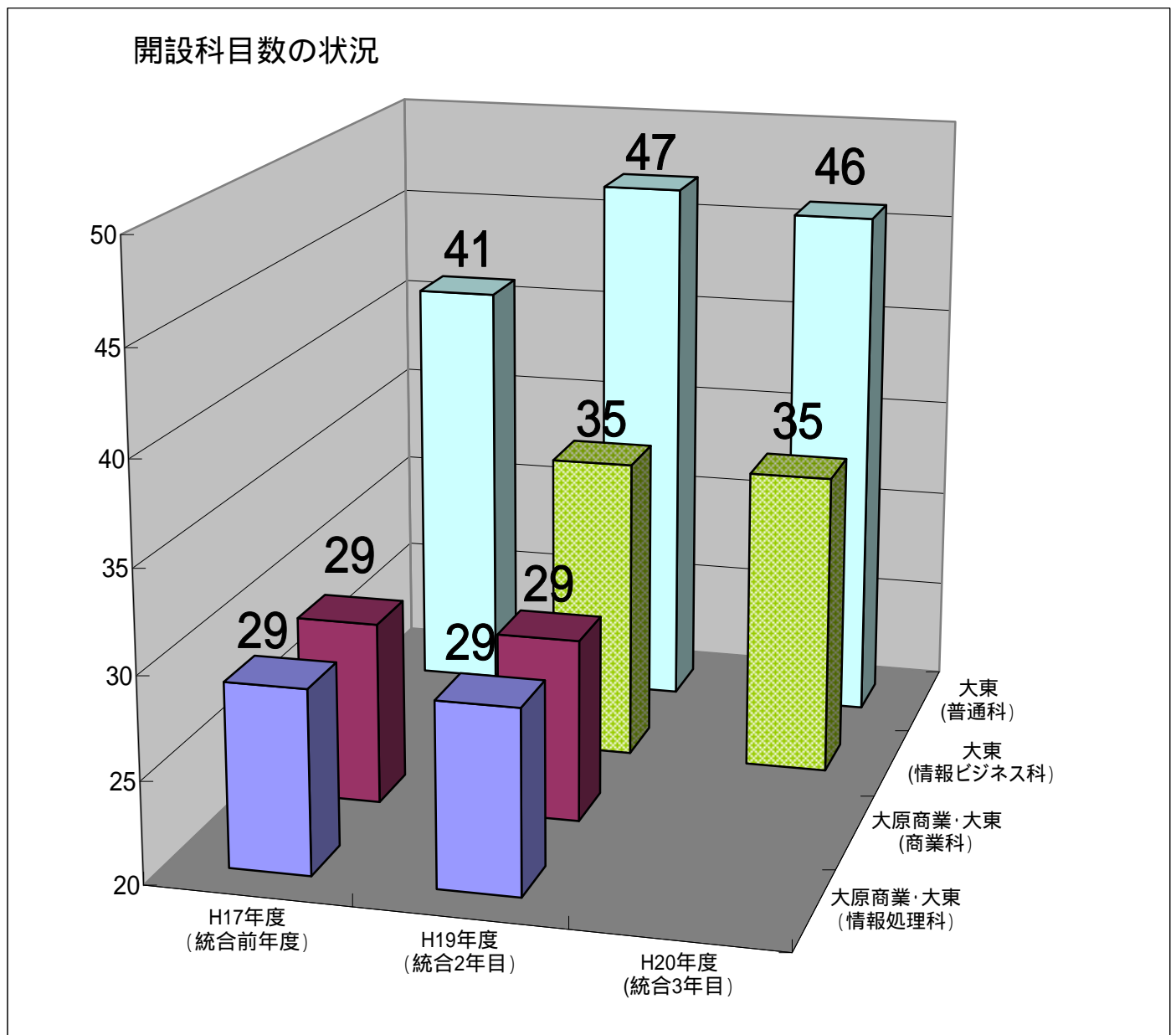
学校名	学科	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門	合計
大東	普通科	5	3	2	6	8	5	2	6	1	1	2	41
大原商業	商業科	2	2	1	3	2	3	2	2	1	0	11	29
	情報処理科	2	2	1	3	2	3	2	2	1	0	11	29

H19年度(統合2年目)

学校名	学科	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門	合計
大東	普通科	5	6	2	6	9	5	2	6	2	1	3	47
	情報ビジネス科	3	2	1	3	2	3	2	2	1	0	16	35
	商業科	2	2	1	3	2	3	2	2	1	0	11	29
	情報処理科	2	2	1	3	2	3	2	2	1	0	11	29

H20年度(統合3年目)

学校名	学科	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門	合計
大東	普通科	5	6	2	6	9	5	2	6	1	1	3	46
	情報ビジネス科	3	2	1	3	2	3	2	2	1	0	16	35



(ウ) 部活動数

H17年度(統合前年度)

学校名	学科(学級数)	運動部	文化部	特別部	合計
大東	普通科(12)	11	6	0	17
大原商業	商業科(3)情報処理科(3)	6	3	2	11

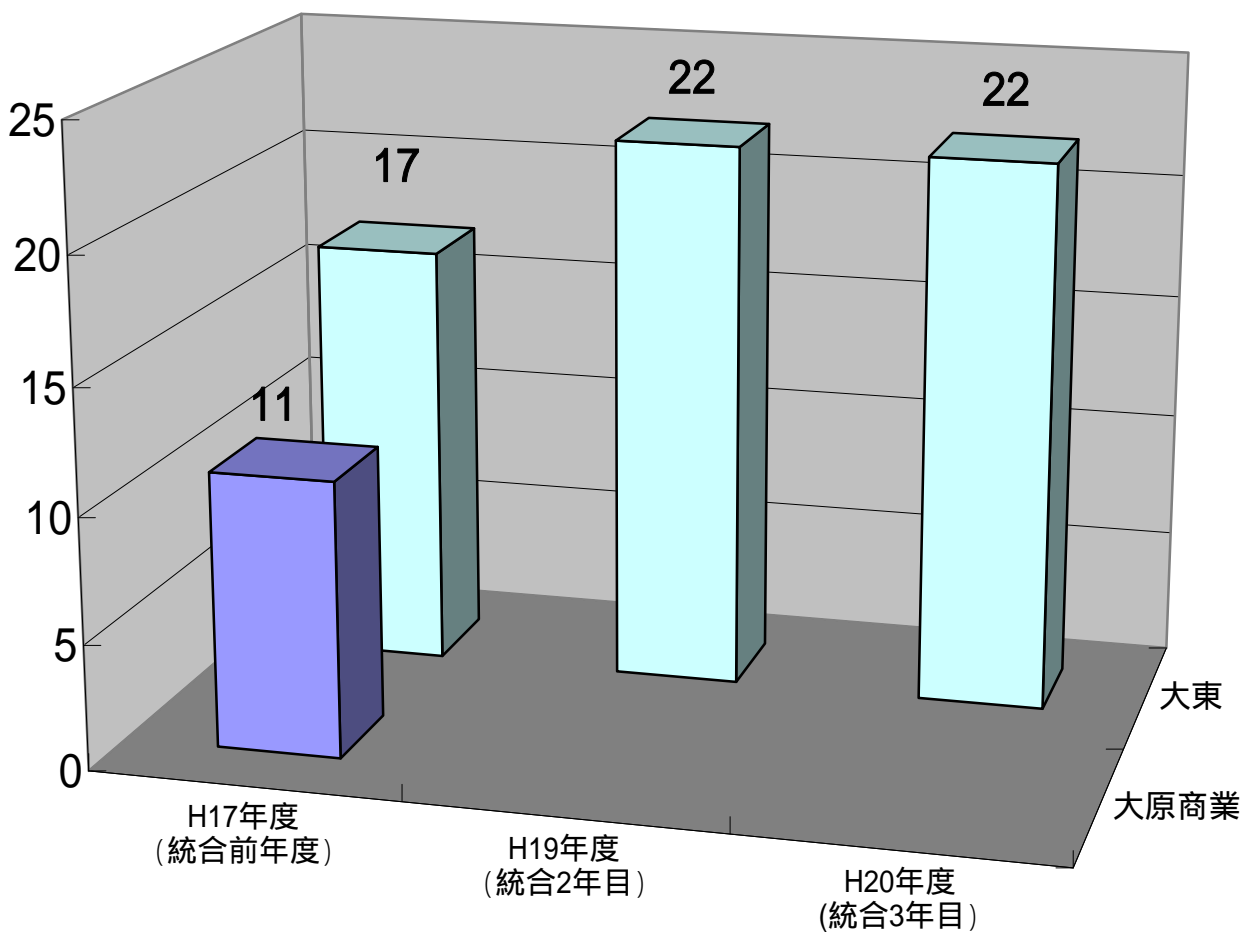
H19年度(統合2年目)

学校名	学科(学級数)	運動部	文化部	特別部	合計
大東	普通科(11)情報ビジネス科(2) 商業科(1)情報処理科(1)	12	9	1	22

H20年度(統合3年目)

学校名	学科(学級数)	運動部	文化部	特別部	合計
大東	普通科(10)情報ビジネス科(3)	12	9	1	22

部活動数の状況



2.1 教員アンケート調査結果の概要

調査期間

平成20年6月2日(月)～6月13日(金)

調査対象

各県立高等学校の所属する校長、副校長、教頭、教諭、養護教諭及び実習教諭

回答状況

回答者数 2,172人〔回答者率 80.4%〕

回答結果の概要

(1) 望ましい学校規模(1学年当たり学級数) (単位:%)

校種	1学年当たり学級数								
	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級以上
普通科高校	0.9	3.5	11.0	32.9	44.3	50.0	18.0	12.9	1.0
専門高校	0.9	4.7	23.0	46.5	35.0	28.0	7.6	5.6	0.6
普通科・専門 学科併設高校	0.5	1.9	11.5	34.3	39.1	41.2	12.0	8.0	0.7
総合学科高校	0.8	2.2	11.3	36.7	38.1	36.3	9.4	7.2	1.1

(2) 理想の学級定員 (単位:%)

校種	学級定員								
	～20人	21～24人	25人	26～29人	30人	31～34人	35人	36～39人	40人
普通科高校	2.7	1.2	4.7	2.9	43.0	5.5	22.9	2.0	10.4
専門高校	5.5	2.3	11.2	3.8	47.4	4.6	12.9	0.9	4.4
総合学科高校	4.1	1.9	8.6	3.2	45.5	4.9	15.3	1.0	5.9
定時制高校	42.8	3.0	10.1	1.7	21.6	2.5	5.1	0.4	2.5

(3) 40人以下の場合に教員配置人数が制約される(少なくなる)ことを前提とした場合の学級定員 (単位:%)

校種	学級定員								
	～20人	21～24人	25人	26～29人	30人	31～34人	35人	36～39人	40人
普通科高校	2.7	1.0	4.0	1.9	28.5	3.2	18.9	3.0	31.0
専門高校	4.9	1.2	7.4	2.6	32.6	2.9	14.1	2.3	24.1
総合学科高校	3.8	1.2	5.6	2.1	30.5	3.3	14.7	2.6	25.5
定時制高校	31.1	1.8	8.1	1.6	18.1	1.9	5.8	1.1	19.2

22 35人学級にした場合の追加財政負担額（試算）

県立高校(全日制課程)を平成20年度の入学者数に基づき1学年の学級定員を35人とした場合

- (1)学級増数 32学級
- (2)教諭増数 64人
- (3)所要額
初年度(1学年)
5億3,120万円 (H19年県立学校教諭平均給与実績 830万円とした場合)



完成年度(1~3学年)
15億9,360万円 (H19年県立学校教諭平均給与実績 830万円とした場合)

	H20年度入学者数	H20年度学級数	35人学級数	学級増	教諭増
盛岡	3,282	82	94	12	24
岩手中部	1,547	41	45	4	8
胆江	1,145	30	33	3	6
両磐	1,098	28	32	4	8
気仙	675	18	20	2	4
釜石・遠野	771	20	23	3	6
宮古	850	23	25	2	4
久慈	639	18	19	1	2
二戸	566	16	17	1	2
県全体	10,573	276	308	32	64

35人学級数は、H20年度入学者数÷35人の計算式で算出

教諭増は、学級増×2の計算式で算出

<参考>

1学級定員を30人とした場合(試算)

- (1)学級数増 81学級
- (2)教諭増数 162人
- (3)所要額
初年度(1学年)
13億4,460万円(H19年県立学校教諭平均給与実績 830万円とした場合)
- 完成年度(1~3学年)
40億3,380万円(H19年県立学校教諭平均給与実績 830万円とした場合)

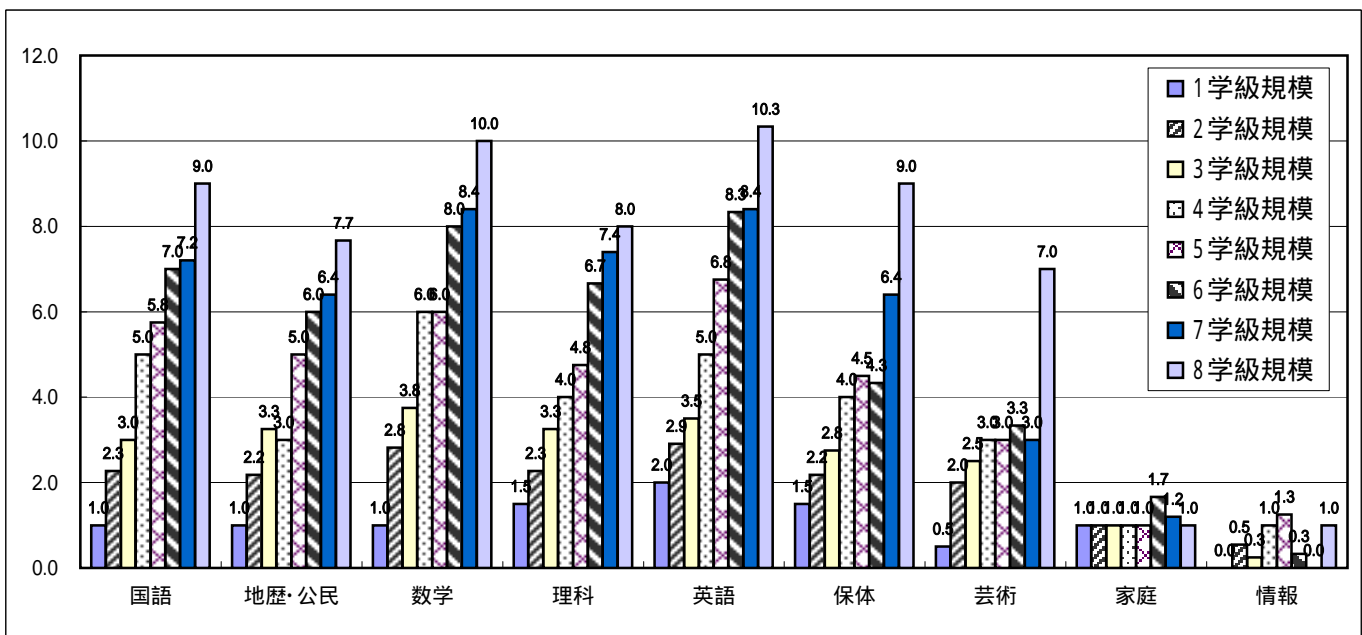
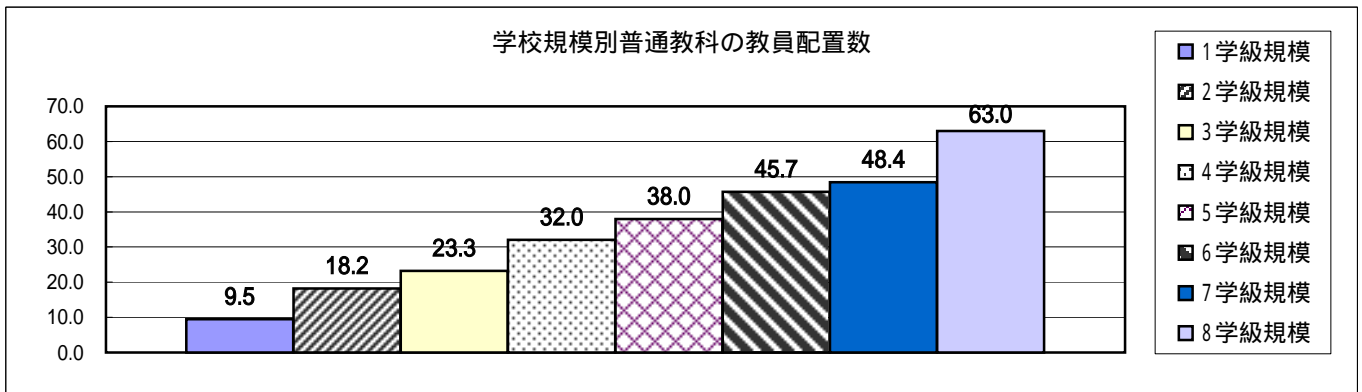
23 県立高等学校における教員の配置状況

対象校：1～3学年が同一クラス数である普通科系学科のみを設置する高校

8学級(3校)：盛岡第一、盛岡第三、不来方	計33校
7学級(5校)：盛岡北、盛岡南、花巻北、黒沢尻北、水沢	
6学級(3校)：一関第一、大船度、宮古	
5学級(4校)：盛岡第二、花巻南、久慈、福岡	
4学級(1校)：遠野(H19年度の状況)	
3学級(4校)：前沢、金ヶ崎、大槌、軽米	
2学級(11校)：沼宮内、葛巻、雫石、西和賀、花泉、住田、山田など	
1学級(2校)：岩泉田野畑校、福岡浄法寺校	

(1) 普通教科の教員配置数

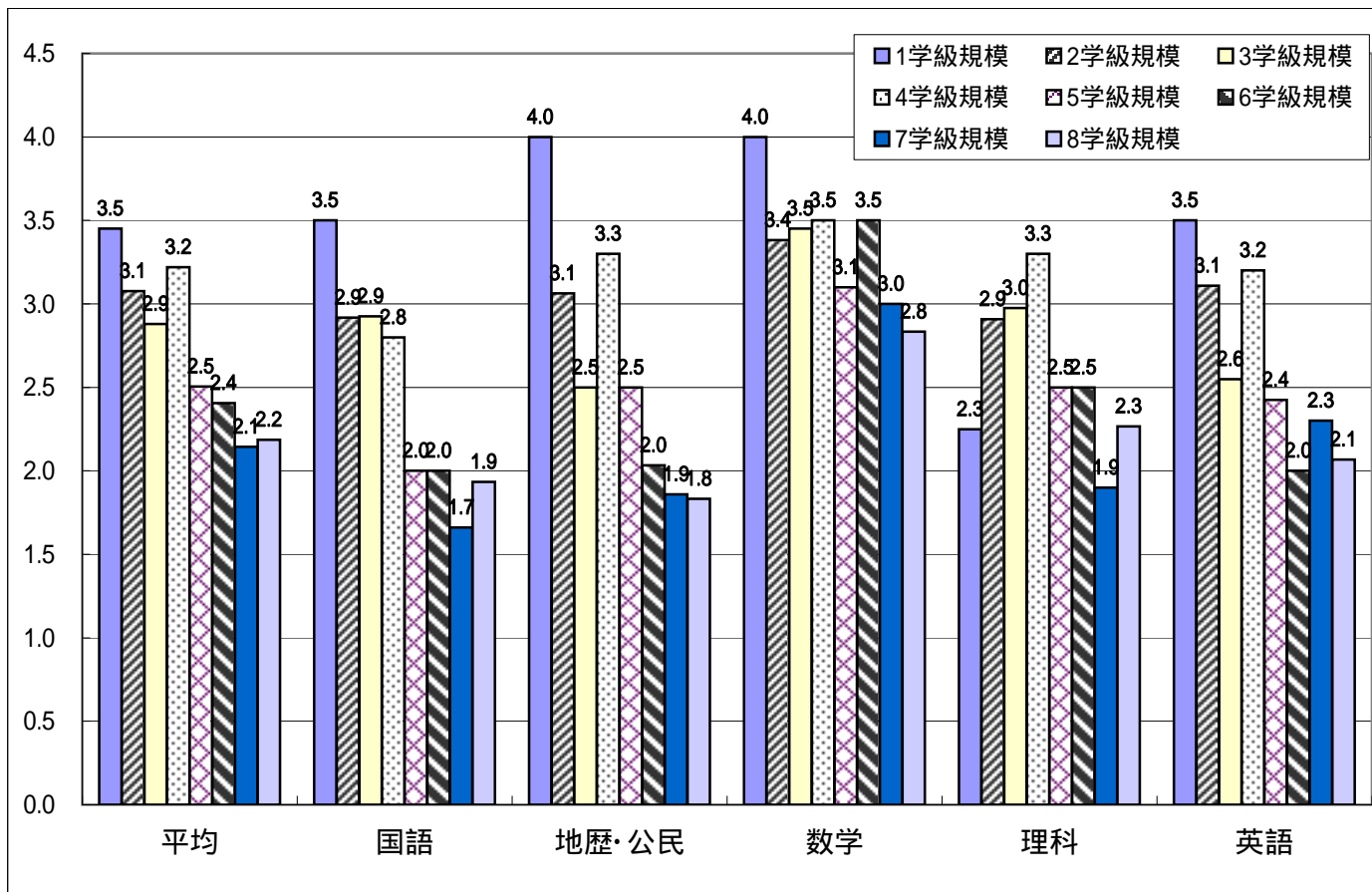
	国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	情報	合計
1学級規模	1.0	1.0	1.0	1.5	2.0	1.5	0.5	1.0	0.0	9.5
2学級規模	2.3	2.2	2.8	2.3	2.9	2.2	2.0	1.0	0.5	18.2
3学級規模	3.0	3.3	3.8	3.3	3.5	2.8	2.5	1.0	0.3	23.3
4学級規模	5.0	3.0	6.0	4.0	5.0	4.0	3.0	1.0	1.0	32.0
5学級規模	5.8	5.0	6.0	4.8	6.8	4.5	3.0	1.0	1.3	38.0
6学級規模	7.0	6.0	8.0	6.7	8.3	4.3	3.3	1.7	0.3	45.7
7学級規模	7.2	6.4	8.4	7.4	8.4	6.4	3.0	1.2	0.0	48.4
8学級規模	9.0	7.7	10.0	8.0	10.3	9.0	7.0	1.0	1.0	63.0



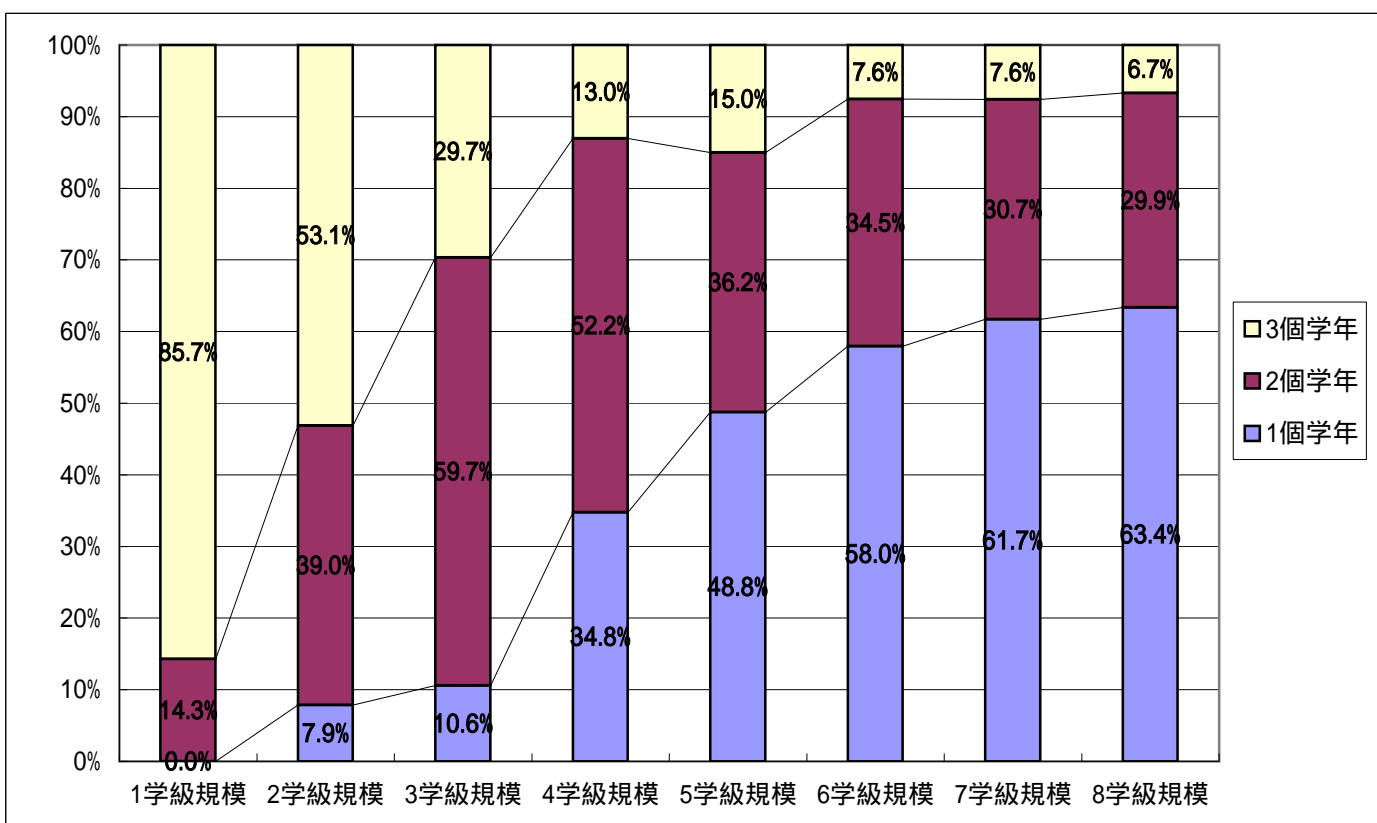
教員数は、普通教科の教頭、教諭、常勤講師、非常勤講師の総数

(2) 教員の担当科目数

教員1人当たりの担当科目数

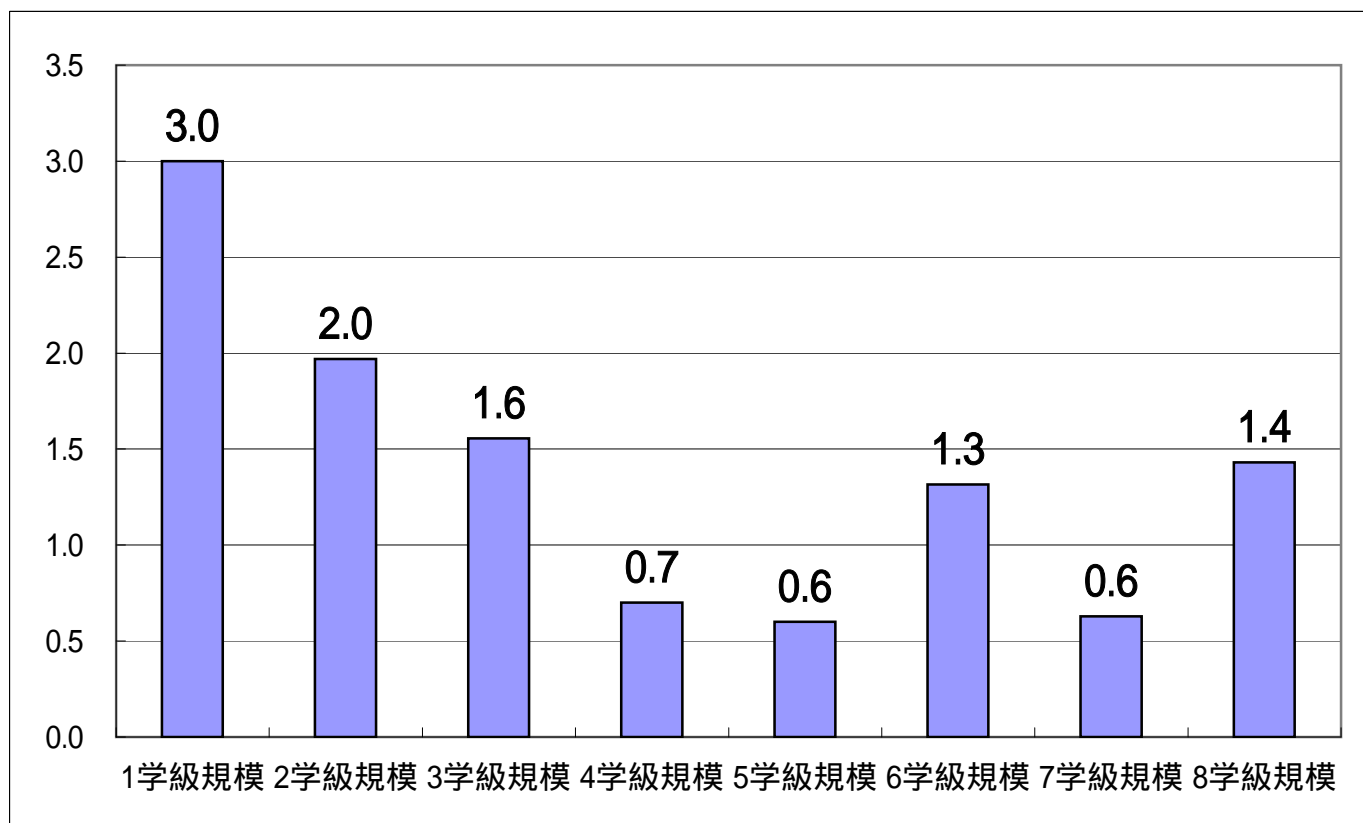


教員の担当学年個数



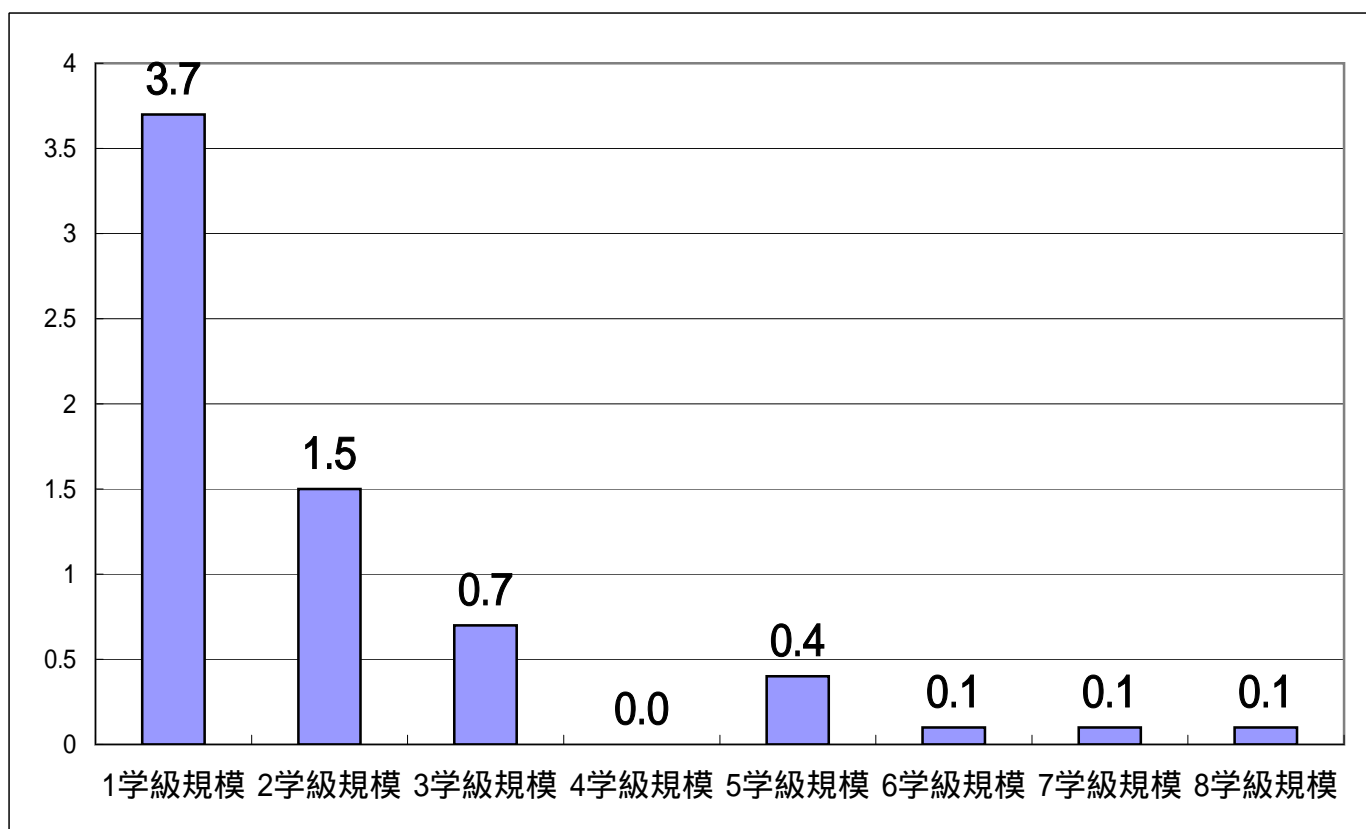
(3) 非常勤講師時間数

1学級当たりの非常勤講師時間数



(4) 免許外教科授業時間数

1学級当たりの免許外授業時間数

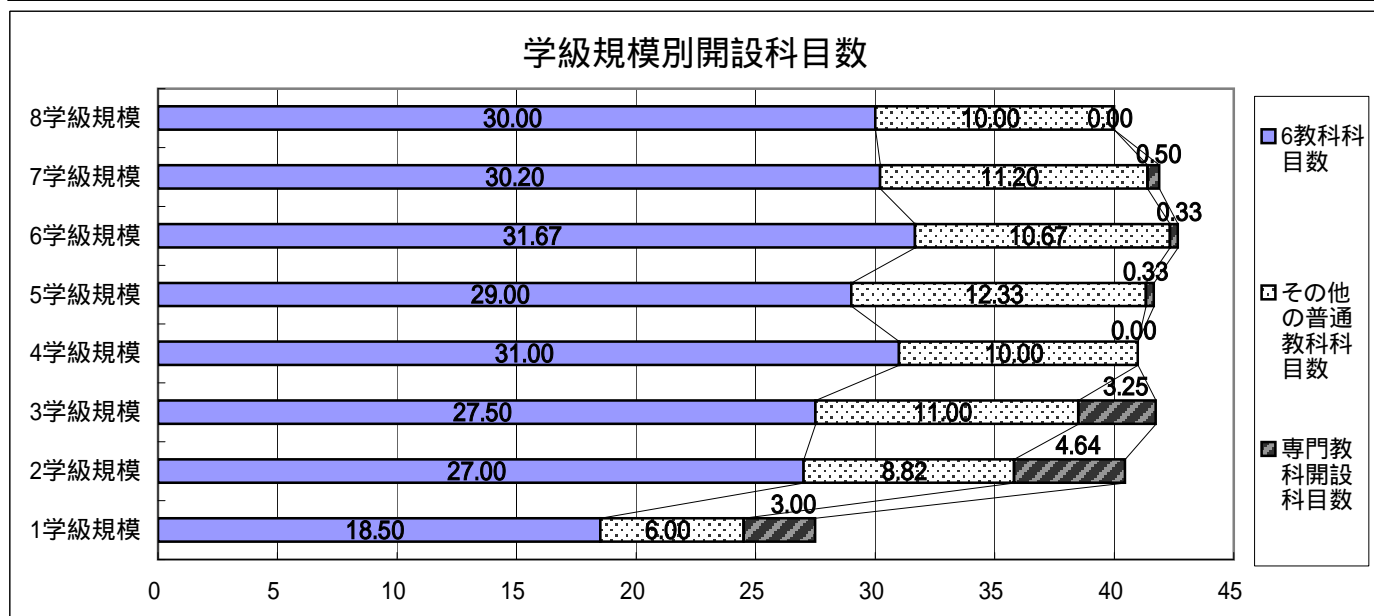
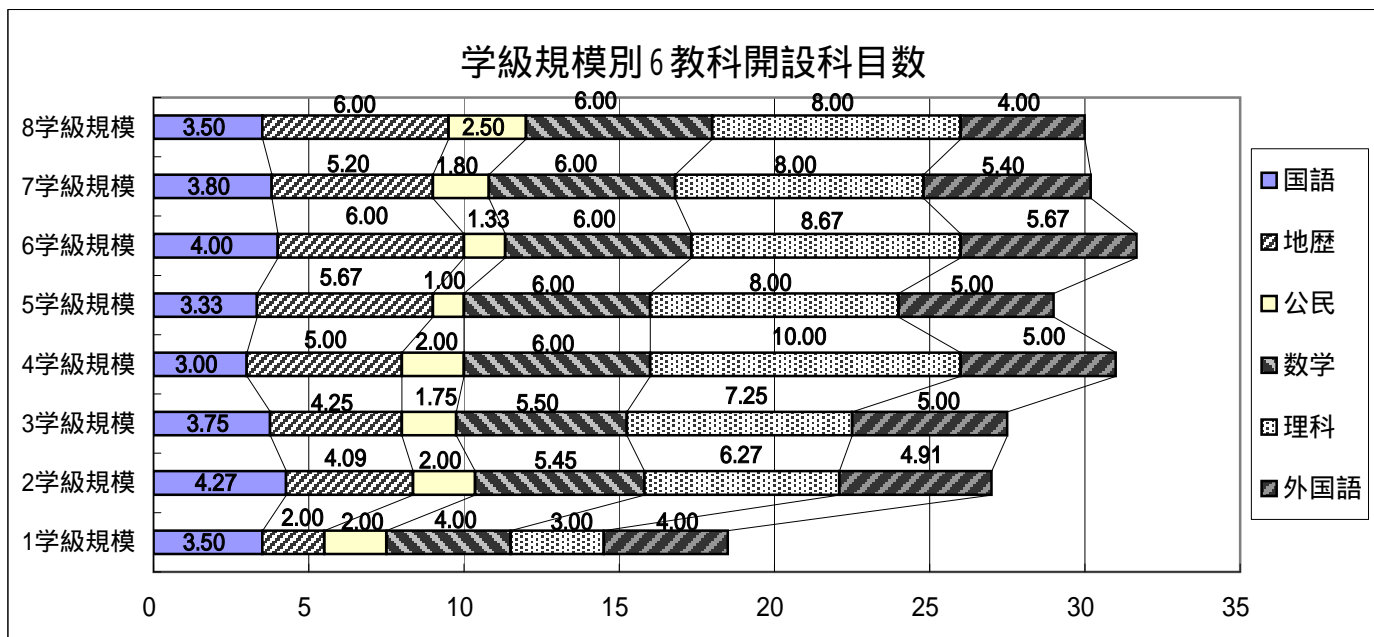


(5) 開設科目数(平成20年度教育課程)

学級規模	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	6教科 科目数	体育	芸術	家庭	情報	その 他の 普通 教科 科目数	普通 教科 開設 科目数	専門 教科 開設 科目数	開設 科目数
1学級規模	3.50	2.00	2.00	4.00	3.00	4.00	18.50	2.00	1.50	1.50	1.00	6.00	24.50	3.00	27.50
2学級規模	4.27	4.09	2.00	5.45	6.27	4.91	27.00	2.00	4.73	1.00	1.09	8.82	35.82	4.64	40.45
3学級規模	3.75	4.25	1.75	5.50	7.25	5.00	27.50	2.00	6.75	1.00	1.25	11.00	38.50	3.25	41.75
4学級規模	3.00	5.00	2.00	6.00	10.00	5.00	31.00	2.00	6.00	1.00	1.00	10.00	41.00	0.00	41.00
5学級規模	3.33	5.67	1.00	6.00	8.00	5.00	29.00	2.00	8.00	1.00	1.33	12.33	41.33	0.33	41.67
6学級規模	4.00	6.00	1.33	6.00	8.67	5.67	31.67	2.00	6.67	1.00	1.00	10.67	42.33	0.33	42.67
7学級規模	3.80	5.20	1.80	6.00	8.00	5.40	30.20	2.00	7.20	1.20	0.80	11.20	41.40	0.50	41.90
8学級規模	3.50	6.00	2.50	6.00	8.00	4.00	30.00	2.00	6.00	1.00	1.00	10.00	40.00	0.00	40.00

4学級規模については、H19年度教育課程における数値

不来方高校、花巻南高校は総合選択制であることから、開設科目が多いため集計から除く
理数科、体育科を除く普通科のみの開設科目数

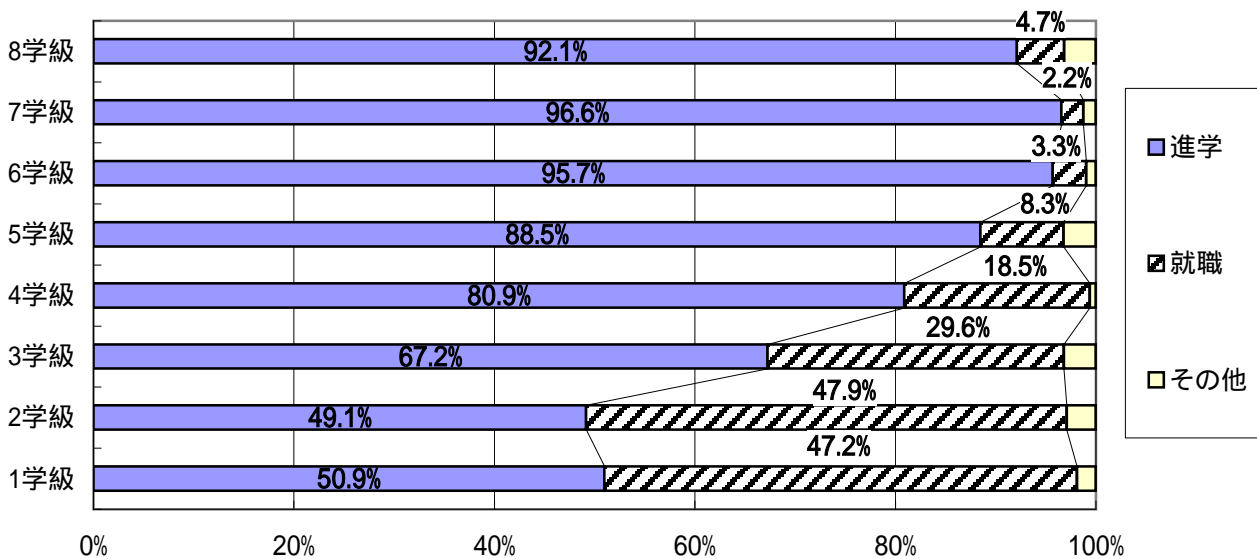


24 県立高等学校における学校規模別進路状況

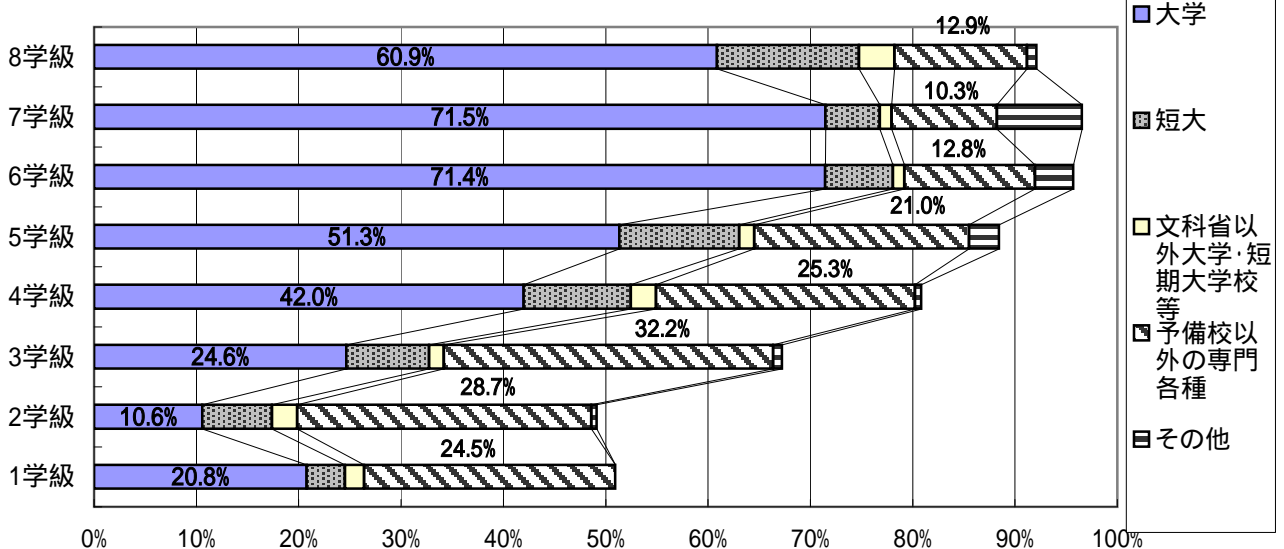
全日制普通科系の平成20年3月卒業生

学級規模	卒業生数	進学						就職			その他	
		大学	短大	文科省以外大学等	専門各種学校	その他	ブロック内	その他の県内	県外			
1学級	53	50.9%	20.8%	3.8%	1.9%	24.5%	0.0%	47.2%	17.0%	11.3%	18.9%	1.9%
2学級	926	49.1%	10.6%	6.8%	2.5%	28.7%	0.5%	47.9%	22.8%	8.6%	16.5%	2.9%
3学級	345	67.2%	24.6%	8.1%	1.4%	32.2%	0.9%	29.6%	9.6%	3.8%	16.2%	3.2%
4学級	162	80.9%	42.0%	10.5%	2.5%	25.3%	0.6%	18.5%	8.0%	3.1%	7.4%	0.6%
5学級	1,023	88.5%	51.3%	11.7%	1.5%	21.0%	2.9%	8.3%	4.2%	1.8%	2.3%	3.2%
6学級	721	95.7%	71.4%	6.7%	1.1%	12.8%	3.7%	3.3%	1.8%	0.6%	1.0%	1.0%
7学級	2,145	96.6%	71.5%	5.3%	1.2%	10.3%	8.3%	2.2%	1.2%	0.4%	0.6%	1.3%
8学級	317	92.1%	60.9%	13.9%	3.5%	12.9%	0.9%	4.7%	2.5%	0.0%	2.2%	3.2%
平均		84.4%	53.2%	7.7%	1.6%	17.6%	4.3%	13.6%	6.3%	2.4%	5.0%	2.1%

学級規模別進路状況



学級規模別進学状況

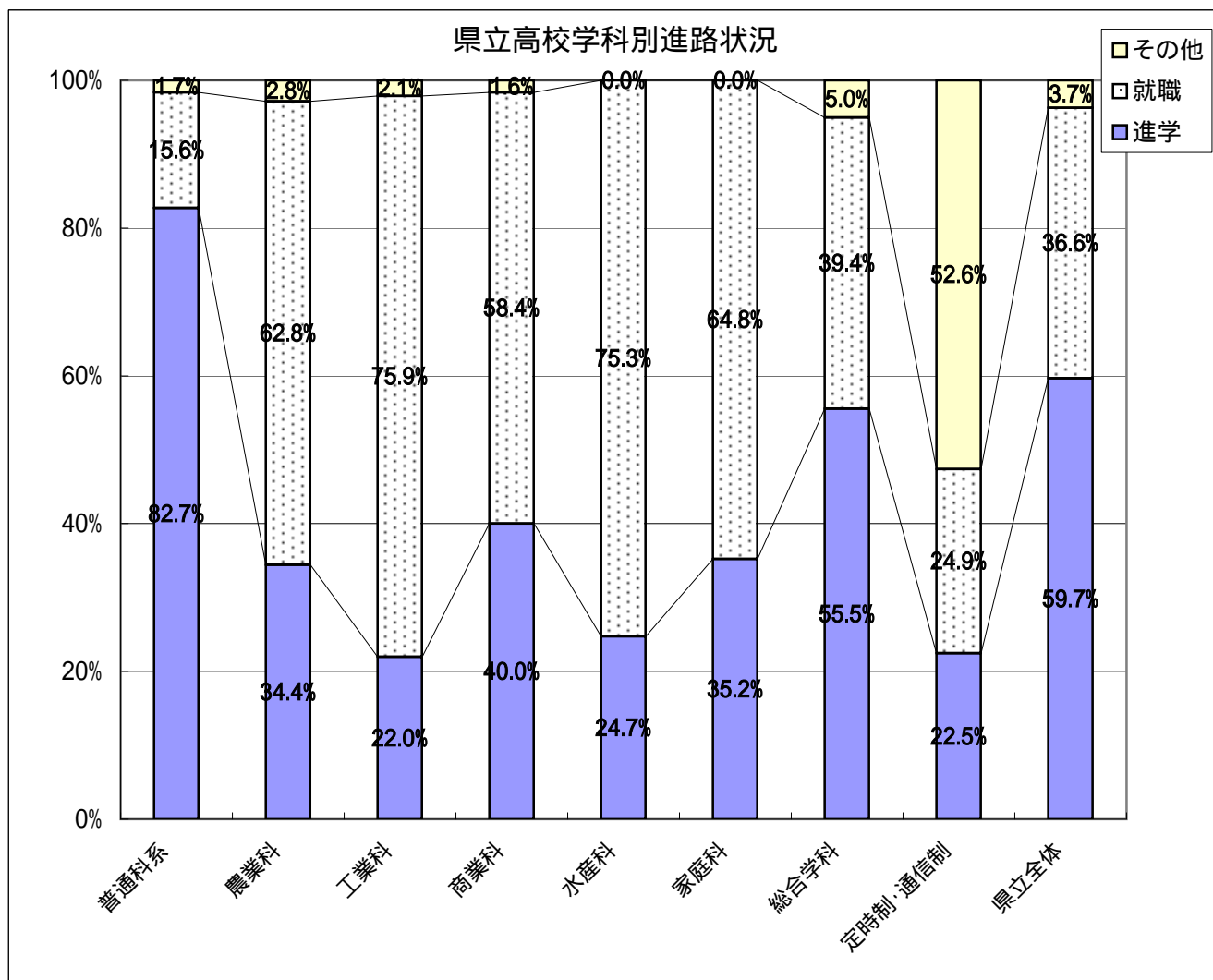


25 県立高等学校における学科別進路状況

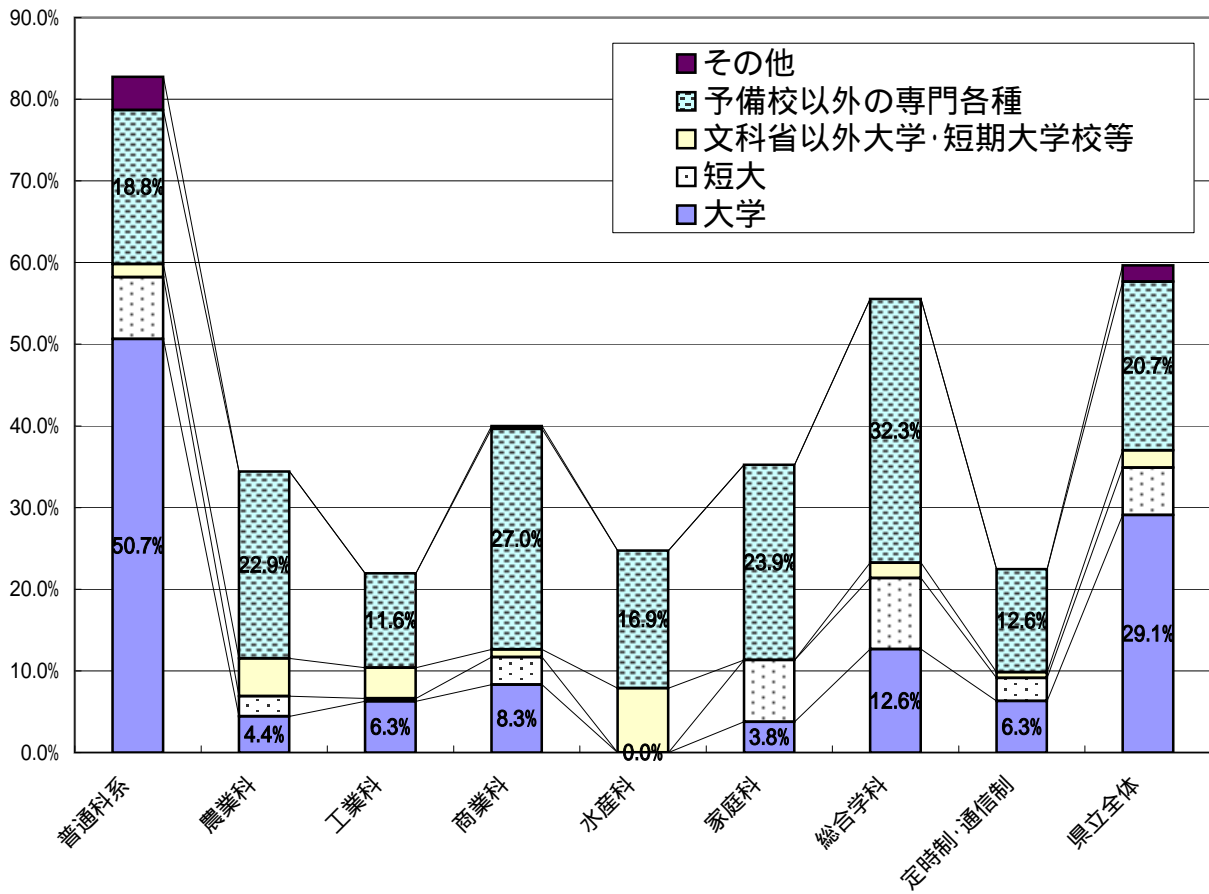
(平成20年3月県立高等学校卒業生)

学 科	進 学						就 職				その他
	大 学	短 大	文科省以外 大学・短期大 学校等	予備校以 外の専門 各種	その他		ブロック内	その他の県内	県 外		
普通科系	82.7%	50.7%	7.5%	1.6%	18.8%	4.1%	15.6%	7.2%	2.4%	6.0%	1.7%
農業科	34.4%	4.4%	2.5%	4.6%	22.9%	0.0%	62.8%	41.5%	6.2%	15.1%	2.8%
工業科	22.0%	6.3%	0.3%	3.8%	11.6%	0.0%	75.9%	27.2%	9.1%	39.6%	2.1%
商業科	40.0%	8.3%	3.4%	0.9%	27.0%	0.4%	58.4%	26.8%	8.1%	23.5%	1.6%
水産科	24.7%	0.0%	0.0%	7.9%	16.9%	0.0%	75.3%	38.2%	1.1%	36.0%	0.0%
家庭科	35.2%	3.8%	7.5%	0.0%	23.9%	0.0%	64.8%	27.0%	3.1%	34.6%	0.0%
総合学科	55.5%	12.6%	8.7%	1.9%	32.3%	0.0%	39.4%	18.0%	7.1%	14.3%	5.0%
定時制・通信制	22.5%	6.3%	2.8%	0.7%	12.6%	0.0%	24.9%	12.6%	4.2%	8.1%	52.6%
県立全体	59.7%	29.1%	5.8%	2.1%	20.7%	2.0%	36.6%	16.2%	5.0%	15.5%	3.7%

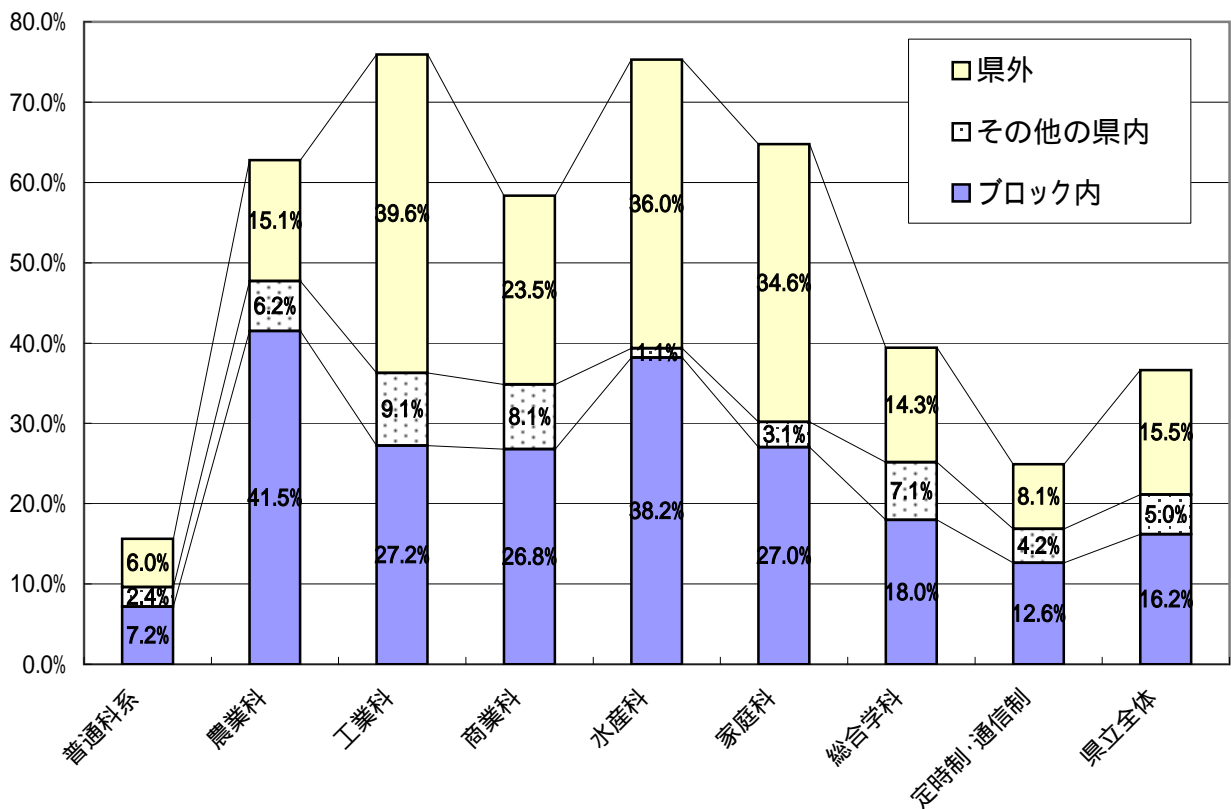
文科省以外大学・短期大学等に専攻科、高専への編入等も含む。
普通科系学科に理科科、体育科も含む。



県立高校学科別進学状況



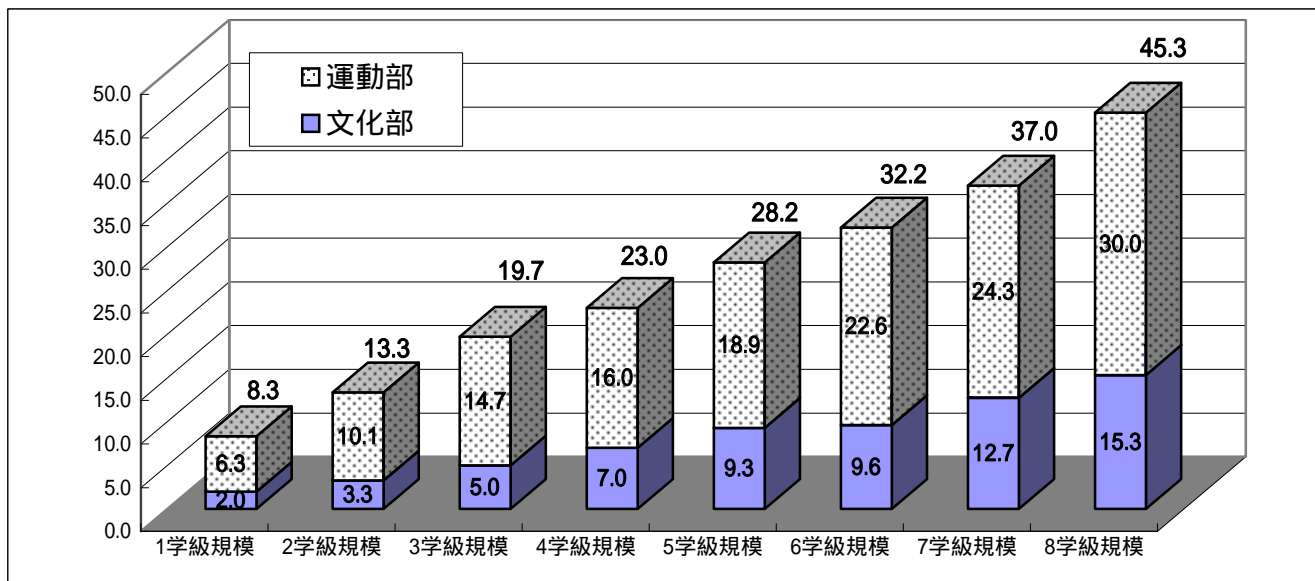
県立高校学科別就職状況



26 県立高等学校における部活動の開設状況

(1) 開設部活動数

全学年が存在している県立全日制高校について、学校規模別に平均した値である。
平成20年度学校要覧による、開設している部活動（同好会を除く）である。



(2) 具体的な開設部活動

	A 高校 3学級規模	B 高校 4学級規模	C 高校 5学級規模	D 高校 6学級規模	E 高校 7学級規模	F 高校 8学級規模
文化部	1 書道	書道	科学	美術	書道	書道
	2 美術	美術	茶道	音楽	美術	美術
	3 吹奏楽	吹奏楽	音楽	吹奏楽	音楽	音楽
	4 O A	家政	マンドリン	自然科学	吹奏楽	吹奏楽
	5 インターアクト	茶道	吹奏楽	華道	演劇	演劇
	6	ワープロ	美術	囲碁将棋	写真	文芸
	7	写真		E S S	生物	囲碁将棋
	8				物理	写真
	9				茶華道	新聞
	10				家庭研究	地学
	11				化学	生物
	12				地学	物理
	13					英語
	14					ユネスコ
	15					華道
運動部	1 バスケットボール(男)	陸上競技	陸上競技	陸上競技	陸上競技	陸上競技
	2 バスケットボール(女)	バスケットボール(男)	バスケットボール(男)	新体操	新体操	新体操
	3 バレーボール	バスケットボール(女)	バスケットボール(女)	水泳	水泳	水泳
	4 卓球	バレーボール	バレーボール(男)	バスケットボール(男)	バスケットボール(男)	バスケットボール(男)
	5 ソフトテニス	ソフトテニス(男)	バレーボール(女)	バスケットボール(女)	バスケットボール(女)	バスケットボール(女)
	6 サッカー	ソフトテニス(女)	卓球(男)	バレーボール(男)	バレーボール(男)	バレーボール(男)
	7 柔道(男)	サッカー	卓球(女)	バレーボール(女)	バレーボール(女)	バレーボール(女)
	8 柔道(女)	柔道(男)	ソフトテニス(男)	卓球(男)	卓球(男)	卓球(男)
	9 弓道(男)	柔道(女)	ソフトテニス(女)	卓球(女)	卓球(女)	卓球(女)
	10 弓道(女)	剣道(男)	サッカー	ソフトテニス(男)	ソフトテニス(男)	ソフトテニス(男)
	11 硬式野球	剣道(女)	バドミントン(男)	ソフトテニス(女)	ソフトテニス(女)	ソフトテニス(女)
	12	硬式野球	バドミントン(女)	サッカー(男)	サッカー	サッカー
	13	ソフトボール	ハンドボール	サッカー(女)	ラグビー	ラグビー
	14	レスリング	柔道(男)	ラグビー	バドミントン(男)	ハンドボール(男)
	15	ヨット	柔道(女)	バドミントン(男)	バドミントン(女)	ハンドボール(女)
16		剣道(男)	バドミントン(女)	柔道(男)	バドミントン(男)	
17		剣道(女)	バドミントン(男)	柔道(女)	バドミントン(女)	
18		硬式野球	剣道(男)	剣道(男)	柔道(男)	
19		ソフトボール	剣道(女)	剣道(女)	柔道(女)	
20			弓道(男)	弓道(男)	スキー	
21			弓道(女)	弓道(女)	スケート	
22			空手	空手	剣道(男)	
23			硬式野球	テニス(男)	剣道(女)	
24			ソフトボール	テニス(女)	弓道(男)	
25				硬式野球	弓道(女)	
26				アイスホッケー	ボート	
27				ソフトボール	テニス(男)	
28					テニス(女)	
29					空手道	
30					硬式野球	

27 県立高等学校における小規模校（普通科高校）の状況

(1) 小規模校の現状と課題

聞き取り及びデータ等の調査対象は、雫石、西和賀、前沢、花泉、住田、大槌、山田、大野、伊保内の9校である。

	メリット	デメリット	その他
小規模校のメリット・デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数が少ないことにより、生徒一人一人の状況について多くの教員が情報を共有することができ、個々に対応したきめ細かな指導ができる。 地域との連携により、学校と地域が一体となって生徒の育成に努めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員数が少ないため、多様な進路希望に対応するための教育課程の編成等が充分ではなく、教育の質の確保が難しい状況である。 生徒の学力差が大きく、進路指導においては進学、就職の両面に対応しなければならない状況であり、教員の負担が大きい。 学習活動及び部活動などにおいて、生徒の選択肢が少ないうえ、生徒数も少なく、生徒同士が切磋琢磨する教育環境の確保が難しい状況である。 教職員数の少ない小規模校は、大規模校と比較して校務に差がないため、教職員の負担が大きく、授業の振替や部活動と課外指導の両立などが難しい状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、教職員、地域が一体となって教育活動を展開しており、地域からの評価が高い。 特に、地元の中学校出身者の占める割合が高い学校は、中高連携及び地域連携などの面において、人材育成の協力体制が整っている。

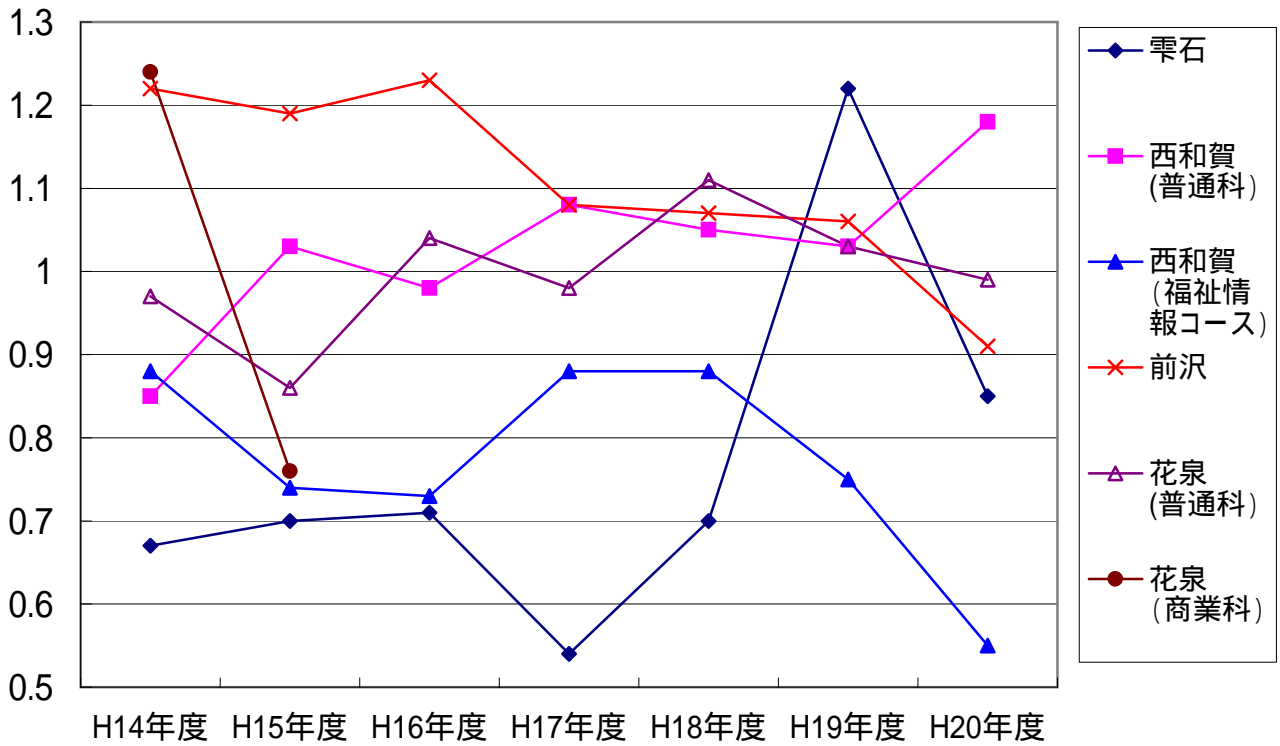
	現 状	課 題
1 志願状況及び入学志望意欲	<ul style="list-style-type: none"> 西和賀の普通科は1倍を上回る状況が続いているが、その他の学校は1倍を下回る学校が多い。 地元中学校出身者占有率において、沿岸、県北のブロックの高校は高率である。 生徒アンケート結果から、普通科志望の生徒が多く、一方、入学意欲の面において県全体と比較すると否定的な回答が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 1倍を下回っている学校が多く、再募集での入学者もあり、不本意入学の生徒が存在する。 志願倍率が低いことによる入学者の学力の低下が見られる。
2 学習面	<ul style="list-style-type: none"> 2学級校は、2,3学年は就職、進学の2つのコースに分けた学級編成となっている学校と均質の学級編成となっている学校がある。 3学級校は、2,3学年においては、就職、専門学校・就職、大学進学の3つのコースに分けた学級編成となっている学校と就職、進学の2つのコースに分けた学級編成となっている学校がある。 各学校とも就職希望者を中心に資格取得に力を入れており、意欲的に取り組んでいる生徒が多い。 学力差が大きいことから、英数の授業において習熟度別指導を行っている学校が多い。 教育課程においては、5学級規模校と比較して、地歴及び理科の科目数は、それぞれ2科目程度少なく、専門教科の科目数は4科目程度多い。 生徒数が少ないため、きめ細かな指導ができ、そのことによって学習に取り組む姿勢が良い方向に変容する生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 普通教科における科目選択の幅が少ない。 学力差が大きいことから、習熟度別学習の編成をさらに充実したいと考えているが、教員が少ないため、厳しい状況である。 習熟度別授業などに対して、複数の教員が指導にあたるため、出張等による不在の場合の対応が難しい。
3 生徒指導面	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動が少なく、落ち着いた学校生活となっている学校が多い。 学校不適應の生徒や特別に支援を要する生徒がいる学校が多い。 生徒一人一人を把握でき、きめ細かな指導体制となっており、不登校傾向の生徒の改善が図られるケースがある。 指導者や施設などにおいて、地域との連携のもと、インターハイに出場するなど活躍している部がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数の関係から、部活動の数が制限され、生徒の選択肢が少なく、中学校にあった部が高校にはないなど継続的な活動ができないなどの状況がある。 活動人数が少なく、活動を維持していくことが困難な部が多くなってきている。
4 進路指導面	<ul style="list-style-type: none"> 進路状況は、概ね進学50%、就職48%、その他2%の状況である。 進学でもなく、就職でもないその他の生徒の割合が減少している学校が多い。 キャリア教育の一環として、インターンシップを地域の協力を得て実施している学校がある。 面接指導や小論文指導などにおいて、全ての教員が関わりを持った進路指導が行われている。 手厚い指導の成果もあり、就職希望者の内定率が100%の学校が多く、大学進学においては個別の指導体制で対応し、推薦合格など成果を上げている学校がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 就職支援相談員の配置がなくなったことによる影響が大きく、小規模校への配置が望まれている。 少ない教員で進学、就職両面に渡っての指導になっており、特に進学指導の質の向上が課題である。
5 地域との連携及び学校評価	<ul style="list-style-type: none"> 奉仕活動やボランティア活動等を通して地域との連携が密に図られている。 経済的及び学力の面において、地元の高校にしか進学できない生徒の教育機会となっている。 地域に対する学校の広報活動が積極的に行われている学校が多い。 財政面において、地域からの支援を受けている学校がある。 多様な生徒の受入れと進路指導の成果において、地域からの評価が高い学校が多い。 地域活動に積極的に参加することによって、高い評価を受けている学校がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に支えられていることから、地域のニーズに応えるよう努力する必要がある。

(2) 志願者数及び入学者数の推移

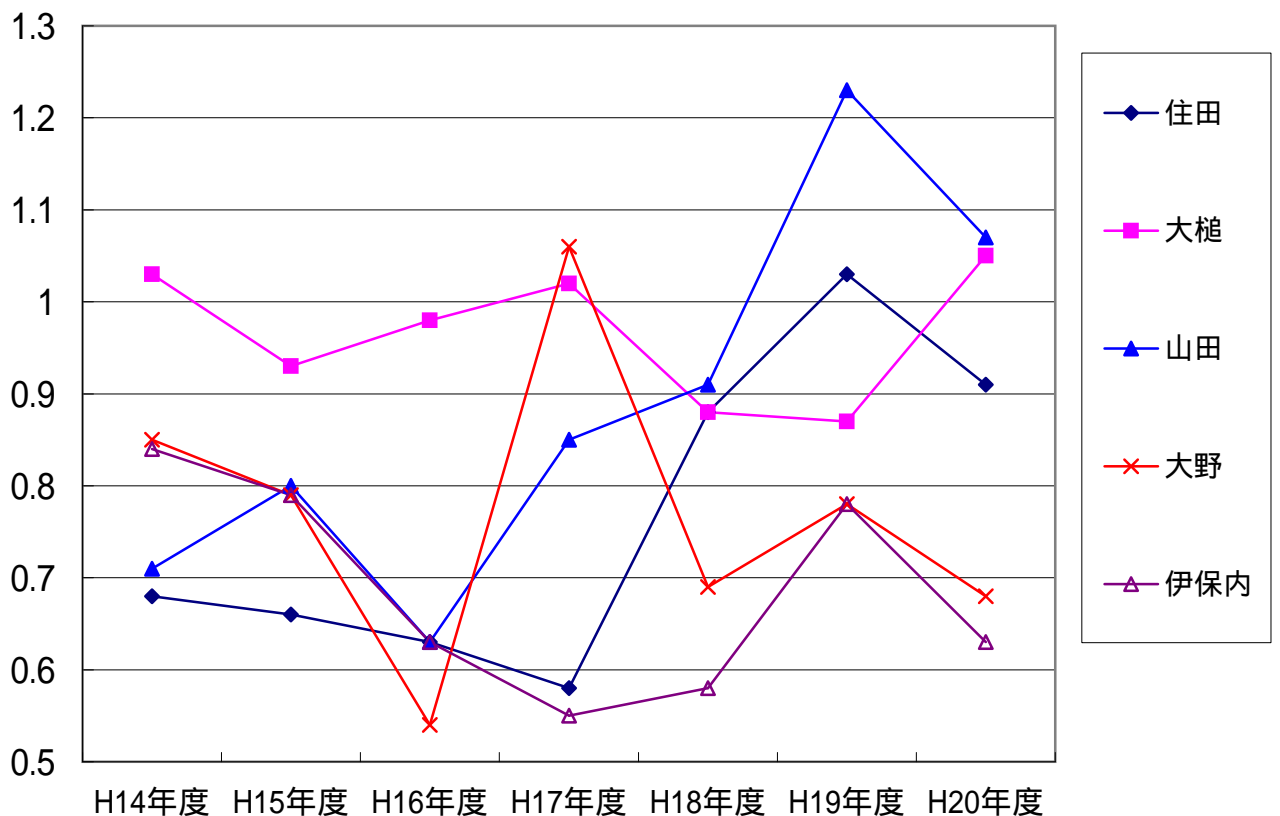
志願倍率 = 一般志願者数 / (定員 - 推薦合格者数)

学校名	項目	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	備考
雫石	定員	160	120	120	120	80	80	80	
	一般志願者数	107	83	85	65	56	95	68	
	志願倍率	0.67	0.7	0.71	0.54	0.7	1.22	0.85	
	入学者数	116	88	84	67	53	84	73	
	過不足	-44	-32	-36	-53	-27	4	-7	
西和賀 (普通科)	定員	40	40	40	40	40	40	40	
	一般志願者数	34	41	39	43	42	39	46	
	志願倍率	0.85	1.03	0.98	1.08	1.05	1.03	1.18	
	入学者数	33	34	36	40	41	38	40	
	過不足	-7	-6	-4	0	1	-2	0	
西和賀 (普通科 福祉情報 コース)	定員	40	40	40	40	40	40	40	
	一般志願者数	35	29	29	35	35	30	22	
	志願倍率	0.88	0.74	0.73	0.88	0.88	0.75	0.55	
	入学者数	30	35	31	36	35	34	26	
	過不足	-10	-5	-9	-4	-5	-6	-14	
前沢	定員	120	120	120	120	120	120	120	
	一般志願者数	132	128	148	130	128	115	99	
	志願倍率	1.22	1.19	1.23	1.08	1.07	1.06	0.91	
	入学者数	124	125	123	121	120	123	109	
	過不足	4	5	3	1	0	3	-11	
花泉 (普通科)	定員	80	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	75	66	83	78	89	78	79	
	志願倍率	0.97	0.86	1.04	0.98	1.11	1.03	0.99	
	入学者数	80	68	81	77	80	80	74	
	過不足	0	-12	1	-3	0	0	-6	
花泉 (商業科)	定員	40	40						H16年度 商業科募 集停止
	一般志願者数	47	29						
	志願倍率	1.24	0.76						
	入学者数	40	30						
	過不足	0	-10						
住田	定員	80	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	54	53	50	46	70	79	70	
	志願倍率	0.68	0.66	0.63	0.58	0.88	1.03	0.91	
	入学者数	55	75	59	53	73	82	71	
	過不足	-25	-5	-21	-27	-7	2	-9	
大槌	定員	120	120	120	120	120	120	120	
	一般志願者数	122	111	117	122	106	104	124	
	志願倍率	1.03	0.93	0.98	1.02	0.88	0.87	1.05	
	入学者数	124	108	114	120	102	103	121	
	過不足	4	-12	-6	0	-18	-17	1	
山田	定員	120	120	120	80	80	80	80	
	一般志願者数	85	94	75	68	73	87	79	
	志願倍率	0.71	0.80	0.63	0.85	0.91	1.23	1.07	
	入学者数	84	93	84	78	73	84	81	
	過不足	-36	-27	-36	-2	-7	4	1	
大野	定員	80	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	68	63	43	85	55	57	54	
	志願倍率	0.85	0.79	0.54	1.06	0.69	0.78	0.68	
	入学者数	65	60	49	83	63	66	60	
	過不足	-15	-20	-31	3	-17	-14	-20	
伊保内	定員	80	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	67	63	50	44	46	62	50	
	志願倍率	0.84	0.79	0.63	0.55	0.58	0.78	0.63	
	入学者数	71	63	52	44	50	61	49	
	過不足	-9	-17	-28	-36	-30	-19	-31	

小規模校の志願倍率推移

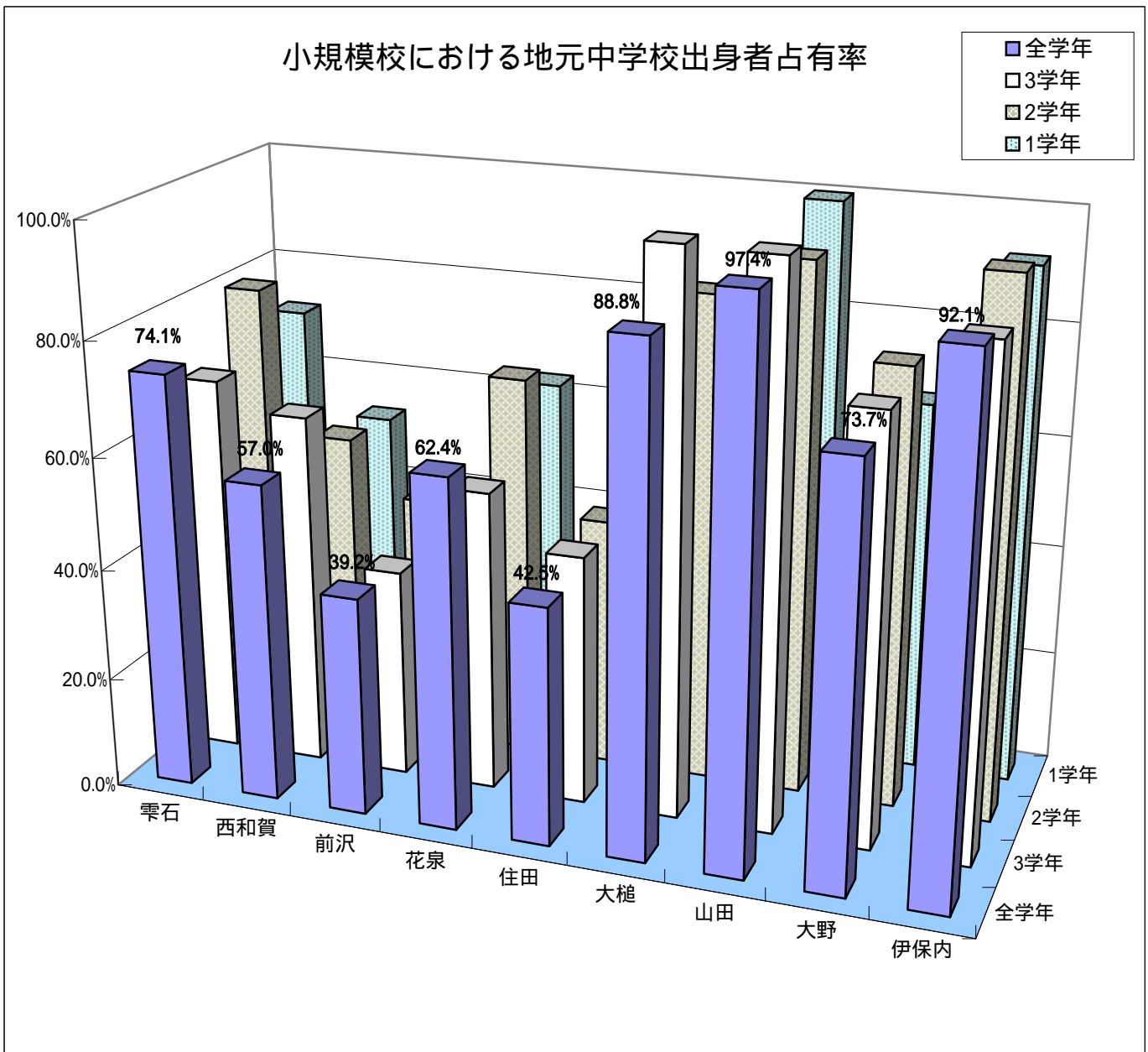


小規模校の志願倍率推移



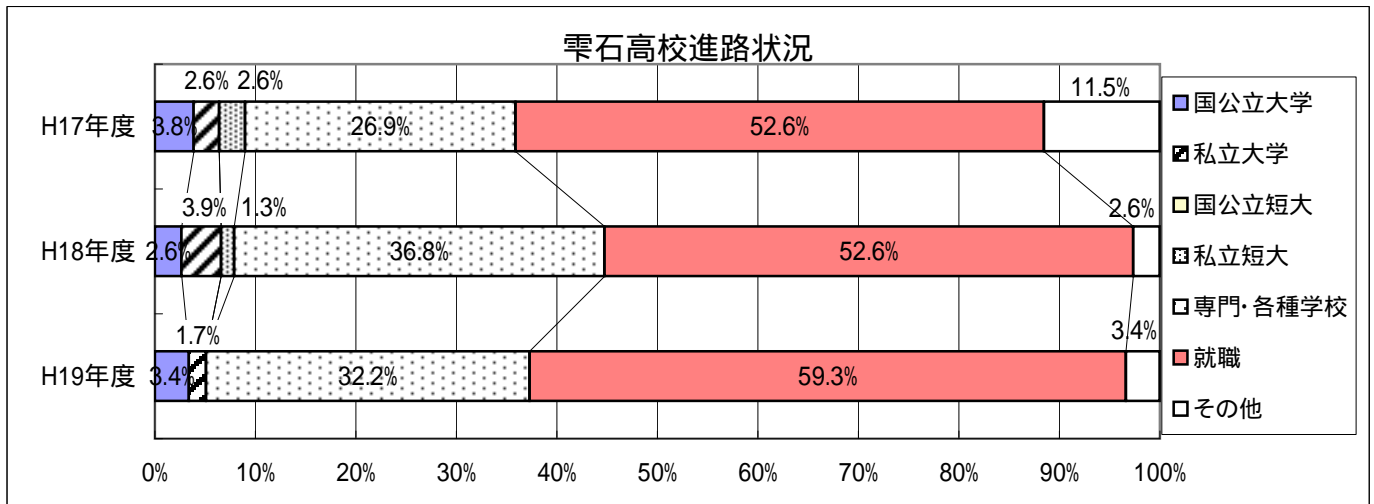
(3) 在籍者の地元中学校出身占有率

学校名	1学年	2学年	3学年	全学年	備考
雫石	71.6%	80.0%	68.1%	74.1%	
西和賀	53.0%	54.3%	63.4%	57.0%	旧湯田町・旧沢内村の中学校出身者
前沢	34.9%	44.6%	37.5%	39.2%	旧前沢町の中学校出身者
花泉	63.0%	68.8%	54.0%	62.4%	旧花泉町の中学校出身者
住田	37.5%	45.0%	44.8%	42.5%	
大槌	81.8%	86.9%	99.0%	88.8%	
山田	100.0%	94.0%	98.6%	97.4%	
大野	66.7%	78.1%	75.8%	73.7%	旧大野村の中学校出身者
伊保内	92.0%	94.8%	88.6%	92.1%	

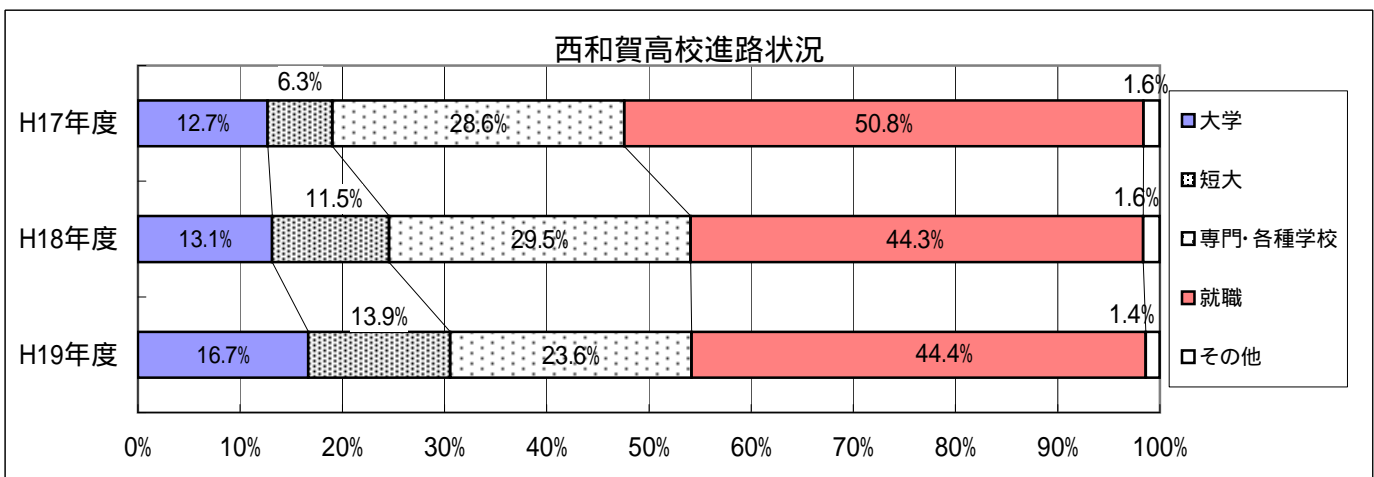


(4) 進路状況

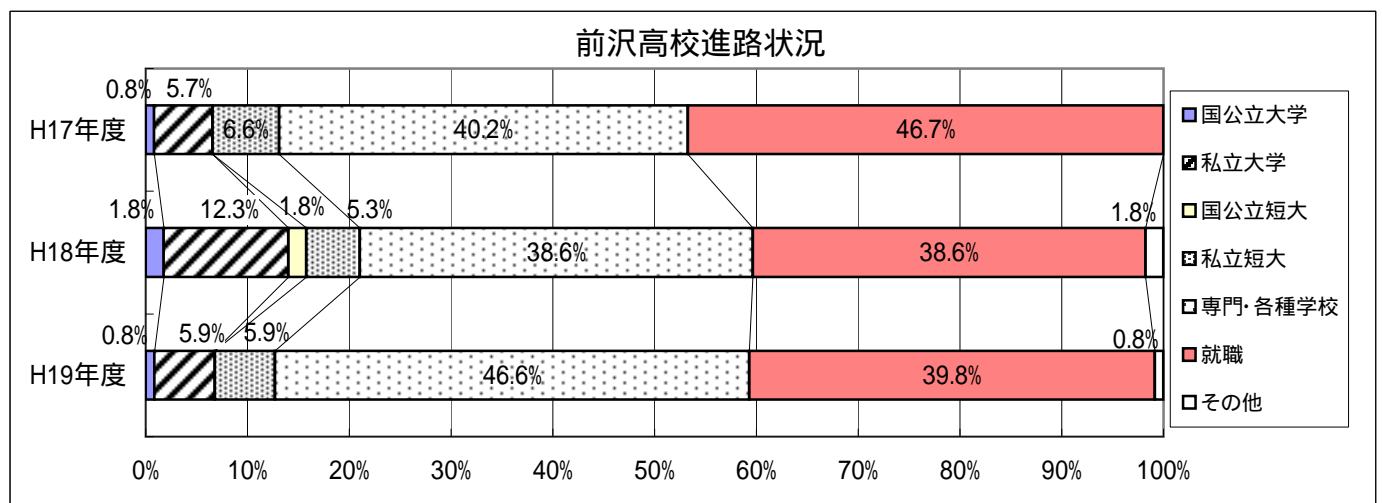
雫石高校		H17年度	H18年度	H19年度
卒業年度				
学科		普通科		
卒業生数		78	76	59
進学		28	34	22
	国公立大学	3	2	2
	私立大学	2	3	1
	国公立短大	0	0	0
	私立短大	2	1	0
	専門・各種学校	21	28	19
就職		41	40	35
	県内	32	28	27
	県外	9	12	8
その他		9	2	2



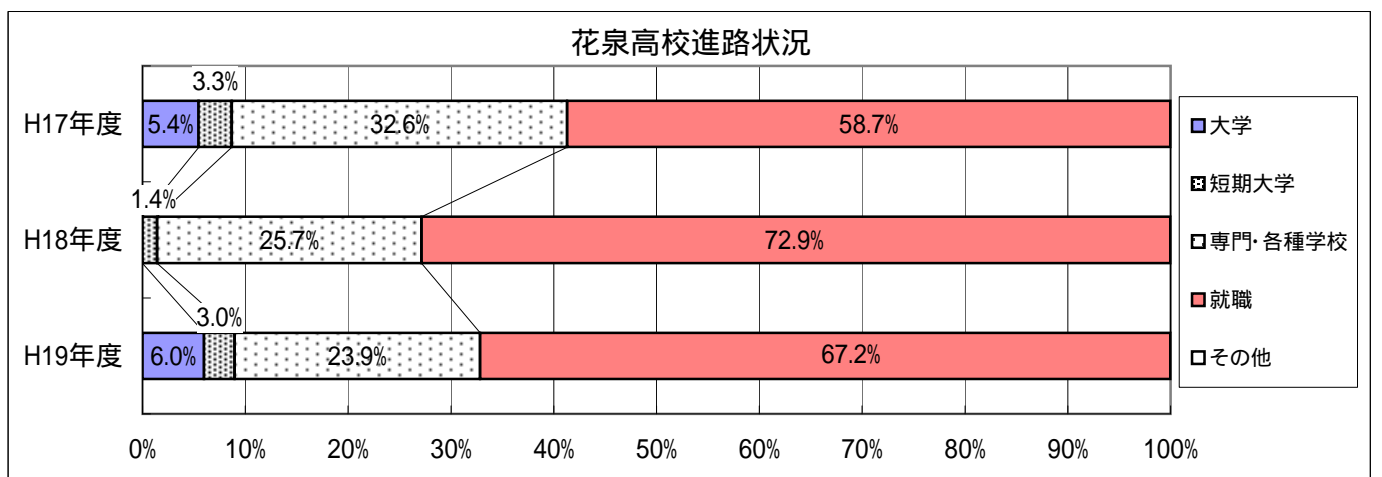
西和賀高校		H17年度	H18年度	H19年度
卒業年度				
学科		普通科		
卒業生数		63	61	72
進学		30	33	39
	大学	8	8	12
	短大	4	7	10
	専門・各種学校	18	18	17
就職		32	27	32
	管内	11	13	21
	県内	4	4	3
	県外	11	5	3
	公務員	6	5	5
その他		1	1	1



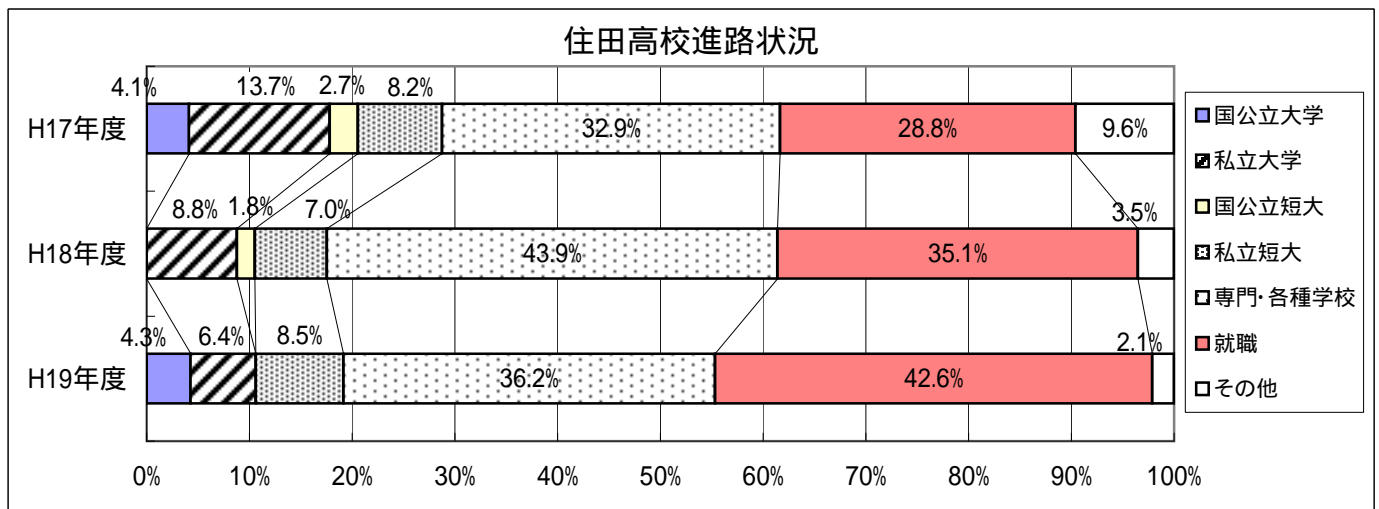
前沢高校		H17年度	H18年度	H19年度
卒業年度				
学科		普通科		
卒業者数		122	114	118
進学		65	68	70
	国公立大学	1	2	1
	私立大学	7	14	7
	国公立短大	0	2	0
	私立短大	8	6	7
	専門・各種学校	49	44	55
就職		57	44	47
	管内	27	26	22
	県内	22	9	13
	県外	8	9	12
	公務員	0	0	0
その他		0	2	1



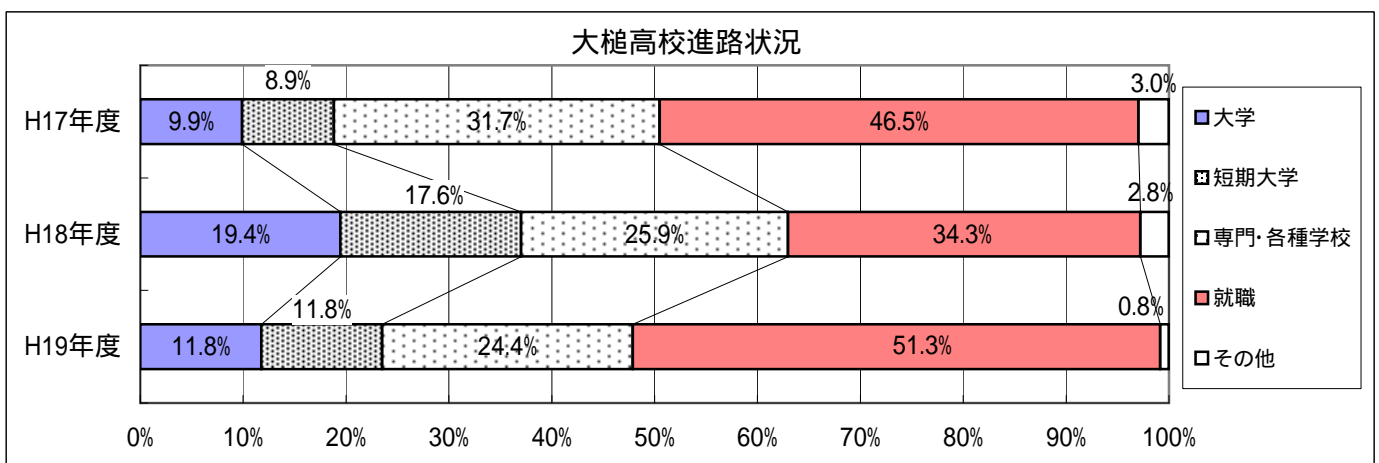
花泉高校		H17年度	H18年度	H19年度
卒業年度				
学科		普通科		
卒業者数		92	70	67
進学		38	19	22
	大学	5	0	4
	短期大学	3	1	2
	専門・各種学校	30	18	16
就職		54	51	45
	管内	34	36	29
	県内	2	1	1
	県外	18	14	15
その他		0	0	0



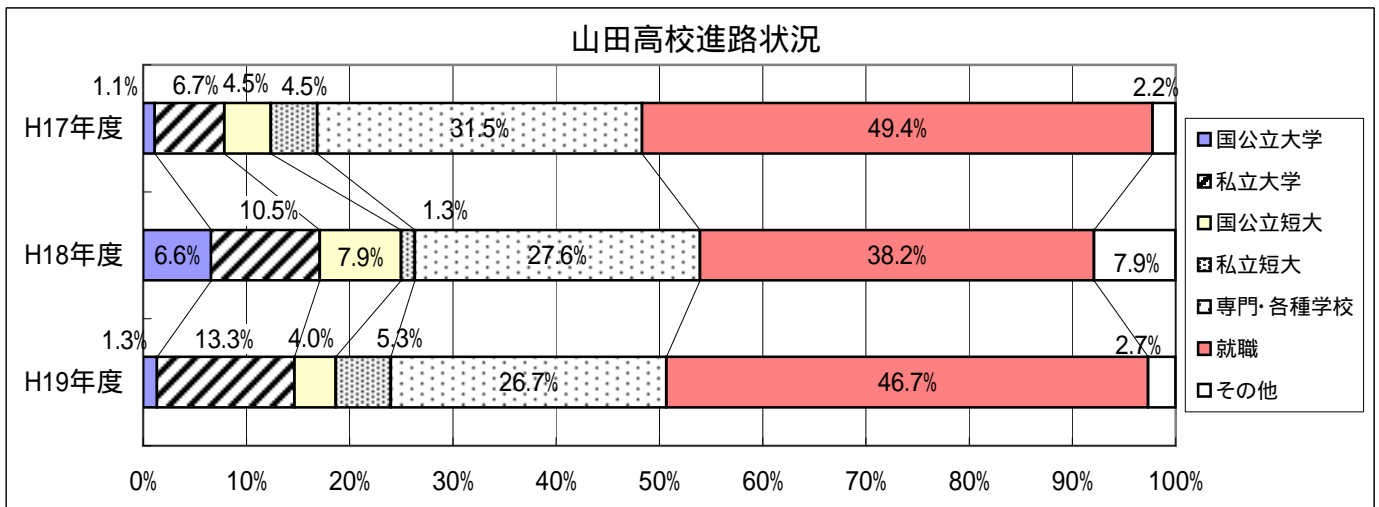
住田高校		H17年度	H18年度	H19年度	
卒業年度					
学科		普通科			
卒業者数		73	57	47	
進学			45	35	26
	国公立大学	3	0	2	
	私立大学	10	5	3	
	国公立短大	2	1	0	
	私立短大	6	4	4	
専門・各種学校		24	25	17	
就職			21	20	20
	管内	4	2	3	
	県内	6	3	10	
県外		11	15	7	
その他		7	2	1	



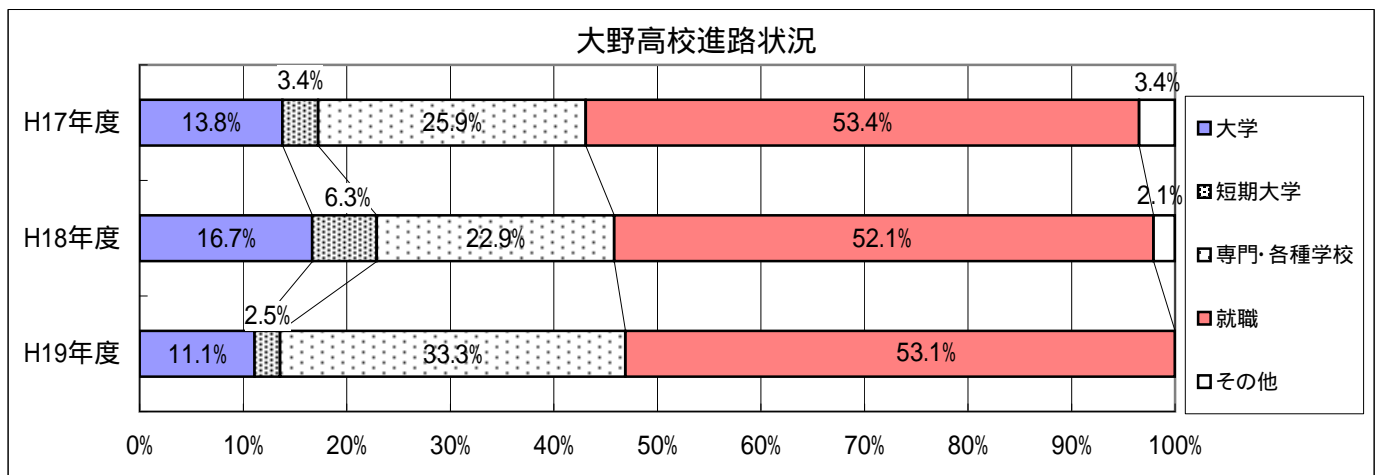
大槌高校		H17年度	H18年度	H19年度	
卒業年度					
学科		普通科			
卒業者数		101	108	119	
進学			51	68	57
	大学	10	21	14	
	短期大学	9	19	14	
専門・各種学校		32	28	29	
就職			47	37	61
	管内	23	16	24	
	県内	7	9	7	
	県外	17	11	28	
公務員		0	1	2	
その他		3	3	1	



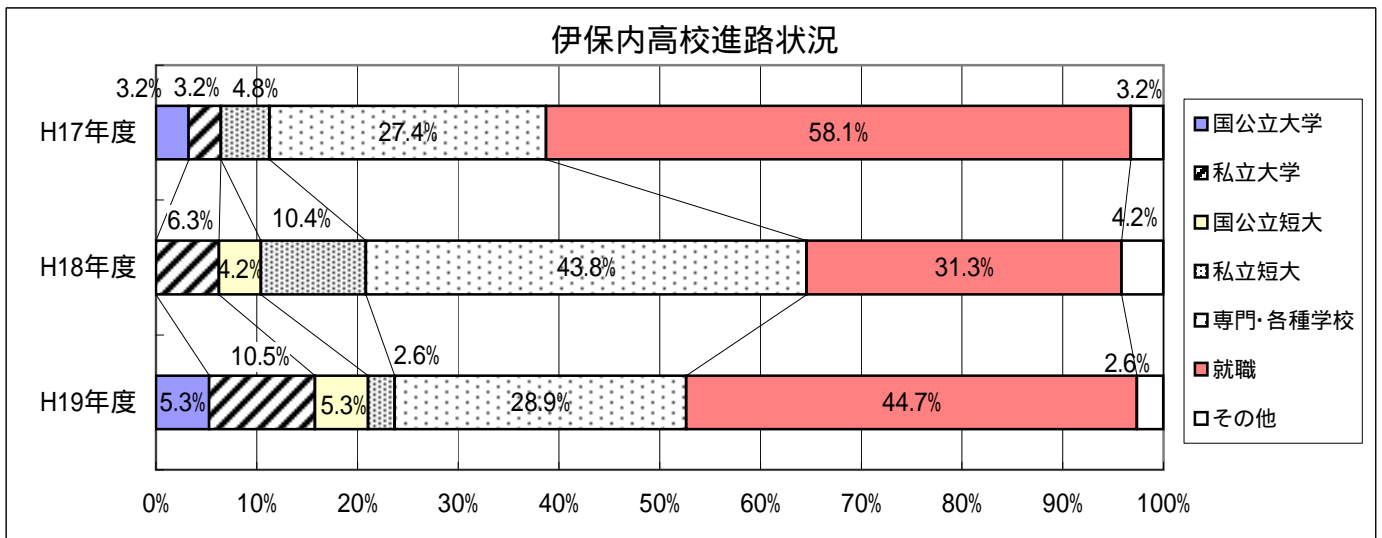
山田高校		H17年度	H18年度	H19年度
卒業年度			普通科	
学科				
卒業者数		89	76	75
進学		43	41	38
	国公立大学	1	5	1
	私立大学	6	8	10
	国公立短大	4	6	3
	私立短大	4	1	4
	専門・各種学校	28	21	20
就職		44	29	35
	管内	13	6	9
	県内	8	9	9
	県外	17	10	10
	公務員	6	4	7
その他		2	6	2



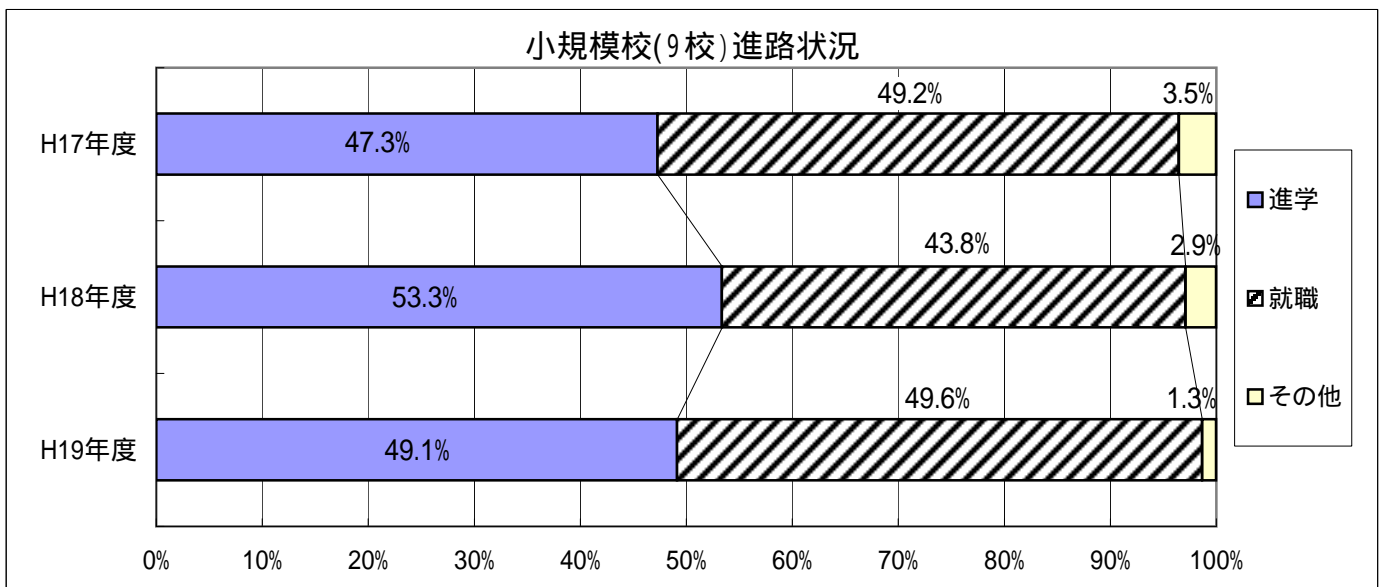
大野高校		H17年度	H18年度	H19年度
卒業年度			普通科	
学科				
卒業者数		58	48	81
進学		25	22	38
	大学	8	8	9
	短期大学	2	3	2
	専門・各種学校	15	11	27
就職		31	25	43
	管内	10	5	11
	県内	5	2	7
	県外	16	18	25
その他		2	1	0



伊保内高校		H17年度	H18年度	H19年度
卒業年度				
学科			普通科	
卒業者数		62	48	38
進学		24	31	20
	国公立大学	2	0	2
	私立大学	2	3	4
	国公立短大	0	2	2
	私立短大	3	5	1
	専門・各種学校	17	21	11
就職		36	15	17
	管内	13	5	4
	県内	4	1	0
	県外	17	9	12
	公務員	2	0	1
その他		2	2	1



9校全体		H17年度	H18年度	H19年度
卒業年度				
学科			普通科	
卒業者数		738	658	676
進学		349	351	332
就職		363	288	335
その他		26	19	9



28 公私比率の状況

(平成20年度、平成17年度、平成12年度)

